

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン キョウトセイカダガク 学校法人 京都精華大学								
フリガナ大学の名称	キョウトセイカダガク 京都精華大学								
大学本部の位置	京都府京都市左京区岩倉木野町137番地								
大学の目的	京都精華大学は人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって、人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的とする。								
新設学部等の目的	近年、本学では志願者数、収容定員の充足状況の改善を図る中で、多様な学生を受入れ、社会から求められる人材育成を目的として改革に取り組んできた。今般の定員変更では、本学の社会的な要請に対する人材育成を維持しつつ、受験生からの高い進学需要への積極的な対応を行うとともに、定員充足率について改善が必要な学部学科について定員設定を見直す。大学全体の入学定員は変えずに9学科の定員を変更し、適正な規模への変更を行うことで、定員充足率の適正化を図ることを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	芸術学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	
	造形学科	4	140 (112)	—	560 (448)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	京都府京都市左京区岩倉木野町137番地
	デザイン学部								
	イラスト学科	4	67 (64)	—	268 (256)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上
	ビジュアルデザイン学科	4	74 (64)	—	296 (256)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上
	プロダクトデザイン学科	4	77 (72)	—	308 (288)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上
	マンガ学部								
	マンガ学科	4	240 (232)	—	960 (928)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上
	アニメーション学科	4	84 (80)	—	336 (320)	学士（芸術）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上
メディア表現学部									
メディア表現学科	4	177 (168)	—	708 (672)	学士（メディア表現）	美術関係	令和7年4月 第1年次	同上	
国際文化学部									
人文学科	4	138 (160)	—	552 (640)	学士（人文学）	社会学・社会福祉学関係	令和7年4月 第1年次	同上	
グローバルスタディーズ学科	4	45 (90)	—	180 (360)	学士（人文学）	社会学・社会福祉学関係	令和7年4月 第1年次	同上	

計		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数						
教育課程	新設学部等の名称	講義	演習	実験・実習	計	単位						
		科目	科目	科目	科目	単位						
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)				
		教授	准教授	講師	助教	計	人	人				
		人	人	人	人	人	人	人				
新設分	芸術学部造形学科	13 (13)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	23 (23)	7 (7)	130 (130)				
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	13 (13)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	23 (23)	/	/				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	小計(a~b)	13 (13)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	23 (23)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計(a~d)	13 (13)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	23 (23)						
	デザイン学部イラスト学科	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			2 (2)	180 (180)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	小計(a~b)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計(a~d)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)						
	デザイン学部ビジュアルデザイン学科	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)					2 (2)	180 (180)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)					/	/
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計(a~b)	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計(a~d)	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)							

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
9人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

新設分

デザイン学部プロダクトデザイン学科	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	3 (3)	180 (180)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)				
マンガ学部マンガ学科	12 (12)	6 (6)	15 (15)	0 (0)	33 (33)			10 (10)	106 (106)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	12 (12)	6 (6)	15 (15)	0 (0)	33 (33)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	12 (12)	6 (6)	15 (15)	0 (0)	33 (33)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	12 (12)	6 (6)	15 (15)	0 (0)	33 (33)				
マンガ学部アニメーション学科	4 (4)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	11 (11)	3 (3)	106 (106)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	11 (11)				
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	11 (11)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	11 (11)				

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の教員6人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の教員9人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の教員6人

新設分

メディア表現学部メディア表現学科	9 (9)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	24 (24)	3 (3)	115 (115)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	24 (24)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	9 (9)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	24 (24)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	9 (9)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	24 (24)		
国際文化学部人文学科	11 (11)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	53 (53)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	26 (26)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	11 (11)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	26 (26)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	11 (11)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	26 (26)		
国際文化学部グローバルスタディーズ学科	4 (4)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	53 (53)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	13 (13)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	13 (13)		
計	69 (69)	50 (50)	40 (40)	0 (0)	159 (159)	30 (30)	- -

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の教員10人

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の教員8人

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の教員6人

既設分	デザイン学部建築学科	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	3 (3)	180 (180)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の教 6人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)			
計	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	3 (3)	-		
合計	74 (74)	50 (50)	42 (42)	0 (0)	166 (166)	33 (33)	-		
職種	専属		その他			計			
事務職員	57人 (62)		39人 (39)			96人 (101)			
技術職員	0 (0)		0 (0)			0 (0)			
図書館職員	1 (1)		0 (0)			1 (1)			
その他の職員	0 (0)		0 (0)			0 (0)			
指導補助者	0 (0)		0 (0)			0 (0)			
計	58 (63)		39 (39)			97 (102)			
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	199,851㎡	0㎡	0㎡		199,851㎡			
	その他	26,234㎡	0㎡	0㎡		26,234㎡			
	合計	226,085㎡	0㎡	0㎡		226,085㎡			
校舎	専用	64,908㎡	0㎡	0㎡		64,908㎡			
	(64,908㎡)	(0㎡)	(0㎡)		(64,908㎡)				
教室・教員研究室	教室			室	教員研究室			室	
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具	標本		
		冊	冊	種	種	点	点		
		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
	計	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	㎡		㎡		㎡				

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト)を含む
	教員1人当り研究費等		420千円	420千円	420千円	420千円	-	-	
	共同研究費等		11,411千円	11,411千円	11,411千円	11,411千円	-	-	
	図書購入費	13,000千円	13,000千円	13,000千円	13,000千円	13,000千円	-	-	
	設備購入費	242,558千円	242,558千円	242,558千円	242,558千円	242,558千円	-	-	
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	芸術学部		1,750千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	-	-	
	デザイン学部・マンガ学部		1,779千円	1,579千円	1,579千円	1,579千円	-	-	
	メディア表現学部		1,386千円	1,186千円	1,186千円	1,186千円	-	-	
	国際文化学部		1,286千円	1,086千円	1,086千円	1,086千円	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入 等								
大学等の名称	京都精華大学								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		京都府京都市左京区岩倉木野町137番地	
【京都精華大学】									
芸術学部						1.09			
造形学科	4	112	—	448	学士(芸術)	1.09	平成29年度		
デザイン学部						1.01			
イラスト学科	4	64	—	256	学士(芸術)	1.04	平成25年度		
ビジュアルデザイン学科	4	64	—	256	学士(芸術)	1.18	平成18年度		
プロダクトデザイン学科	4	72	—	288	学士(芸術)	0.99	平成29年度		
建築学科	4	56	—	224	学士(芸術)	0.79	平成29年度		
マンガ学部						1.05			
マンガ学科	4	232	—	928	学士(芸術)	1.08	平成18年度		
アニメーション学科	4	80	—	320	学士(芸術)	0.98	平成18年度		
メディア表現学部						1.03			
メディア表現学科	4	168	—	672	学士(メディア表現)	1.03	令和3年度		
国際文化学部						0.48			
人文学科	4	160	—	640	学士(文化)	0.59	令和3年度		
グローバルスタディーズ学科	4	90	—	360	学士(文化)	0.30	令和3年度		
既設大学等の状況									

【京都精華大学大学院】							京都府京都市左京区 岩倉木野町137番地	
芸術研究科								
芸術専攻 博士前期課程	2	20	—	40	修士（芸術）	0.92	平成16年度	
芸術専攻 博士後期課程	3	5	—	15	博士（芸術）	0.46	平成16年度	
デザイン研究科								
デザイン専攻 修士課程	2	10	—	20	修士（芸術）	0.65	平成22年度	
建築専攻 修士課程	2	5	—	10	修士（芸術）	1.00	平成22年度	
マンガ研究科								
マンガ専攻 博士前期課程	2	20	—	40	修士（芸術）	1.15	平成22年度	
マンガ専攻 博士後期課程	3	4	—	12	博士（芸術）	0.58	平成24年度	
人文学研究科								
人文学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士（人文学）	0.80	平成5年度	
附属施設の概要		該当なし						

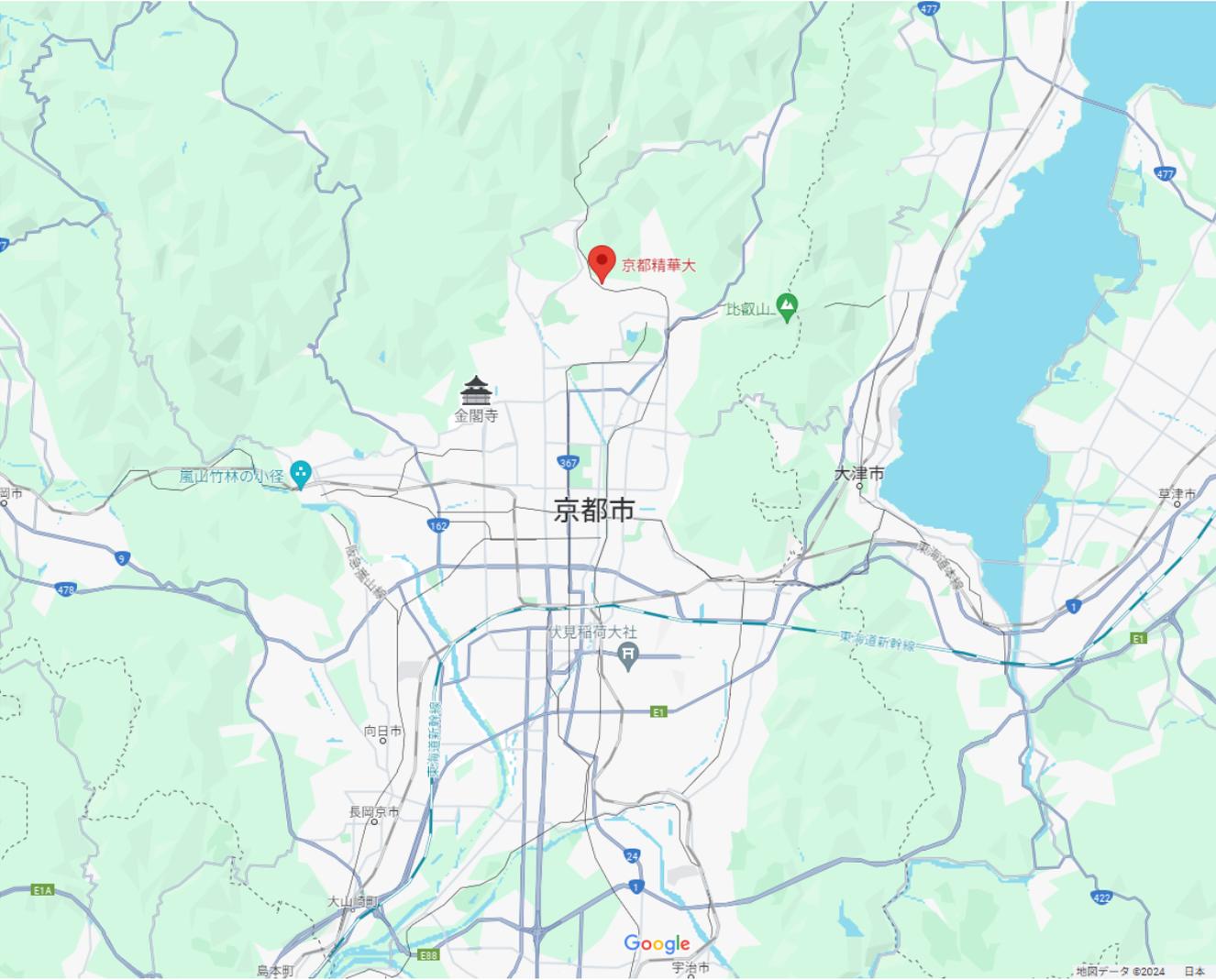
(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

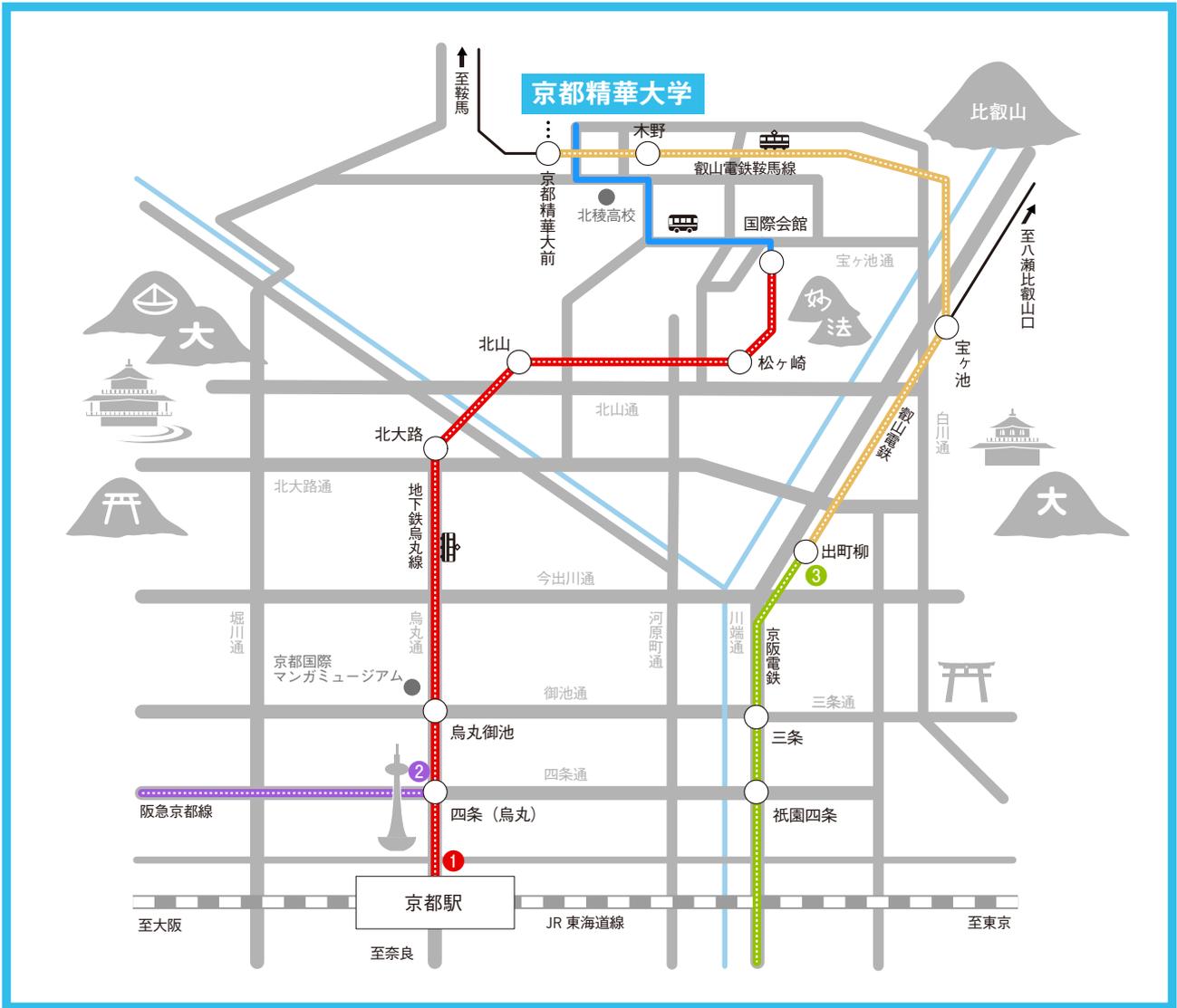
学校法人京都精華大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6(2024)年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7(2025)年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都精華大学				京都精華大学				
芸術学部				芸術学部				
造形学科	112	-	448	造形学科	140	-	560	定員変更(28)
デザイン学部				デザイン学部				
イラスト学科	64	-	256	イラスト学科	67	-	268	定員変更(3)
ビジュアルデザイン学科	64	-	256	ビジュアルデザイン学科	74	-	296	定員変更(10)
プロダクトデザイン学科	72	-	288	プロダクトデザイン学科	77	-	308	定員変更(5)
建築学科	56	-	224	建築学科	56	-	224	
マンガ学部				マンガ学部				
マンガ学科	232	-	928	マンガ学科	240	-	960	定員変更(8)
アニメーション学科	80	-	320	アニメーション学科	84	-	336	定員変更(4)
メディア表現学部				メディア表現学部				
メディア表現学科	168	-	672	メディア表現学科	177	-	708	定員変更(9)
国際文化学部				国際文化学部				
人文学科	160	-	640	人文学科	138	-	552	定員変更(△22)
グローバルスタディーズ学科	90	-	360	グローバルスタディーズ学科	45	-	180	定員変更(△45)
-----				-----				
計	1098	-	4392	計	1098	-	4392	
京都精華大学大学院				京都精華大学大学院				
芸術研究科				芸術研究科				
博士前期課程芸術専攻(M)	20	-	40	博士前期課程芸術専攻(M)	20	-	40	
博士後期課程芸術専攻(D)	5	-	15	博士後期課程芸術専攻(D)	5	-	15	
デザイン研究科				デザイン研究科				
デザイン専攻(M)	10	-	20	デザイン専攻(M)	10	-	20	
建築専攻(M)	5	-	10	建築専攻(M)	5	-	10	
マンガ研究科				マンガ研究科				
博士前期課程マンガ専攻(M)	20	-	40	博士前期課程マンガ専攻(M)	20	-	40	
博士後期課程マンガ専攻(D)	4	-	12	博士後期課程マンガ専攻(D)	4	-	12	
人文学研究科				人文学研究科				
人文学専攻(M)	10	-	20	人文学専攻(M)	10	-	20	
-----				-----				
計	74	-	157	計	74	-	157	

京都精華大学 都道府県内位置図



最寄り駅からの距離や交通機関



① 京都駅から



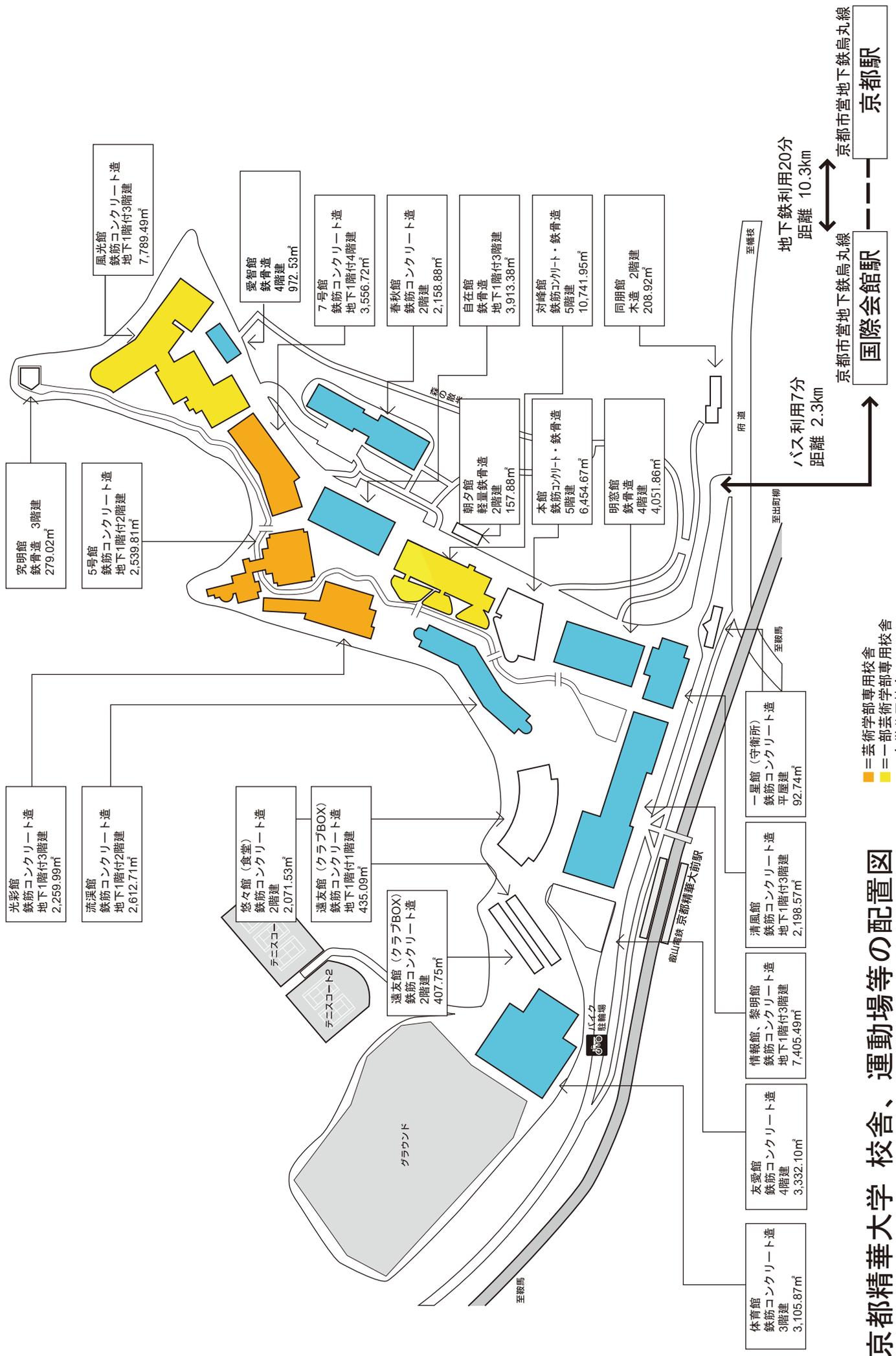
② 阪急沿線から



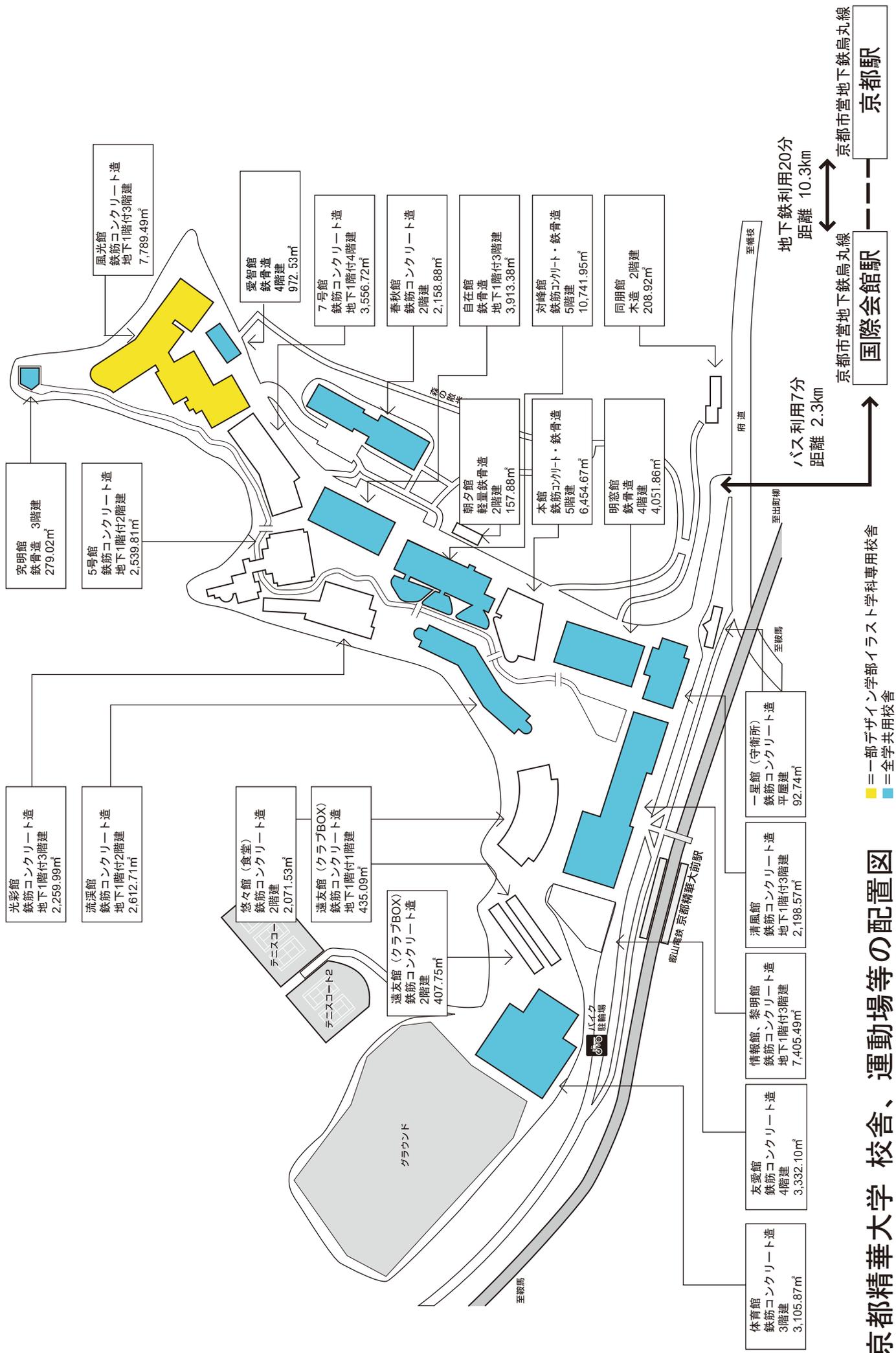
③ 京阪沿線から



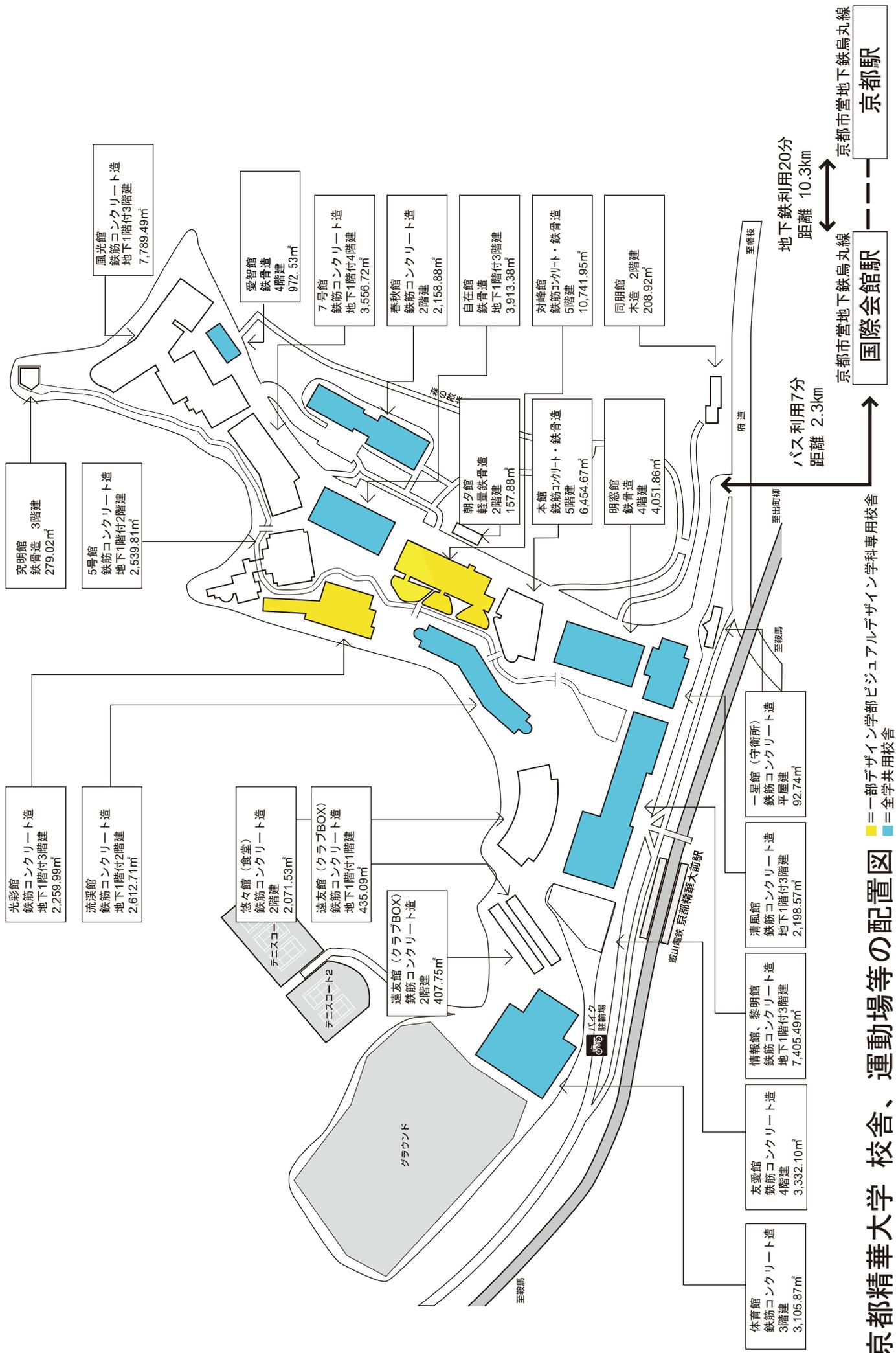
京都精華大学



京都精華大学 校舎、運動場等の配置図

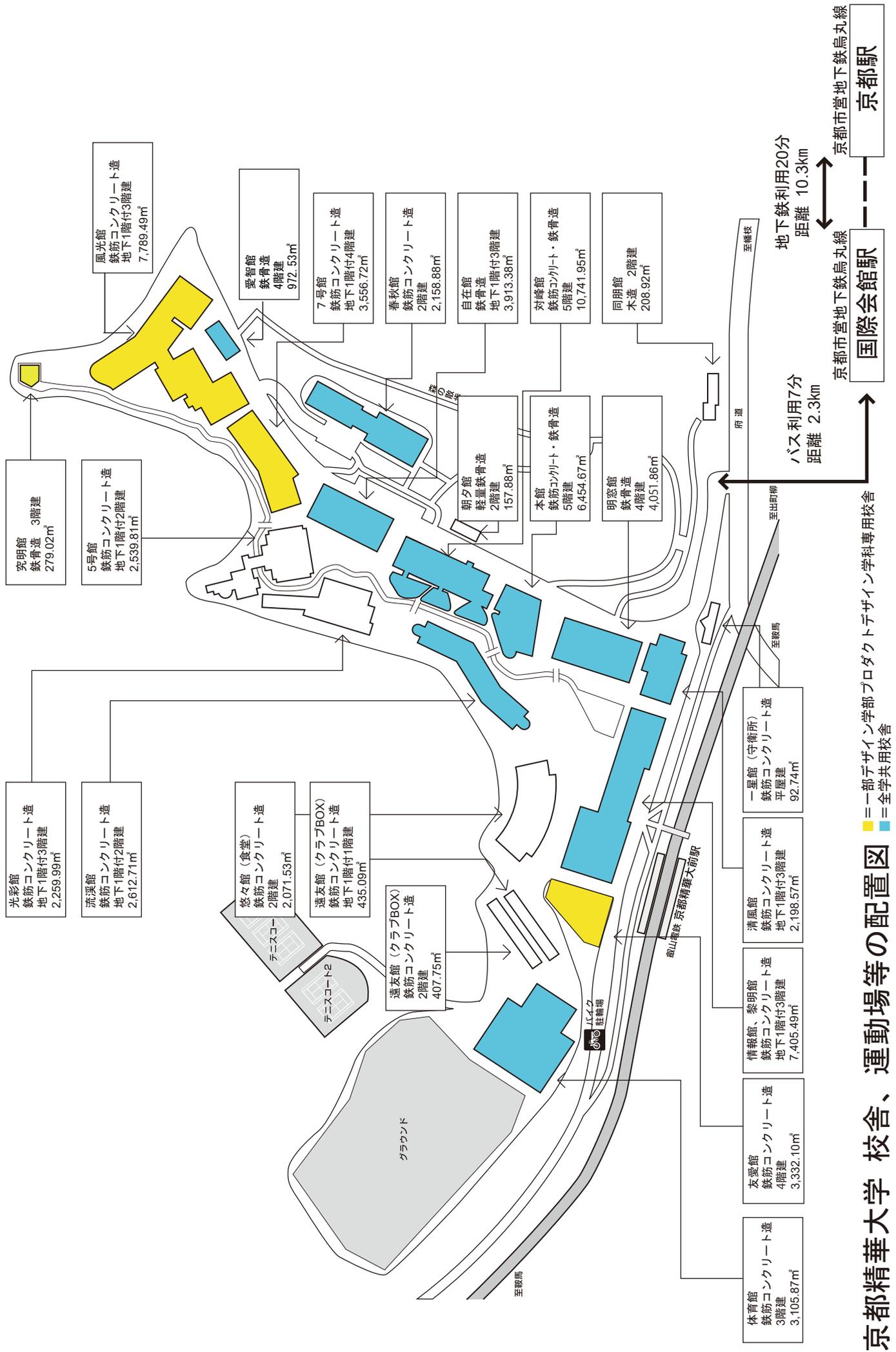


京都精華大学 校舎、運動場等の配置図



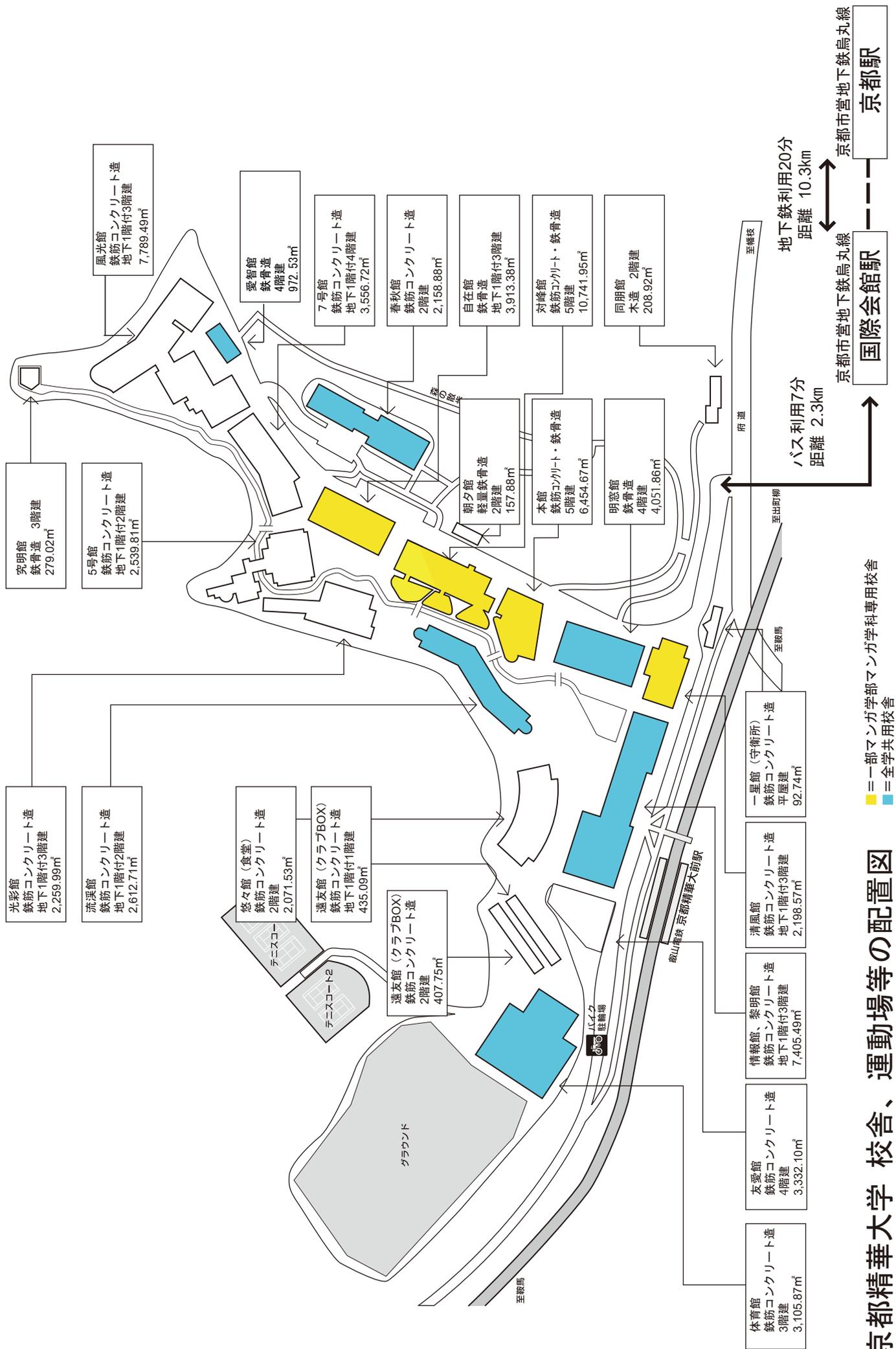
京都精華大学 校舎、運動場等の配置図

■ = 一部デザイン学部ビジュアルデザイン学科専用校舎
■ = 全学共用校舎



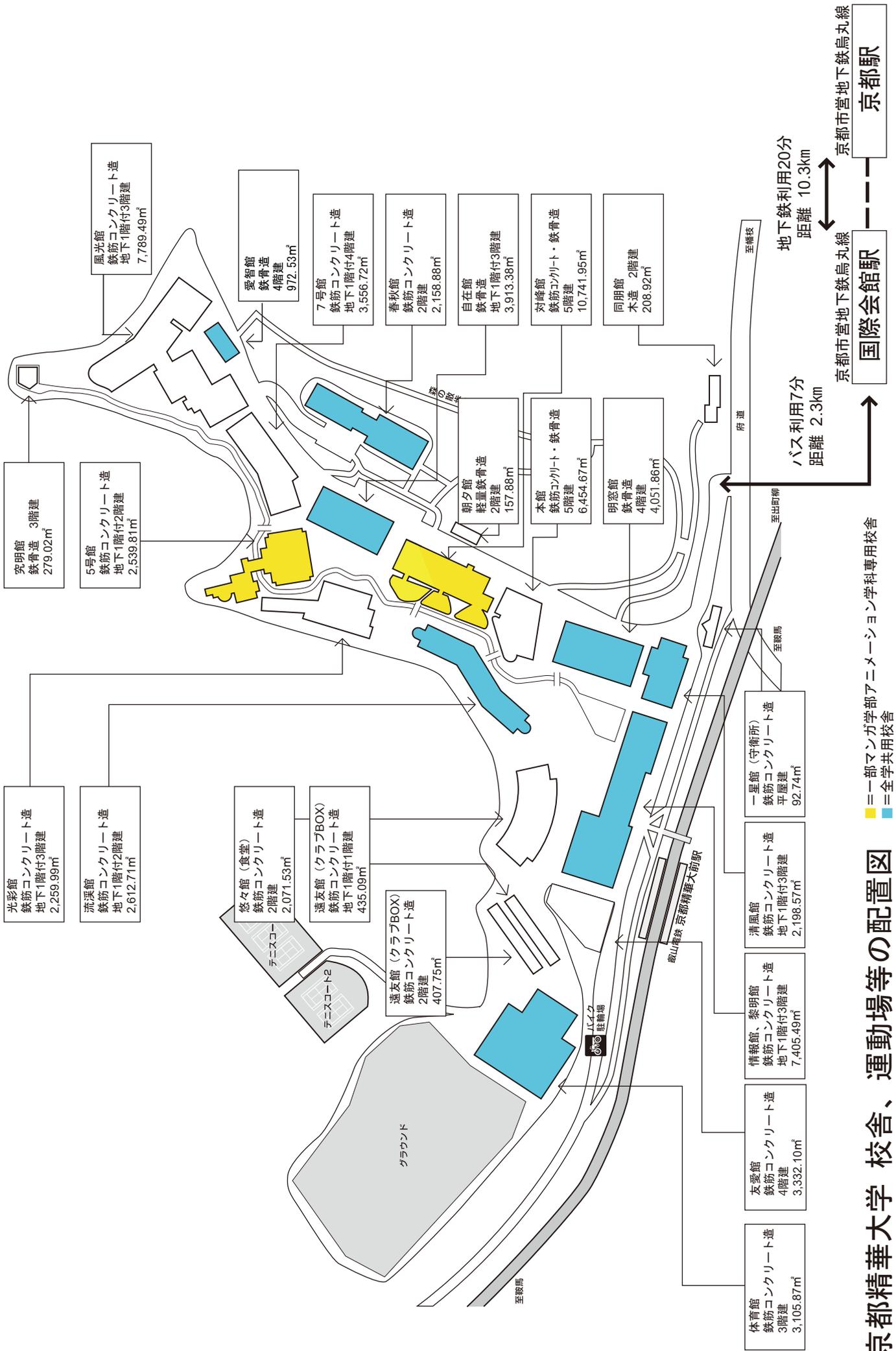
京都精華大学 校舎、運動場等の配置図

■ = 一部デザイン学部プロダクトデザイン学科専用校舎
 ■ = 全学共用校舎



■ 一部マンガ学部マンガ学科学専科専用校舎
 ■ 全学共用校舎

京都精華大学 校舎、運動場等の配置図



京都精華大学 校舎、運動場等の配置図

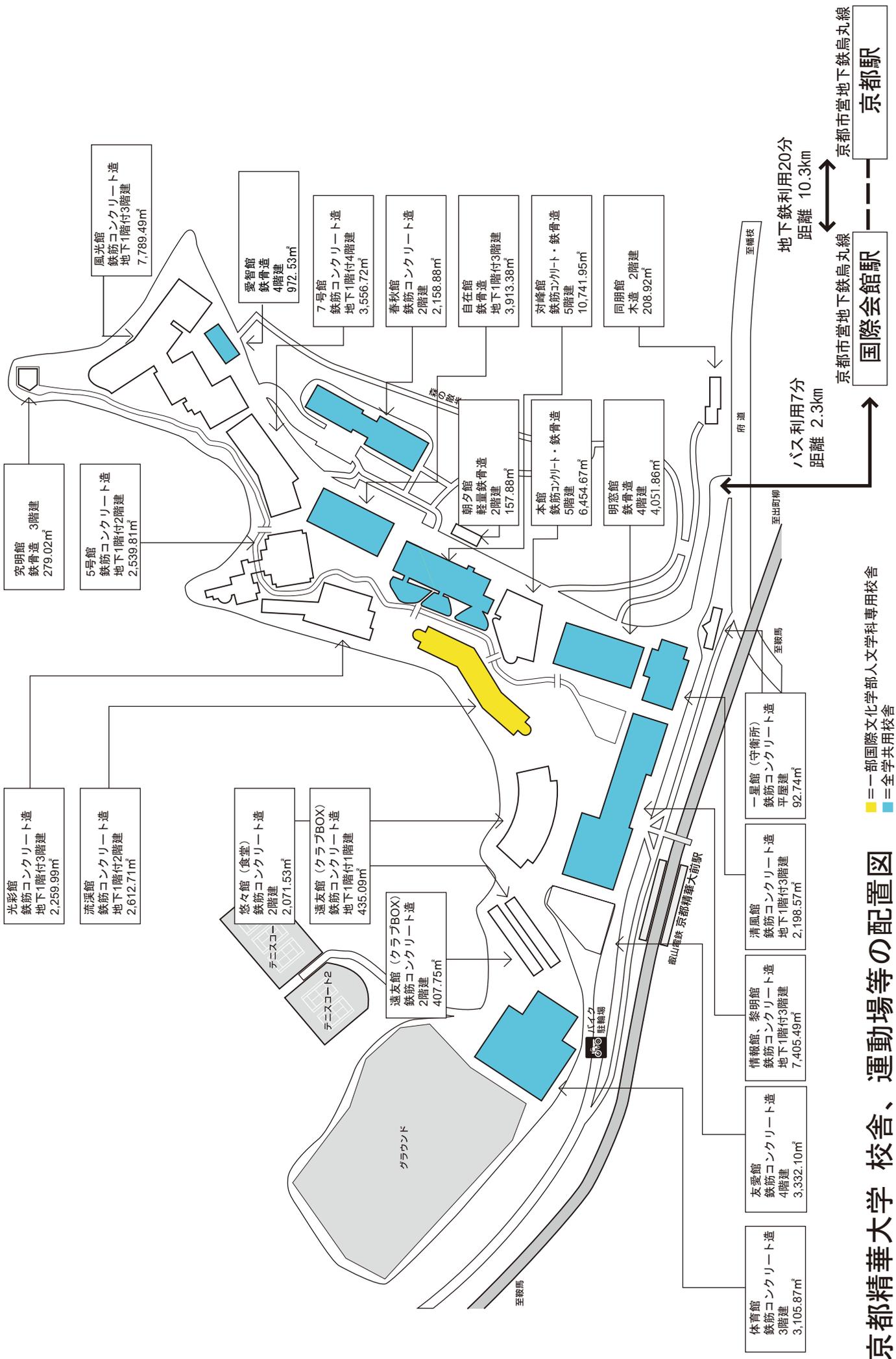
■ 一部マンガ学部アニメーション学科専用校舎
 ■ 全学共用校舎

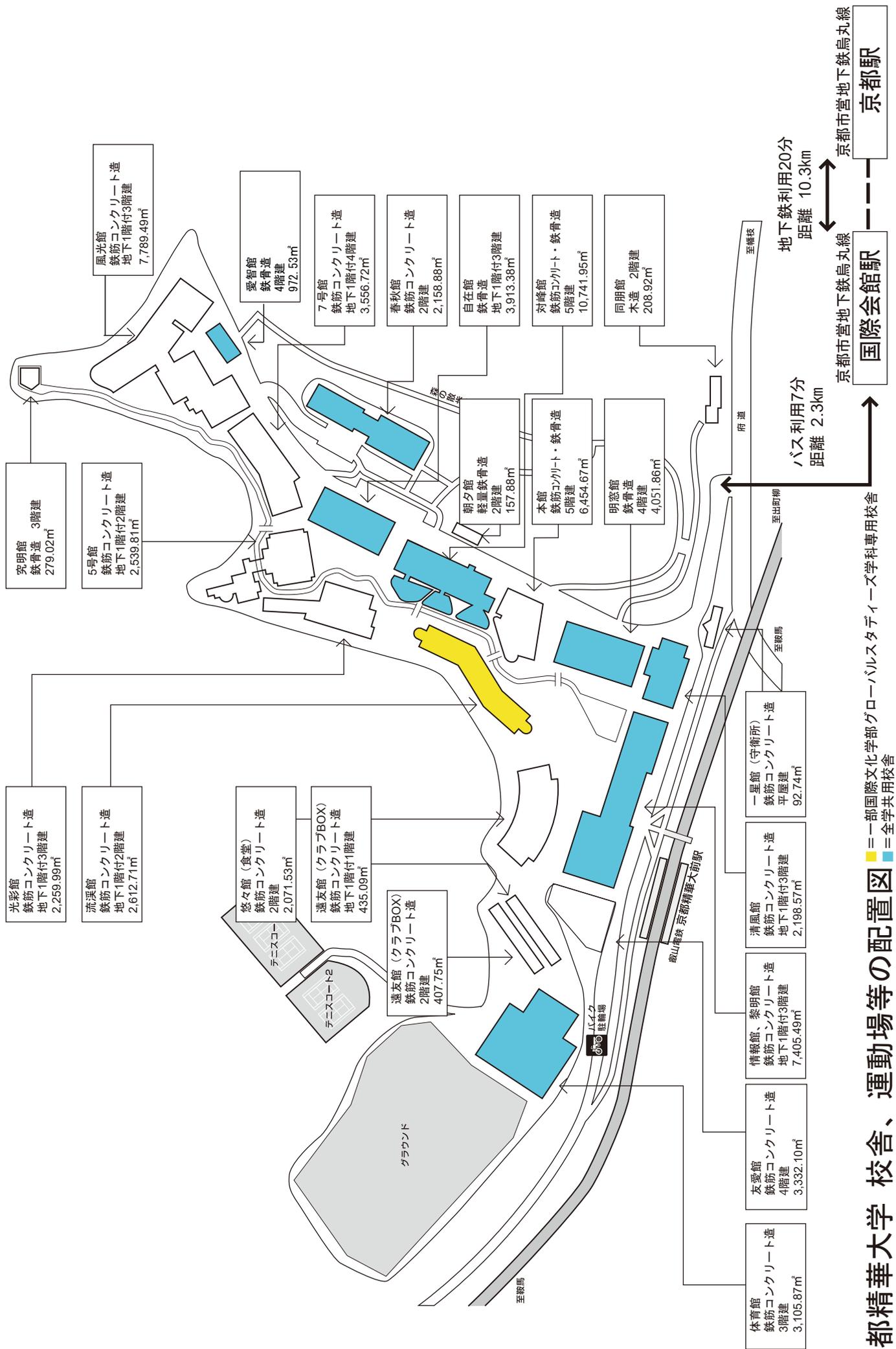


図面 78

京都精華大学 校舎、運動場等の配置図

■ = 一部メディア表現学部メディア表現専科学科専用校舎
■ = 全学共用校舎





京都精華大学 校舎、運動場等の配置図 ■ = 一部国際文化学部グローバルスタディーーズ学科専用校舎 ■ = 全学共用校舎

京都精華大学学則 (案)

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は学校教育法および教育基本法の規定するところに従い、大学教育を施し、広く知識を授けるとともに、深奥な学問芸術を研究・教授し、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的および社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表する。

- 2 前項の点検および評価を行うため、委員会を設ける。
- 3 委員会に関する規程は、これを別に定める。
- 4 点検、評価の項目等については、別にこれを定める。

(学部、学科、入学定員および収容定員)

第3条 本学に次の学部・学科をおく。

芸術学部

造形学科

デザイン学部

イラスト学科

ビジュアルデザイン学科

プロダクトデザイン学科

建築学科

マンガ学部

マンガ学科

アニメーション学科

メディア表現学部

メディア表現学科

国際文化学部

人文学科

グローバルスタディーズ学科

2 前項の学部・学科の入学定員および収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
芸術学部	造形学科	140 人	560 人
デザイン学部	イラスト学科	67 人	268 人
	ビジュアルデザイン学科	74 人	296 人

	プロダクトデザイン学科	77人	308人
	建築学科	56人	224人
マンガ学部	マンガ学科	240人	960人
	アニメーション学科	84人	336人
メディア表現学部	メディア表現学科	177人	708人
国際文化学部	人文学科	138人	552人
	グローバルスタディーズ学科	45人	180人

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第3条の2 前条の学部・学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

芸術学部

人間の多様性を理解した上で、幅広い視野から適切な表現方法を用いてコミュニケーションをとることができ、さらに芸術によって培われる専門性と創造力で人類社会の諸課題に取り組むことができる主体性をもった人間形成を目的とする。

造形学科

伝統的造形芸術の知識技法にとどまらず、多角的な観察と自立した思考力によって新たな表現を創造する能力と造形芸術を開拓できる資質を備えた人材の養成を行う。

デザイン学部

デザイン領域において高度な技法知識を修得し新たな可能性を探究すること、および自立した思考によってグローバル社会および地域社会に現実的に貢献するデザイナー・プランナーの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

イラスト学科

デザインやアートといった多様なフィールドで展開が可能となるイラスト領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

ビジュアルデザイン学科

情報技術の発展によってその目的および手法が飛躍的に拡大した視覚デザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

プロダクトデザイン学科

社会活動や生活に使用される道具、器具、装置、衣服などのデザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

建築学科

環境、建築、居住空間などのデザイン・設計の領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

マンガ学部

マンガ文化の再評価とともに重要視されるマンガやアニメーション、キャラクターの制作と理論について多角的な教育研究を行い新たな可能性を探究すること、およびマンガ文化の継承と発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

マンガ学科

マンガの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってマンガ表現の発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

アニメーション学科

アニメーションの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってアニメーションの発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

メディア表現学部

メディアと情報に関する広範な知識と専門的な表現技能を活用した豊かな人間性を育む文化表現を通して、コンテンツの制作やメディアの活用、新しいビジネスモデルの構想などによって次世代の産業界の発展に貢献する資質を備えた、人間形成を行うことを目的とする。

メディア表現学科

技術革新が進む人類社会において、急激に変化し続けるメディアと産業システムの動向をふまえたうえで、豊かな文化の発展にも寄与し、時代の先端を切り開くコンテンツ、メディア、新たなビジネスモデルを創造できる人材の養成を目的とする。

国際文化学部

国際的な視野と体験を重視し、地球環境問題の深刻化、情報技術化、経済のグローバル化の時代に求められる人間の社会と文化についての学際的な教育研究を行うこと、および自立した思考力によって現実の社会と文化に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

人文学科

日本の「文学」、「歴史」、「社会」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

グローバルスタディーズ学科

グローバルとローカル双方のアプローチから、世界と日本の関わりを文化や社会の視点から多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

(大学院)

第4条 本学に大学院をおく。

2 大学院の学則は、別に定める。

(修業年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

2 学長が有益と認めるときは、他の大学等における修学期間を修業年限に算入することができる。

ただし、修業年限については1年を超えて算入することはできない。

3 前項の規定は、外国の大学における修学期間についても準用する。

第2章 学年・学期および休業日

(学年)

第6条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期および授業日数)

第7条 1学年の授業期間は定期試験の日数を含めて35週にわたることを原則とし、1学年を分けて次の2学期4クォーターとする。

① 前期(4月1日から9月30日まで)、第1クォーター(4月1日から学長が年度ごとに定める日まで)、第2クォーター(学長が年度ごとに定める日から9月30日まで)

② 後期(10月1日から3月31日まで)、第3クォーター(10月1日から学長が年度ごとに定める日まで)、第4クォーター(学長が年度ごとに定める日から3月31日まで)

2 前項に定める授業期間について、学長が必要と認めるときは、開始日および終了日を変更することができる。

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

① 日曜日

② 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

③ 春季・夏季・秋季・冬季の休業期間は、学長が年度ごとに定める。

2 学長が必要と認めるときは、臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。

3 学長が必要と認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第3章 教育課程・単位・教育課程の履修

(教育課程の編成)

第9条 本学は、学部および学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

(授業科目および単位数)

第10条 本学の授業科目および単位数は別表Ⅰ、別表Ⅱ、別表Ⅲ、別表Ⅳのとおりとする。

2 学長は他学部および他学科が開設する授業科目の中から学部交流科目および学科交流科目を

定め、当該学部および学科の卒業に必要な単位とすることができる。

(授業の方法)

第10条の2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。

2 学長が教育上有益と認めるときは、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で授業を行うことができる。

3 前項により与えることができる単位数は60単位を超えないものとする。

4 第2項の規定により実施する授業科目については、学長が定め学生に通知するものとする。

5 第1項の授業の一部を、本学の校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位計算方法)

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、前条の授業の方法に応じ、その授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で別に定める授業の時間をもって1単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業論文、卒業制作、学外学修・個別課題学習等の授業科目および公の技能審査等による認定を受けた者については、これらに必要な学修等を考慮して、適切な単位数を定めることができる。

(教育課程の履修)

第12条 学生は原則として、別表Iに定める教育課程に従い、各年次に配当された授業科目を履修する。

2 学生が各年次所定の授業科目を履修しない場合、または所定の単位を修得しない場合は、次学年に進級することができない。進級に関する事項は別にこれを定める。

3 卒業に必要な単位は、124単位とする。

(他の大学または短期大学における授業科目の履修等)

第13条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学の授業科目を履修することを認める。

2 前項の規定に基づいて学生が履修した単位は60単位を超えない範囲で、本学で修得したものとみなすことができる。

3 前項の規定は、学生が外国の大学に留学する場合に準用する。

4 留学に関する規程は、別にこれを定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第14条 学長が本学における教育水準を有し、教育上有益と認めるときは、学生が行う高等専門

学校の専攻科における学修、修業年限 2 年以上の専修学校専門課程における学修、文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格に係る学修を本学における履修とみなし単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 2 項の規定による単位数とあわせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 15 条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を本学で修得したものとみなすことができる。

2 学長が教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 13 条第 2 項および前条第 2 項の規定による単位数とあわせて 60 単位を超えないものとする。

(特別聴講生)

第 16 条 他の大学等の学生で、当該他の大学等との協議に基づき、本学において授業科目を履修することを志願する者については特別聴講生として、学長がこれを許可することがある。

2 特別聴講生に関する規程は本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(履修登録)

第 17 条 学生は履修しようとする授業科目を毎学期始め、所定の期日までに届け出なければならない。

2 学生は当該学部が定める登録上限単位数の範囲内で履修登録しなければならない。

(資格の取得)

第 18 条 本学に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程をおく。

本学において教育職員免許状の取得を希望する者は、教育職員免許法および教育免許法施行規則に基づき、本学が別表Ⅱに定める教職および教科に関する専門科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

本学における教育職員免許状の教科および種類は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類(教科)
芸術学部	造形学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(工芸)
デザイン学部	イラスト学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)

	ビジュアルデザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)
	プロダクトデザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(工芸)
マンガ学部	マンガ学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)
	アニメーション学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)
メディア表現学部	メディア表現学科	高等学校教諭一種免許状(情報)
国際文化学部	人文学科	中学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	グローバルスタディーズ学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)

2 図書館司書の資格を取得しようとする者は、図書館法および図書館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅲに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。図書館司書課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

3 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法および博物館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅳに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。博物館学芸員課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科

芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

4 国際文化学部グローバルスタディーズ学科に登録日本語教員課程をおく。所定する科目や履修等については別に定める。

5 削除

6 削除

第4章 教育課程修了の認定・単位の授与・卒業および称号

(教育課程修了の認定)

第19条 教育課程修了の認定は授業科目の試験、研究報告の成績を審査し、その結果に基づき、教授会の審議を経て学長が行う。

2 成績の評価はS(100点～90点)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、F(59点以下)、K(評価対象外)とし、S、A、B、Cをもって合格とする。

3 成績の評価をせず単位の認定のみを行う場合はN(認定)を用いる。

4 総合成績評価としてGPAを用いる場合は、第2項の成績評価のSを4、Aを3、Bを2、Cを1、FおよびKを0の評点に置き換え、履修科目の単位数で乗じた点数の合計を、総履修科目単位数で除して算出する。なおNの評価を受けた授業科目はGPA算出の対象外とする。

(単位の授与)

第20条 学長は、別表IからIVに定める授業科目を履修した学生に対し、当該授業科目の試験および研究報告の成績を審査し、その結果に基づき、教授会の審議を経て、相当する数の単位を与える。

(卒業)

第21条 学長は本学の学部で4年以上在学し、第12条に規定する卒業に必要な単位を修得し、かつ学費等納入金について大学への諸債務を滞納していない者について、教授会の審議を経て卒業を認定する。

2 学長は卒業を認定した者に対し、学位記を授与する。

(学位の授与)

第22条 本学の芸術学部、デザイン学部およびマンガ学部を卒業した者に、学士(芸術)の学位を授与する。

2 本学のメディア表現学部を卒業した者に、学士(メディア表現)の学位を授与する。

3 本学の国際文化学部を卒業した者に、学士(人文学)の学位を授与する。

第5章 入学・編入学・転入学・休学・復学・退学・転学・除籍および再入学
(入学)

第23条 本学の入学は学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、国際文化学部については、後期からの入学を認めることができる。
(入学資格)

第24条 本学の第1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- ⑧ 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるものと本学が認めた者
(入学志願手続および合否判定)

第25条 入学を志願する者は、本学所定の出願書類に別表Vに定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 提出の方法、時期、同時に提出すべき書類等については別に定める。

3 学長は入学を志願する者に対して入学試験を実施する。

4 学長は入学試験を受験した者に対して、教授会における合否判定の審議を経て、結果を通知する。

(入学手続金の納入および入学許可)

第26条 入学試験に合格した者は、学長が指定する期日までに所定の納付金を納入し、かつ必要書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の規定により所定の納付金を納入し、必要書類を提出した者に対して、入学を許可する。

(編入学)

第27条 本学の第3年次および編入学を希望する者については、選考のうえ、学長はこれを許可することがある。

2 第3年次に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

① 大学を卒業した者、または大学に2年以上在学した者

② 短期大学または高等専門学校を卒業した者

③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学できる者

3 第2年次に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

① 大学に1年以上在学した者

② 短期大学または高等専門学校を卒業した者

4 前2項の規定により入学を許可された者がすでに履修した科目および単位の取扱いについては、別にこれを定める。

(転入学)

第28条 他の大学に1年以上在学してから、本学の学部に転入学しようとする者について、選考のうえ、既に在学していた大学および履修した授業科目の内容と成績とを考慮して、学長は入学を許可することがある。

2 本条により入学を許可された者の修学年限は、他大学における在学年数が1年であった者は3年、2年以上であった者は2年とし、それぞれ6年、4年を超えて在学することはできない。

3 転入学を許可された者が既に履修した授業科目および単位の取扱いについては、別に定めるところによる。

(転学部、転学科)

第28条の2 転学部および転学科に関する規程は、別にこれを定める。

(休学)

第29条 学生が疾病その他の事由によって1ヶ月以上就学することができないときは、保証人と連署のうえ、所定の様式により願い出て、休学することができる。

2 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

3 前項の定めに関わらず、学長が特別な理由があると認めるときは、休学期間を延長することが

できる。

- 4 休学の期間は通算して4年を超えることができない。
- 5 休学の期間は、第5条に定める修業年限および在学年限に算入しない。
- 6 休学期間中の学費は、半期20,000円、通年40,000円とし、納入等に関する規定は第34条による。
- 7 休学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(復学)

第30条 休学者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ、所定の様式により願い出て、学長の許可を得たうえ復学することができる。

- 2 復学は、学期の始めからとする。
- 3 復学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(退学および転学)

第31条 疾病、その他の事由によって退学または転学しようとする者は、保証人連署のうえ、所定の様式により退学願または転学願を提出しなければならない。

- 2 退学および転学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。
- 3 懲戒による退学に関する規程は、第50条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(除籍)

第32条 学長は、学生が各号のいずれかに該当するときは、学生を除籍する。

- ① 第5条に規定する在学年限を超えた者
- ② 第29条第2項および第3項に規定する休学年限を超えた者
- ③ 所定の授業料等学費の納付を怠り、その督促を受けてもこれを納付しない者
- ④ 第30条の復学手続きのない者
- ⑤ 本学での就学の意味のない者
- ⑥ 本人が死亡したとき
- ⑦ その他、学長が相当の理由を認めた者

2 除籍に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(再入学)

第33条 退学または除籍となった者が、保証人連署のうえ、所定の様式により再入学を願い出たときは、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することがある。

- 2 再入学を願い出ることのできる期間は、退学または除籍の日より2年以内とする。
- 3 再入学は学期の始めからとする。
- 4 再入学に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第1節 入学検定料、入学金および授業料

(学費等納付金および手数料)

第 34 条 入学検定料、入学金および授業料は、別表 V の①のとおりとする。

2 前項に規定する既納の入学検定料、入学金および授業料等の学費は、原則として返還しない。

3 前項の規定にかかわらず、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続の取り消しを願い出た者については、入学金またはこれに相当する金額を除く学費を返還する。

4 入学検定料以外の手数料については、別にこれを定める。

5 学費納入等に関する規定は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第 2 節 職員組織および教授会

(職員組織)

第 35 条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他の職員をおく。

2 学長は本学則に定める職務を行い、所属職員を統督する。

3 副学長は、学長の職務を助ける。

4 教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他の職員の職務は、学校教育法、その他の法令および本学諸規程の定めるところによる。

(教授会)

第 36 条 本学の教育研究に関する事項を審議するために教授会をおく。

2 教授会は、これを分けて全学教授会と学部教授会とする。

3 教授会に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(全学教授会)

第 36 条の 2 全学教授会は、学長、専任の教授・准教授および講師を構成員として、これを組織する。

2 全学教授会は、前項に定める者の他、必要に応じ他の教職員などの出席を求めることができる。

3 全学教授会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

① 全学に関する重要事項

② 各学部間の連絡調整に関する事項

③ 全学共通の教育課程の編成に関する事項

④ 全学共通の授業科目の担当に関する事項

⑤ 教員の人事に関する事項

⑥ その他学長が必要と認める事項

(学部教授会)

第 36 条の 3 学部教授会は、各学部に所属する専任の教授・准教授および講師を構成員として、これを組織する。

- 2 学部教授会は、前項に定める者の他、必要に応じ他の教職員などの出席を求めることができる。
- 3 学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。
 - ① 学生の入学（編入学・転入学を含む）、卒業および課程の修了
 - ② 学位の授与
 - ③ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学部教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 4 学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下、この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

第3節 聴講生・科目等履修生・委託生・研究生・外国人留学生・帰国生徒および社会人（聴講生）

第37条 本学の教職課程科目のうち「教職に関する専門科目」について聴講しようとする者があるときは、本学の教育・研究に支障のない場合に限り教授会の審議を経て、学長がこれを許可する。

- 2 聴講を許可する授業科目は1年度につき12単位とし、在学年限は1年以内とする。
- 3 学長は、特定の授業科目を履修し、その単位を修得した聴講生に対して、単位修得証明書を交付することができる。
- 4 聴講料等の納付金については、別表Vの③に定めるところによる。
- 5 聴講生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

（科目等履修生）

第38条 本学の学生以外の者が本学の特定の授業科目を履修しようとするときは、本学の教育・研究に支障がない限り、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することができる。

- 2 履修を許可する授業科目の単位数は、1年度につき12単位とし、在学年限は1年以内とする。
- 3 学長は、特定の授業科目を履修し、その単位を修得した科目等履修生に対し、単位修得証明書を交付することができる。
- 4 科目等履修の納付金については、別表Vの④に定めるところによる。
- 5 科目等履修生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

（委託生）

第39条 公共団体その他の機関から本学の特定の学科に修学を委託されたときは、選考のうえこれを受託し、委託の目的に合致する特定の授業科目の履修について、学長がこれを許可することができる。

- 2 前項の特定の授業科目の履修およびその単位は、委託者の希望を考慮し教授会の審議を経て、学長が決定する。

3 学長は、特定の授業科目を聴講し、その単位を修得した委託生に対し、単位修得証明書を交付することができる。

4 委託生の委託料は、別表Vの①に規定する授業料相当額とする。

5 委託生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(研究生)

第40条 本学の専任教員のもとで研究しようとする者があるときは、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することができる。

2 研究生の授業料等の学費は、別表Vの⑤に定めるところによる。

3 研究生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(外国人留学生)

第41条 勉学の目的をもった外国人で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(帰国生徒)

第42条 長期間の海外生活を経験した者で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 帰国生徒に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(社会人)

第43条 社会的経験を有する者で、第24条に定める要件を充足する者が本学への入学を志願するときは、選考のうえ、学長が入学を許可することができる。

2 社会人に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第4節 公開講座および履修証明プログラム

(公開講座)

第44条 本学に公開講座をおくことができる。

2 公開講座は、一般市民に対し本学の教育を公開し、学問・芸術の研究向上に資することを目的とする。

3 公開講座に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

(履修証明プログラム)

第44条の2 本学に履修証明プログラムをおくことができる。

2 履修証明プログラムは、本学および他大学の学生以外の社会人等を対象として、体系的な知識、技術等の習得を目指す課程とする。

3 履修証明プログラムに関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第5節 情報館

(情報館)

第45条 本学の情報館をおき、教育および研究活動に必要な図書、文献、画像、視聴覚資料および研究資料を収集管理し、教職員、学生および一般市民の利用に供する。

2 情報館に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

第6節 保健施設および学生寮

(保健施設)

第46条 本学に教職員および学生の保健衛生を管理するために、保健室をおく。

2 学生は、毎年定められた時期に健康診断を受けなければならない。

(学生寮)

第47条 本学に学生寮をおく。

2 学生寮に関する規程は、別にこれを定める。

第7節 育英奨学制度

(育英奨学制度)

第48条 本学に育英奨学制度を設ける。

2 育英奨学制度に関する規程は、別にこれを定める。

第8節 賞罰

(表彰)

第49条 学長は、品行・学業とも優秀で他の模範となる学生に対して、表彰を行うことがある。

(懲戒)

第50条 学長は学則または規則に違反し、その他学生の本分に背く行為のあった学生に対して、教授会の審議を経て懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学および退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

② 正当の理由なく、出席が常でない者

③ 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に背く者

4 学生の懲戒に関する規程は、本条に定めるもののほか、別にこれを定める。

附 則

第1項 この学則に定めるもののほか、学則の施行に関し、さらに必要な事項は別にこれを定める。

第2項 この学則は1979(昭和54)年4月1日から実施する。

第3項 1979(昭和54)年度の美術学部造形学科・デザイン学科の総定員は第4条の規定にかかわらず次のとおりとする。

1979(昭和 54)年度

造形学科 120 名

デザイン学科 120 名

第 4 項 この学則は、1982(昭和 57)年 12 月 1 日から実施する。

第 5 項 この学則は、1983(昭和 58)年 4 月 1 日から実施する。

第 6 項 この学則は、1984(昭和 59)年 4 月 1 日から実施する。

第 7 項 この学則は、1985(昭和 60)年 4 月 1 日から実施する。

第 8 項 この学則は、1986(昭和 61)年 4 月 1 日から実施する。

第 9 項 この学則は、1987(昭和 62)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 4 条の規定にかかわらず、1987(昭和 62)年度から 1995(平成 7)年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
美術学部	人
造形学科	120
デザイン学科	120
計	240

第 10 項 この学則は、1988(昭和 63)年 4 月 1 日から実施する。

第 11 項 この学則は、1989(平成元)年 4 月 1 日から実施する。

第 12 項 この学則は、1990(平成 2)年 4 月 1 日から実施する。

第 13 項 この学則は、1991(平成 3)年 4 月 1 日から実施する。

第 18 条に規定する人文学部における英語・中学校 1 種免許状、高等学校 1 種免許状を取得しようとする者は、1989(平成元)年 4 月入学者より必要単位を履修できるものとする。

2 第 4 条および附則第 9 項ただし書きの規定にかかわらず、1991(平成 3)年度から 1999(平成 11)年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
美術学部	人
造形学科	150(1996(平成 8)年度から 1999(11)年度までは 130 人)
デザイン学科	150(1996(平成 8)年度から 1999(11)年度までは 130 人)
計	300(1996(平成 8)年度から 1999(11)年度までは 260 人)
人文学部	
人文学科	300
計	300

第 14 項 この学則は、1992(平成 4)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 22 条第 1 項については、1991(平成 3)年 12 月 1 日より施行する。

第 15 項 この学則は、1993(平成 5)年 4 月 1 日から実施する。

この学則は、1993(平成 5)年 4 月 1 日入学者より適用する。1993(平成 5)年以前の入学者(1993(平成 5)年度美術学部編入生を含む)については、従来の第 12 条第 1 項別表 I を適用する。

第 16 項 この学則は、1994(平成 6)年 4 月 1 日から実施する。

第 17 項 この学則は、1996(平成 8)年 4 月 1 日から実施する。

2 ただし、第 4 条の規定にかかわらず、1996(平成 8)年度から 1999(平成 11)年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
美術学部	人
造形学科	150
デザイン学科	150
計	300

第 18 項 この学則は、1997(平成 9)年 4 月 1 日から実施する。

第 19 項 この学則は、2000(平成 12)年 4 月 1 日から実施する。

2 別表 I ①に規定する芸術学部教育課程については全学年一斉に移行し、1999(平成 11)年度以前入学者に対する移行・経過措置については、別にこれを定める。

3 第 4 条の規定にかかわらず、2000(平成 12)年度から 2003(平成 15)年までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員			
	2000(平成 12)年度	2001(平成 13)年度	2002(平成 14)年度	2003(平成 15)年度
芸術学部	人	人	人	人
造形学科	150	145	140	135
デザイン学科	170	165	160	155
計	320	310	300	290
人文学部				
人文学科	248	236	224	212
計	248	236	224	212

第 20 項 この学則は、2001(平成 13)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、第 18 条に規定する芸術学部マンガ学科における中学校教諭 1 種免許状(美術)および高等学校教諭 1 種免許状(美術)を取得しようとする者は、2000(平成 12)年 4 月入学者より必要単位を履修できるものとする。

また、人文学部環境社会学科において図書館司書の資格を取得しようとする者および芸術学部マンガ学科・人文学部環境社会学科において博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、2000(平成12)年4月入学者より必要単位を履修できるものとする。

第21項 この学則は、2003(平成15)年4月1日から実施する。

ただし、人文学部人文学科は、改定後の学則第3条の規定にかかわらず、当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

また、改定後の学則第4条の規定にかかわらず、2003(平成15)年度の人文学部社会メディア学科および文化表現学科の入学定員は、人文学部人文学科の臨時的定員の漸減計画による人数を継承し、以下のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
人文学部	人
社会メディア学科	116
文化表現学科	96
計	212

第22項 この学則は、2004(平成16)年4月1日から実施する。

ただし、人文学部社会メディア学科において第18条に規定する高等学校教諭1種免許状(公民)を取得しようとする者は、2003(平成15)年4月入学者より必要単位を履修することができるものとする。

また、芸術学部造形学科・デザイン学科・マンガ学科、人文学部社会メディア学科・文化表現学科において図書館司書の資格を取得しようとする者、および人文学部社会メディア学科・文化表現学科において博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、2003(平成15)年4月入学者より必要単位を履修することができるものとする。

第23項 この学則は、2005(平成17)年4月1日から実施する。

ただし、人文学部環境社会学科において第18条に規定する高等学校教諭1種免許状(公民)を取得しようとする者は、2004(平成16)年4月入学者より必要単位を履修することができるものとする。

第24項 この学則は、2006(平成18)年4月1日から実施する。

ただし、別表Iに規定する教育課程のうち、芸術学部基礎講義・演習科目、デザイン学部基礎講義・演習科目、マンガ学部基礎講義・演習科目、芸術学部専門講義科目、デザイン学部専門講義科目、デザイン学部建築学科専門教育科目の一部、マンガ学部専門講義科目については、芸術学部の2005(平成17)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第25項 この学則は、2007(平成19)年4月1日から実施する。

ただし、別表 I に規定する教育課程のうち、デザイン学部建築学科専門教育科目の「身体空間演習」と「インテリア表現演習」については 2007(平成 19)年 4 月入学者より適用し、人文学部専門教育科目については 2005(平成 17)年 4 月入学者より適用し、それ以外については 2006(平成 18)年 4 月入学者より適用する。

第 26 項 この学則は、2008(平成 20)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、別表 I に規定する教育課程のうち、芸術学部造形学科専門教育科目、デザイン学部基礎講義・演習科目、ビジュアルデザイン学科専門教育科目、マンガ学部基礎講義・演習科目、専門講義科目、アニメーション学科専門教育科目の一部については 2008(平成 20)年 4 月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

また、第 34 条に規定する入学金は 2009(平成 21)年 4 月入学者より適用し、授業料は、2008(平成 20)年 4 月入学者より適用する。

さらに、第 29 条第 5 項に規定する休学期間中の学費は、2008(平成 20)年 4 月 1 日より在籍学生に一斉適用する。

第 27 項 この学則は、2009(平成 21)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、別表 I に規定する教育課程のうち、芸術学部基礎講義・演習科目の一部、専門講義科目、造形学科専門教育科目、素材表現学科専門教育科目の一部、デザイン学部基礎講義・演習科目の一部、ビジュアルデザイン学科専門教育科目の一部、プロダクトデザイン学科専門教育科目の一部、マンガ学部基礎講義・演習科目の一部、専門講義科目、マンガ学科専門教育科目、マンガプロデュース学科専門教育科目の一部、アニメーション学科専門教育科目については 2009(平成 21)年 4 月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第 28 項 この学則は、2010(平成 22)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、別表 I に規定する教育課程のうち、芸術学部専門講義科目の一部、造形学科専門教育科目の一部、素材表現学科専門教育科目の一部、メディア造形学科専門教育科目の一部、デザイン学部専門講義科目、ビジュアルデザイン学科専門教育科目の一部、プロダクトデザイン学科専門教育科目の一部、建築学科専門教育科目の一部、マンガ学部マンガプロデュース学科専門教育科目、アニメーション学科専門教育科目、人文学部総合人文学科専門教育科目については 2010(平成 22)年 4 月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第 29 項 この学則は、2011(平成 23)年 4 月 1 日から実施する。

ただし、別表 I に規定する教育課程のうち、芸術学部専門講義科目の一部、造形学科専門教育科目の一部、素材表現学科専門教育科目の一部、メディア造形学科専門教育科目の一部、デザイン学部基礎講義・演習科目の一部、ビジュアルデザイン学科専門教育科目の一部、プロダクトデ

デザイン学科専門教育科目の一部、建築学科専門教育科目の一部、マンガ学部基礎講義・演習科目・専門講義科目の一部、マンガ学科専門教育科目の一部、マンガプロデュース学科専門教育科目の一部、アニメーション学科専門教育科目の一部、人文学部総合人文学科専門教育科目については2011(平成23)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第30項 この学則は、2012(平成24)年4月1日より実施する。

ただし、別表Iに規定する教育課程のうち、芸術学部基礎講義・演習科目の一部、デザイン学部基礎講義・演習科目の一部、デザイン学部建築学科専門教育科目の一部、マンガ学部基礎講義・演習科目の一部、人文学部基礎教育科目の一部については2012(平成24)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。また、芸術学部造形学科専門教育科目の一部については2011(平成23)年4月入学者についても適用する。その移行・経過措置は別に定める。

第31項 この学則は、2013(平成25)年4月1日より実施する。

別表Iに規定する教育課程のうち、芸術学部専門講義科目の一部、造形学科専門教育科目の一部、素材表現学科専門教育科目の一部、デザイン学部専門講義科目の一部、マンガ学部基礎講義・演習科目の一部、マンガ学部専門講義科目の一部、アニメーション学科専門教育科目の一部については2013(平成25)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第32項 この学則は、2014(平成26)年4月1日より実施する。

ただし、別表Iに規程する教育課程のうち、芸術学部専門講義科目の一部については2014(平成26)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第33項 この学則は、2015(平成27)年4月1日から実施する。

ただし、別表Iに規定する教育課程のうち、芸術学部専門講義科目の一部、造形学科専門教育科目の一部、素材表現学科専門教育科目の一部、メディア造形学科専門教育科目の一部、デザイン学部プロダクトデザイン学科専門教育科目の一部、建築学科専門教育科目の一部については2015(平成27)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第34項 この学則は、2016(平成28)年4月1日から実施する。ただし、第29条(休学)および別表Iに規定する教育課程のうち芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、ポピュラーカルチャー学部の基礎講義演習科目の一部と人文学部総合人文学科専門教育科目の一部については2015(平成27)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第35項 この学則は、2017(平成29)年4月1日から実施する。ただし、別表Iに規定する教育

課程のうち全学共通科目の一部、および芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、ポピュラーカルチャー学部、人文学部の専門教育科目の一部については2016(平成28)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第36項 この学則は、2018(平成30)年4月1日から実施する。ただし、別表Ⅰに規定する教育課程のうち全学共通科目の一部については2017(平成29)年4月以前入学者に対しても一斉に適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。また、人文学部の専門教育科目の一部については2015(平成27)年4月入学者より適用し、履修できるものとする。その移行・経過措置は別に定める。

第37項 この学則は、2019(平成31)年4月1日から実施する。ただし、別表Ⅰに規定する教育課程のうち、デザイン学部建築学科専門教育科目の「プレゼンテーション演習2」については2015(平成27)年4月入学者より適用する。また、別表Ⅴに規定する授業料については、2018(平成30)年4月以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

第38項 この学則は、2020(令和2)年4月1日から実施する。

第39項 この学則は、2021(令和3)年4月1日から実施する。ただし、第10条の2に規定する授業の方法については、2020(令和2)年4月以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

第40項 この学則は、2022(令和4)年4月1日から実施する。ただし、別表Ⅰおよび別表Ⅱに規定する教育課程は2021(令和3)年4月入学者より一斉に適用し、メディア表現学部メディア表現学科において第18条に規定する高等学校教諭1種免許状(情報)を取得しようとする者は、2021(令和3)年4月入学者より必要単位を履修することができるものとする。また別表Ⅲに規定する図書館司書課程に関する科目の一部については2021(令和2)年4月以前入学者に対しても適用する。その移行・経過措置は別に定める。

第41項 この学則は、2023(令和5)年4月1日から実施する。ただし、別表Ⅰに規定する教育課程のうちデザイン学部とマンガ学部の教育課程は2021(令和3)年4月入学者より、別表Ⅱに規定する教育課程は2022(令和4)年4月入学者より一斉に適用する。

第42項 この学則は、2025(令和7)年4月1日から実施する。ただし、第11条第1項および同条第2項の単位計算方法については、2024(令和6)年度以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

別表I 教育課程

①全学共通教育科目

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
全学部共通	全学科共通	共通教育科目					●共通教育科目から36単位以上必修
		【導入プログラム】					
		大学入門	1・2・3・4		1	1	
		【表現科目】					
		デッサン	1・2・3・4		1	1	
		写真技法	1・2・3・4		1	1	
		グラフィックデザインソフトスキル	1・2・3・4		1	1	
		オフィスソフトスキル入門	1・2・3・4		2	2	
		プログラミング1	1・2・3・4		1	1	
		プログラミング2	1・2・3・4		1	1	
		芸術学	1・2・3・4		2	2	
		美学	1・2・3・4		2	2	
		工芸概論	1・2・3・4		2	2	
		美術史	1・2・3・4		2	2	
		日本美術史	1・2・3・4		2	2	
		東洋美術史	1・2・3・4		2	2	
		西洋美術史	1・2・3・4		2	2	
		身体表現論	1・2・3・4		2	2	
		身体文化演習	1・2・3・4		2	2	
		スポーツ実習1	1・2・3・4		1	1	
		スポーツ実習2	1・2・3・4		1	1	
		【グローバル科目】					
		日本文化概論	1・2・3・4		1	1	
		英語1	1・2・3・4		2	2	
		英語2	1・2・3・4		2	2	
		日本語1	1・2・3・4		2	2	
		日本語2	1・2・3・4		2	2	
		上級日本語	2・3・4		2	2	
		English Discussion	2・3・4		2	2	
		Effective Presentation	2・3・4		2	2	
		English Communication Advanced 1	2・3・4		2	2	
		English Communication Advanced 2	2・3・4		2	2	
		中国語1	1・2・3・4		2	2	
		中国語2	1・2・3・4		2	2	
		韓国語1	1・2・3・4		2	2	
		韓国語2	1・2・3・4		2	2	
		フランス語1	1・2・3・4		2	2	
		フランス語2	1・2・3・4		2	2	
		スペイン語1	1・2・3・4		2	2	
		スペイン語2	1・2・3・4		2	2	
		海外語学研修プログラム	1・2・3・4		2	2	
		海外文化研修プログラム	1・2・3・4		2	2	
		複言語学習入門	1・2・3・4		2	2	
		日本語学	2・3・4		2	2	
		言語学	1・2・3・4		2	2	
		文化人類学	1・2・3・4		2	2	
		地理学	1・2・3・4		2	2	
日本史	1・2・3・4		2	2			

●【グローバル科目】
 ・国内学生は、原則として「英語1」「英語2」の2科目4単位を必修とする。留学生は、原則として「日本語1」「日本語2」の2科目4単位を必修とする。

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
全学部共通	全学科共通	東洋史	1・2・3・4		2	2		
		グローバルヒストリー	1・2・3・4		2	2		
		和の伝統文化論	1・2・3・4		2	2		
		京都学	1・2・3・4		2	2		
		京都の伝統工芸講座1	2・3・4		2	2		
		京都の伝統工芸講座2	2・3・4		2	2		
		【リベラルアーツ科目】						
		アカデミックスキル1	1	2		2		
		アカデミックスキル2	1	2		2		
		哲学	1・2・3・4		2	2		
		倫理学	1・2・3・4		2	2		
		文学	1・2・3・4		2	2		
		歴史学	1・2・3・4		2	2		
		宗教学	1・2・3・4		2	2		
		政治学	1・2・3・4		2	2		
		法学	1・2・3・4		2	2		
		日本国憲法	1・2・3・4		2	2		
		経済学	1・2・3・4		2	2		
		社会学	1・2・3・4		2	2		
		考古学	1・2・3・4		2	2		
		民俗学	1・2・3・4		2	2		
		情報科学	1・2・3・4		2	2		
		データサイエンス	1・2・3・4		2	2		
		人類と人工知能	1・2・3・4		2	2		
		自然科学概論	1・2・3・4		2	2		
		科学史	1・2・3・4		2	2		
		生物学	1・2・3・4		2	2		
		数学	1・2・3・4		2	2		
		心理学	1・2・3・4		2	2		
		健康学	1・2・3・4		2	2		
		ダイバーシティと社会	1・2・3・4		2	2		
		ジェンダーと社会	1・2・3・4		2	2		
		サステナビリティと社会	1・2・3・4		2	2		
		情報と倫理	1・2・3・4		1	1		
		共通基礎演習	1・2・3・4		2	2		
		【社会実践力育成プログラム】						
		国内ショートプログラム	1・2・3・4		2	2		
		社会連携PBLプログラム1	2・3・4		2	2		
		社会連携PBLプログラム2	2・3・4		2	2		
		京都の伝統産業実習	2・3・4		2	2		
		【キャリア科目】						
キャリア1	1・2・3・4		1	1				
キャリア2	2・3・4		1	1				
キャリア3	3・4		1	1				
職業研究	2・3・4		2	2				
新時代のキャリア	1・2・3・4		1	1				
クリエイティブの現場	2・3・4		2	2				
ソーシャルスキルトレーニング	1・2・3・4		1	1				
留学生のための日本ビジネス論	1・2・3・4		1	1				
ポートフォリオ基礎実習	2・3・4		1	1				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
全学部共通	全学科共通	ポートフォリオ専門実習	2・3・4		1	1	<p>●横断科目から卒業要件に算入する単位数は8単位を上限とする。</p> <p>●国際文化学部 「京都の歴史／書誌学／比較文学／社会芸術論／グローバル共生社会論／現代文化論」の履修は不可</p> <p>●メディア表現学部 「サウンドスケープ論／ポピュラー音楽論／画像工学2／ゲームデザイン論／メディア技術論1／メディア技術論2／コンテンツ産業論1／コンテンツ産業論2」の履修は不可</p> <p>●芸術学部 「美術基礎講座1／美術基礎講座2／美術基礎講座3／美術基礎講座4」の履修は不可</p> <p>●デザイン学部 「デザイン概論1／デザイン概論2／CG史／グローバルデザイン論1」の履修は不可</p> <p>●マンガ学部 「マンガ史1／マンガ概論1／メディア文化論／マンガリテラシー1／マンガリテラシー2」の履修は不可</p>	
		コミュニケーション実践実習	1・2・3・4		1	1		
		仕事体験1	1・2・3・4		1	1		
		仕事体験2	1・2・3・4		1	1		
		【横断科目】						
		国際文化学部提供科目						
		京都の歴史	1・2・3・4	2		2		
		書誌学	2・3・4	2		2		
		比較文学	2・3・4	2		2		
		社会芸術論	2・3・4	2		2		
		グローバル共生社会論	1・2・3・4	2		2		
		現代文化論	1・2・3・4	2		2		
		メディア表現学部提供科目						
		サウンドスケープ論	1・2・3・4	1		1		
		ポピュラー音楽論	1・2・3・4	1		1		
		画像工学2	1・2・3・4	1		1		
		ゲームデザイン論	1・2・3・4	1		1		
		メディア技術論1	1・2・3・4	1		1		
		メディア技術論2	1・2・3・4	1		1		
		コンテンツ産業論1	1・2・3・4	1		1		
		コンテンツ産業論2	1・2・3・4	1		1		
		芸術学部提供科目						
		美術基礎講座1	1・2・3・4	1		1		
		美術基礎講座2	1・2・3・4	1		1		
		美術基礎講座3	1・2・3・4	1		1		
		美術基礎講座4	1・2・3・4	1		1		
		デザイン学部提供科目						
		デザイン概論1	1・2・3・4	1		1		
		デザイン概論2	1・2・3・4	1		1		
		CG史	2・3・4	1		1		
グローバルデザイン論1	2・3・4	1		1				
マンガ学部提供科目								
マンガ史1	1・2・3・4	1		1				
マンガ概論1	1・2・3・4	1		1				
メディア文化論	2・3・4	2		2				
マンガリテラシー1	2・3・4	2		2				
マンガリテラシー2	2・3・4	2		2				

別表I 教育課程

②国際文化学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
国際文化学部	人文学科	専門教育科目					●人文学科 88単位以上必修	
		【学部基礎科目】						
		人文学原論	1	2	2			
		基礎実習1	1	1	1			
		基礎実習2	1	1	1			
		ことば実習	1	2	2			
		地域学	1	2	2			
		現場学	2	2	2			
		フィールドワーク方法論	2	2	2			
		【学部基幹科目】						
		専門演習1	2	2	2			
		専門演習2	2	2	2			
		専門演習3	3	2	2			
		専門演習4	3	2	2			
		卒業研究演習1	4	2	2			
		卒業研究演習2	4	2	2			
		卒業論文	4	4	4			
		フィールド・スタディーズ1	2	2	2			
		フィールド・スタディーズ2	2	2	2			
		フィールド・スタディーズ3	2	2	2			
		フィールド・スタディーズ4	2	2	2			
		フィールド・スタディーズ5	2	2	2			
		フィールド・スタディーズ6	2	2	2			
		フィールド・プログラム報告	3	2	2			
		フィールド・スタディーズ7	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ8	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ9	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ10	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ11	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ12	3・4		2	2		
		卒業研究調査	4		2	2		
		【人文学科基礎科目】						
		人文学概論	1	2		2		
		歴史学概論	2・3・4		2	2		
		文学概論	2・3・4		2	2		
		社会学概論	2・3・4		2	2		
		歴史学研究	3・4		2	2		
		文学研究	3・4		2	2		
		社会学研究	3・4		2	2		
		日本古代史特講	2・3・4		2	2		
		日本中世史特講	2・3・4		2	2		
		日本近世史特講	2・3・4		2	2		
		日本近代史特講	2・3・4		2	2		
		日本上代文学講読	2・3・4		2	2		
		日本中古文学講読	2・3・4		2	2		
		日本中世文学講読	2・3・4		2	2		
		日本近世文学講読	2・3・4		2	2		
		日本近代文学講読	2・3・4		2	2		
		現代社会特講1	2・3・4		2	2		
		現代社会特講2	2・3・4		2	2		
		現代社会特講3	2・3・4		2	2		
		現代社会特講4	2・3・4		2	2		
		現代社会特講5	2・3・4		2	2		
		【人文学科専門科目(歴史)】						
		京都の歴史	1・2・3・4		2	2		
		古文書解読	2・3・4		2	2		
		地誌学	2・3・4		2	2		
日本・アジア関係史	1・2・3・4		2	2				
日本藝能史	2・3・4		2	2				
日本思想史	2・3・4		2	2				
日本社会史	2・3・4		2	2				
日本文化史	2・3・4		2	2				
日本民俗学	2・3・4		2	2				
歴史地理学	2・3・4		2	2				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
国際文化学部	人文学科	【人文学科専門科目(文学)】					
		漢文学	2・3・4	2	2		
		くずし字読解	2・3・4	2	2		
		古典文法	2・3・4	2	2		
		詩歌論	2・3・4	2	2		
		書誌学	2・3・4	2	2		
		書道	2・3・4	2	2		
		説話・口承文学	1・2・3・4	2	2		
		日本語学特講	2・3・4	2	2		
		日本文学史	1・2・3・4	2	2		
		比較文学	2・3・4	2	2		
		批評理論	2・3・4	2	2		
		【人文学科専門科目(社会)】					
		社会藝術論	2・3・4	2	2		
		国際関係論	2・3・4	2	2		
		ジェンダー論	1・2・3・4	2	2		
		社会学特講	2・3・4	2	2		
		社会支援論	2・3・4	2	2		
		社会思想	2・3・4	2	2		
		社会調査法	2・3・4	2	2		
		大衆文化論	2・3・4	2	2		
		多文化共生論	2・3・4	2	2		
		地域社会論	1・2・3・4	2	2		
		【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際文化)】					
		文化人類学特講	2・3・4	2	2		
		国際協力論	2・3・4	2	2		
		グローバル共生社会論	1・2・3・4	2	2		
		グローバル化とメディア	1・2・3・4	2	2		
		英語学概論1	2・3・4	2	2		
		英語学概論2	2・3・4	2	2		
		英語文学1	2・3・4	2	2		
		英語文学2	2・3・4	2	2		
		English Communication Intermediate	2・3・4	2	2		
		World Englishes	2・3・4	2	2		
		心理言語学	2・3・4	2	2		
		社会言語学	2・3・4	2	2		
		【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際日本学)】					
		言語と社会	1・2・3・4	2	2		
		伝統文化論	2・3・4	2	2		
		現代文化論	1・2・3・4	2	2		
		比較藝術論	2・3・4	2	2		
伝統芸能論	2・3・4	2	2				
サブカルチャー論	2・3・4	2	2				
日本の美学	2・3・4	2	2				
言語習得論	2・3・4	2	2				
日本語教育学特講1	2・3・4	2	2				
日本語教育学特講2	3・4	2	2				
日本語教授法1	3・4	2	2				
日本語教授法2	3・4	2	2				
専門教育科目					●グローバルスタディーズ学科 88単位以上必修		
【学部基礎科目】							
人文学原論	1	2	2				
基礎実習1	1	1	1				
基礎実習2	1	1	1				
ことば実習	1	2	2				
地域学	1	2	2				
現場学	2	2	2				
フィールドワーク方法論	2	2	2				
【学部基幹科目】							
専門演習1	2	2	2				
専門演習2	2	2	2				
専門演習3	3	2	2				
専門演習4	3	2	2				
卒業研究演習1	4	2	2				
卒業研究演習2	4	2	2				
卒業論文	4	4	4				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
国際文化学部	グローバルスタディーズ学科	フィールド・スタディーズ1	2	2		2		
		フィールド・スタディーズ2	2	2		2		
		フィールド・スタディーズ3	2	2		2		
		フィールド・スタディーズ4	2	2		2		
		フィールド・スタディーズ5	2	2		2		
		フィールド・スタディーズ6	2	2		2		
		フィールド・プログラム報告	3	2		2		
		フィールド・スタディーズ7	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ8	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ9	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ10	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ11	3・4		2	2		
		フィールド・スタディーズ12	3・4		2	2		
		卒業研究調査	4		2	2		
		【グローバルスタディーズ学科基礎科目】						
			国際教養概論	1	2		2	
			国際文化概論	2・3・4		2	2	
			国際日本学概論	2・3・4		2	2	
			国際文化研究	3・4		2	2	
			国際日本学研究	3・4		2	2	
			国際文化特講1	2・3・4		2	2	
			国際文化特講2	2・3・4		2	2	
			国際文化特講3	2・3・4		2	2	
			国際文化特講4	2・3・4		2	2	
			国際日本学特講1	2・3・4		2	2	
			国際日本学特講2	2・3・4		2	2	
			国際日本学特講3	2・3・4		2	2	
			国際日本学特講4	2・3・4		2	2	
		【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際文化)】						
			文化人類学特講	2・3・4		2	2	
			国際協力論	2・3・4		2	2	
			グローバル共生社会論	1・2・3・4		2	2	
			グローバル化とメディア	1・2・3・4		2	2	
			英語学概論1	2・3・4		2	2	
			英語学概論2	2・3・4		2	2	
			英語文学1	2・3・4		2	2	
			英語文学2	2・3・4		2	2	
			English Communication Intermediate	2・3・4		2	2	
			World Englishes	2・3・4		2	2	
			心理言語学	2・3・4		2	2	
			社会言語学	2・3・4		2	2	
		【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際日本学)】						
			言語と社会	1・2・3・4		2	2	
			伝統文化論	2・3・4		2	2	
			現代文化論	1・2・3・4		2	2	
			比較藝術論	2・3・4		2	2	
			伝統藝能論	2・3・4		2	2	
			サブカルチャー論	2・3・4		2	2	
			日本の美学	2・3・4		2	2	
			言語習得論	2・3・4		2	2	
	日本語教育学特講1	2・3・4		2	2			
	日本語教育学特講2	3・4		2	2			
	日本語教授法1	3・4		2	2			
	日本語教授法2	3・4		2	2			
	日本語教育実習	4		2	2			
【人文学科専門科目(歴史)】								
	京都の歴史	1・2・3・4		2	2			
	古文書解読	2・3・4		2	2			
	地誌学	2・3・4		2	2			
	日本・アジア関係史	1・2・3・4		2	2			
	日本藝能史	2・3・4		2	2			
	日本思想史	2・3・4		2	2			
	日本社会史	2・3・4		2	2			
	日本文化史	2・3・4		2	2			
	日本民俗学	2・3・4		2	2			
	歴史地理学	2・3・4		2	2			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
国際文化学部	グローバルスタディーズ学科	【人文学科専門科目(文学)】					
		漢文学	2・3・4		2	2	
		くずし字読解	2・3・4		2	2	
		古典文法	2・3・4		2	2	
		詩歌論	2・3・4		2	2	
		書誌学	2・3・4		2	2	
		書道	2・3・4		2	2	
		説話・口承文学	1・2・3・4		2	2	
		日本語学特講	2・3・4		2	2	
		日本文学史	1・2・3・4		2	2	
		比較文学	2・3・4		2	2	
		批評理論	2・3・4		2	2	
		【人文学科専門科目(社会)】					
		社会藝術論	2・3・4		2	2	
		国際関係論	2・3・4		2	2	
		ジェンダー論	1・2・3・4		2	2	
		社会学特講	2・3・4		2	2	
		社会支援論	2・3・4		2	2	
		社会思想	2・3・4		2	2	
		社会調査法	2・3・4		2	2	
大衆文化論	2・3・4		2	2			
多文化共生論	2・3・4		2	2			
地域社会論	1・2・3・4		2	2			

別表I 教育課程

③メディア表現学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
メディア表現学部	メディア表現学科	専門実習科目					●メディア表現学科 88単位以上必修	
		【実習科目】						
		基礎実習1	1	2	2			
		基礎実習2	1	2	2			
		2年次実習1	2	4	4			
		2年次実習2	2	4	4			
		3年次実習1	3	4	4			
		3年次実習2	3	4	4			
		社会実践実習1	3	2	2			
		社会実践実習2	3	2	2			
		卒業研究実習1	4	4	4			
		卒業研究実習2	4	4	4			
		【卒業研究】						
		卒業研究	4	4	4			
		【基盤科目】						
		メディア表現概論	1	2	2			
		メディア表現史	1	2	2			
		プログラミング基礎	1	2	2			
		エクスターンシップ	2	2	2			
		メディアと知的財産権	2	1	1			
		メディア論	1・2・3・4		2	2		
		メディア数学	1・2・3・4		2	2		
		ライティング演習	3・4		1	1		
		プレゼンテーション演習	3・4		1	1		
		展示演習	3・4		1	1		
		キャリア演習	3・4		1	1		
		【専攻導入科目】						
		メディアイノベーション研究概論	1・2・3・4		1	1		
		メディアイノベーション初級演習	1・2・3・4		1	1		
		メディアデザイン研究概論	1・2・3・4		1	1		
		メディアデザイン初級演習	1・2・3・4		1	1		
		メディアコミュニケーション研究概論	1・2・3・4		1	1		
		メディアコミュニケーション初級演習	1・2・3・4		1	1		
		音楽メディア研究概論	1・2・3・4		1	1		
		音楽メディア初級演習	1・2・3・4		1	1		
		【学部選択科目】						
		メディア分析1	1・2・3・4		1	1		
		メディア分析2	1・2・3・4		1	1		
		メディア技術論1	1・2・3・4		1	1		
		メディア技術論2	1・2・3・4		1	1		
		メディアサービスストラテジー1	2・3・4		1	1		
		メディアサービスストラテジー2	2・3・4		1	1		
		メディアビジネス論1	2・3・4		1	1		
		メディアビジネス論2	2・3・4		1	1		
		ビジネスプロデュース論	2・3・4		1	1		
		グローバルコンテンツ研究	2・3・4		1	1		
		ビジネスモデル論	2・3・4		1	1		
グローバルUI/UXデザイン論	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション演習1	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション演習2	3・4		1	1				
メディアイノベーション演習3	3・4		1	1				
メディアイノベーション演習4	3・4		1	1				
メディアイノベーション演習5	3・4		1	1				
メディアイノベーション技法1	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション技法2	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション技法3	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション技法4	2・3・4		1	1				
メディアイノベーション技法5	3・4		1	1				
メディアイノベーション技法6	3・4		1	1				
メディアイノベーション技法7	3・4		1	1				
メディアイノベーション技法8	3・4		1	1				
メディアとデザインの歴史	1・2・3・4		1	1				
メディアと美術の歴史	1・2・3・4		1	1				
画像工学1	1・2・3・4		1	1				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
メディア表現学部	メディア表現学科	画像工学2	1・2・3・4		1	1	
		ゲームデザイン論	1・2・3・4		1	1	
		メディアアート論	2・3・4		1	1	
		メディアと社会	2・3・4		1	1	
		メディアと美学	2・3・4		1	1	
		視覚表現技術論1	2・3・4		1	1	
		視覚表現技術論2	2・3・4		1	1	
		データビジュアライゼーション論	2・3・4		1	1	
		テクノロジーと表現論	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習1	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習2	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習3	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習4	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習5	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習6	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン演習7	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン技法1	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン技法2	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン技法3	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン技法4	2・3・4		1	1	
		メディアデザイン技法5	3・4		1	1	
		メディアデザイン技法6	3・4		1	1	
		メディアデザイン技法7	3・4		1	1	
		メディアデザイン技法8	3・4		1	1	
		メディア産業論1	1・2・3・4		1	1	
		メディア産業論2	1・2・3・4		1	1	
		メディア産業論3	1・2・3・4		1	1	
		コンテンツ産業論1	1・2・3・4		1	1	
		コンテンツ産業論2	1・2・3・4		1	1	
		コンテンツ分析1	1・2・3・4		1	1	
		コンテンツ分析2	1・2・3・4		1	1	
		広告メディア論	2・3・4		1	1	
		ソーシャルメディア論	2・3・4		1	1	
		メディアミックス論	2・3・4		1	1	
		社会課題論	2・3・4		1	1	
		マーケティング論	2・3・4		1	1	
		ブランディング論	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション演習1	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション演習2	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション演習3	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション演習4	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法1	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法2	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法3	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法4	2・3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法5	3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法6	3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法7	3・4		1	1	
		メディアコミュニケーション技法8	3・4		1	1	
		音楽理論1	1・2・3・4		1	1	
		音楽理論2	1・2・3・4		1	1	
		音響技術論1	1・2・3・4		1	1	
音響技術論2	1・2・3・4		1	1			
サウンドスケープ論	1・2・3・4		1	1			
ポピュラー音楽論	1・2・3・4		1	1			
比較音楽論	2・3・4		1	1			
音響工学1	2・3・4		1	1			
音響工学2	2・3・4		1	1			
音楽分析1	2・3・4		1	1			
音楽分析2	2・3・4		1	1			
作曲法1	2・3・4		1	1			
作曲法2	2・3・4		1	1			
音響合成論	2・3・4		1	1			
生成音楽論	2・3・4		1	1			
音楽メディア演習1	2・3・4		1	1			
音楽メディア演習2	2・3・4		1	1			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
メディア表現学部	メディア表現学科	音楽メディア技法1	2・3・4		1	1	
		音楽メディア技法2	2・3・4		1	1	
		音楽メディア技法3	2・3・4		1	1	
		音楽メディア技法4	2・3・4		1	1	
		音楽メディア技法5	3・4		1	1	
		音楽メディア技法6	3・4		1	1	
		音楽メディア技法7	3・4		1	1	
		音楽メディア技法8	3・4		1	1	
		メディア表現特講1	1・2・3・4		1	1	
		メディア表現特講2	1・2・3・4		1	1	
		A リテラシー	1・2・3・4		1	1	
		文化批評1	1・2・3・4		1	1	
		文化批評2	1・2・3・4		1	1	
		サブカルチャーとメディア	1・2・3・4		1	1	
		教育メディア論	1・2・3・4		1	1	
		グローバルメディア表現演習	1・2・3・4		1	1	
		プログラミング発展1	2・3・4		1	1	
		プログラミング発展2	2・3・4		1	1	
		プログラミング発展3	2・3・4		1	1	
		プログラミング発展4	2・3・4		1	1	

別表I 教育課程

④芸術学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
芸術学部	造形学科	【基礎実習科目】					●造形学科 88単位以上必修	
		美術基礎講座 1	1	1	1			
		美術基礎講座 2	1	1	1			
		美術基礎講座 3	1	1	1			
		美術基礎講座 4	1	1	1			
		芸術基礎実習 1	1	6	6			
		芸術基礎実習 2	1	6	6			
		芸術造形実習 1	2	4.5	4.5			
		芸術造形実習 2	2	4.5	4.5			
		芸術造形実習 3	2	4.5	4.5			
		芸術造形実習 4	2	4.5	4.5			
		芸術応用実習 1	3	4.5	4.5			
		芸術応用実習 2	3	4.5	4.5			
		芸術応用実習 3	3	4.5	4.5			
		芸術応用実習 4	3	4.5	4.5			
		【卒業研究科目】						
		卒業研究 1	4	2	2			
		卒業研究 2	4	2	2			
		卒業研究 3	4	2	2			
		卒業研究 4	4	2	2			
		卒業研究発表	4	4	4			
		【専門選択実習科目】						
		専攻基礎実習 1	1・2・3・4		2	2		
		専攻基礎実習 2	1・2・3・4		2	2		
		専攻基礎実習 3	1・2・3・4		2	2		
		専攻基礎実習 4	1・2・3・4		2	2		
		芸術社会実践実習 1	1・2・3・4		1	1		
		芸術社会実践実習 2	1・2・3・4		1	1		
		芸術社会実践実習 3	1・2・3・4		1	1		
		芸術社会実践実習 4	1・2・3・4		1	1		
		工芸 1	2・3・4		2	2		
		工芸 2	2・3・4		2	2		
		美術解剖学	1・2・3・4		2	2		
		表現研究 1	1・2・3・4		2	2		
		表現研究 2	2・3・4		2	2		
		表現研究 3	2・3・4		2	2		
		図法製図	2・3・4		2	2		
		美術概論 1	1・2・3・4		1	1		
		美術概論 2	1・2・3・4		1	1		
		美術史概論 1	1・2・3・4		1	1		
		美術史概論 2	1・2・3・4		1	1		
		美術史特論 1	1・2・3・4		1	1		
		美術史特論 2	1・2・3・4		1	1		
		美術史特論 3	1・2・3・4		1	1		
		美術史特論 4	1・2・3・4		1	1		
		美術史特論 5	1・2・3・4		1	1		
		美術工芸史 1	1・2・3・4		1	1		
美術工芸史 2	1・2・3・4		1	1				
美術工芸史 3	1・2・3・4		1	1				
現代社会システム論	2・3・4		1	1				
美術リテラシー 1	2・3・4		1	1				
美術リテラシー 2	2・3・4		1	1				
視覚認知論	1・2・3・4		1	1				
美術特講 1	1・2・3・4		1	1				
美術特講 2	3・4		1	1				
アートマネジメント論	2・3・4		1	1				

別表I 教育課程

⑤デザイン学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
デザイン学部	デザイン学部共通	【デザイン学部基盤科目】						
		デザイン概論1	1	1		1		
		デザイン概論2	1	1		1		
		デザイン史1	1	1		1		
		デザイン史2	1	1		1		
		【デザイン学部共通科目】						
		家具史	2・3・4		1		1	
		製品材料学	2・3・4		1		1	
		プロダクトデザイン論	2・3・4		1		1	
		情報デザイン論	2・3・4		1		1	
		デザイン法規	2・3・4		1		1	
		色彩論	2・3・4		1		1	
		写真論	2・3・4		1		1	
		ビジュアルデザイン・アート批評	2・3・4		1		1	
		イラストレーション論1	2・3・4		1		1	
		イラストレーション論2	2・3・4		1		1	
		ファッション史	2・3・4		1		1	
		ファッション論	2・3・4		1		1	
		サステイナブルデザイン論	2・3・4		1		1	
		近代建築論	2・3・4		1		1	
		CG史	2・3・4		1		1	
		グローバルデザイン論1	2・3・4		1		1	
		グローバルデザイン論2	2・3・4		1		1	
		グローバルデザイン論3	2・3・4		1		1	
		社会連携演習1	1・2・3・4		2		2	
		社会連携演習2	1・2・3・4		2		2	
		インテリアデザイン論1	2・3・4		1		1	
		インテリアデザイン論2	2・3・4		1		1	
		人間工学1	2・3・4		1		1	
		人間工学2	2・3・4		1		1	
		まちづくりデザイン論1	2・3・4		1		1	
		まちづくりデザイン論2	2・3・4		1		1	
		ランドスケープデザイン論1	2・3・4		1		1	
ランドスケープデザイン論2	2・3・4		1		1			
デザイン学部	イラスト学科	【基礎実習科目】					●イラスト学科 デザイン学部基盤科目、デザイン学部共通科目、イラスト学科基礎実習科目、イラスト学科応用実習科目から88単位以上必修	
		イラスト基礎実習1	1	6		6		
		イラスト基礎実習2	1	6		6		
		描画1	1	2		2		
		PC基礎実習	1	2		2		
		イラスト基礎実習3	2	6		6		
		イラスト基礎実習4	2	6		6		
		デジタル表現	2・3・4		2			2
		デジタルドローイング	2・3・4		2			2
		ドローイング	2・3・4		2			2
		日本画	1・2・3・4		2			2
		水墨画	1・2・3・4		2			2
		銅版画	1・2・3・4		2			2
		イラスト動画	1・2・3・4		2			2
		立体表現1	1・2・3・4		2			2
		立体表現2	1・2・3・4		2			2
		シルクスクリーン	2・3・4		2			2
		写真	2・3・4		2			2
		映像表現	2・3・4		2			2
		描画2	2・3・4		2			2
		絵本1	2・3・4		2			2
		基礎立体・彫塑	2・3・4		2			2
		工芸	2・3・4		2			2
		【応用実習科目】						
		イラスト応用実習1	3	6		6		
		イラスト応用実習2	3	6		6		
		イラスト卒業制作1	4	4		4		
イラスト卒業制作2	4	4		4				
卒業制作・論文	4	4		4				
ゲームイラスト	3・4		2		2			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
デザイン学部	イラスト学科	WEBデザイン	3・4		2	2		
		グラフィックデザイン	3・4		2	2		
		ビジュアルアート	3・4		2	2		
		デジタルアート	3・4		2	2		
		デジタル実習1	3・4		2	2		
		デジタル実習2	3・4		2	2		
		絵本2	3・4		2	2		
		絵本3	3・4		2	2		
		アートマネジメント論	2・3・4		1	1		
	ビジュアルデザイン学科	【基礎実習科目】						●ビジュアルデザイン学科 デザイン学部基礎科目、デザイン学部共通科目、ビジュアルデザイン学科基礎実習科目、ビジュアルデザイン学科応用実習科目、ビジュアルデザイン学科卒業実習科目、ビジュアルデザイン学科共通スキル科目から88単位以上必修
		ビジュアルデザイン基礎実習1	1	6		6		
		ビジュアルデザイン基礎実習2	1	6		6		
		ビジュアルデザイン技法1	1	2		2		
		ビジュアルデザイン技法2	1	2		2		
		【応用実習科目】						
		ビジュアルデザイン応用実習1	2	6		6		
		ビジュアルデザイン応用実習2	2	6		6		
		ビジュアルデザイン技法3	2	2		2		
		ビジュアルデザイン技法4	2	2		2		
		ビジュアルデザインプロジェクト実習1	3	6		6		
		ビジュアルデザインプロジェクト実習2	3	6		6		
		【卒業実習科目】						
		ビジュアルデザイン表現研究	4	4		4		
		ビジュアルデザインテーマ研究	4	4		4		
		卒業制作・論文	4	4		4		
		【学科共通スキル科目】						
		ビジュアルデザインスキル1	1・2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル2	1・2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル3	1・2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル4	1・2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル5	2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル6	2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル7	2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル8	2・3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル9	3・4		2	2		
		ビジュアルデザインスキル10	3・4		2	2		
ビジュアルデザインスキル11	3・4		2	2				
ビジュアルデザインスキル12	3・4		2	2				
ビジュアルデザインスキル13	3・4		2	2				
ビジュアルデザインスキル14	3・4		2	2				
ビジュアルデザインスキル15	4		2	2				
ビジュアルデザインスキル16	4		2	2				
基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2				
工芸	2・3・4		2	2				
プロダクトデザイン学科	【基礎実習科目】					●プロダクトデザイン学科 デザイン学部基礎科目、デザイン学部共通科目、プロダクトデザイン学科基礎実習科目、プロダクトデザイン学科応用実習科目、プロダクトデザイン学科卒業実習科目、プロダクトデザイン学科選択科目、プロダクトデザイン学科建築士資格科目から88単位以上必修		
	工芸1	1	2		2			
	工芸2	1	2		2			
	プロダクトデザイン基礎実習1	1	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習2	1	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習3	1	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習4	1	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習5	2	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習6	2	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習7	2	2		2			
	プロダクトデザイン基礎実習8	2	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習9	2	3		3			
	プロダクトデザイン基礎実習10	2	2		2			
	【応用実習科目】							
	プロダクトデザイン応用実習1	3・4		3	3			
	プロダクトデザイン応用実習2	3・4		3	3			
	プロダクトデザイン応用実習3	3・4		3	3			
	プロダクトデザイン応用実習4	3・4		3	3			
	プロダクトデザイン応用実習5	3・4		3	3			
	プロダクトデザイン応用実習6	3・4		3	3			
プロダクトデザイン応用実習7	3・4		3	3				
プロダクトデザイン応用実習8	3・4		3	3				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考		
				必修	選択	計			
デザイン学部	プロダクトデザイン学科	デザイン学部応用実習1	3・4		3	3			
		デザイン学部応用実習2	3・4		3	3			
		【卒業実習科目】							
		卒業制作テーマ研究1	4		3	3			
		卒業制作テーマ研究2	4		1	1			
		卒業制作研究1	4		3	3			
		卒業制作研究2	4		1	1			
		卒業制作・論文	4		4	4			
		【プロダクトデザイン学科選択科目】							
		プロダクトカラー論1	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトカラー論2	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習1	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習2	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習3	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習4	1・2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習5	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習6	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習7	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習8	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習9	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習10	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習11	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン基礎選習12	2・3・4		1	1			
		プロダクトデザイン応用選習1	3・4		1	1			
		プロダクトデザイン応用選習2	3・4		1	1			
		社会実践演習1	1・2・3・4		2	2			
		社会実践演習2	2・3・4		2	2			
		社会実践演習3	3・4		2	2			
		社会実践演習4	4		2	2			
		基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2			
		【建築士資格科目】							
		建築計画1	1・2・3・4		1	1			
		一般構造	1・2・3・4		2	2			
		西洋建築史	1・2・3・4		2	2			
		住環境論	2・3・4		2	2			
		日本建築史	1・2・3・4		2	2			
		建築力学	2・3・4		2	2			
		環境工学	3・4		2	2			
		近現代建築史	1・2・3・4		2	2			
		建築構造	2・3・4		2	2			
		設備工学	3・4		2	2			
		伝統建築工法	2・3・4		2	2			
		建築構法実習	2・3・4		2	2			
		建築法規	3・4		2	2			
		材料実験	3・4		2	2			
		建築施工	3・4		2	2			
		測量実習	2・3・4		2	2			
		積算実習	3・4		2	2			
		建築計画2	3・4		1	1			
		建築材料学	2・3・4		2	2			
		建築フィールドワーク	2・3・4		2	2			
		建築学科	【建築学科専門科目】						<p>●建築学科 建築専攻は、デザイン学部基盤科目、デザイン学部共通科目、建築学科専門科目、建築学科専門選択科目から88単位以上必修</p> <p>人間環境デザイン専攻は、デザイン学部基盤科目、デザイン学部共通科目、建築学科専門科目、建築学科専門選択科目、人間環境デザイン専攻専門講義科目から88単位以上必修</p>
			建築環境基礎実習1	1	1.5	1.5			
			建築環境基礎実習2	1	1.5	1.5			
			建築環境基礎実習3	1	1.5	1.5			
			建築環境基礎実習4	1	1.5	1.5			
			製図模型実習1	1	1.5	1.5			
			製図模型実習2	1	1.5	1.5			
			製図模型実習3	1	1.5	1.5			
			プレゼンテーション実習	1	1.5	1.5			
			建築環境デザイン概論	1	1	1			
			建築環境デザイン実習1	1	1	1			
			建築環境デザイン実習2	1	1	1			
			建築環境デザイン実習3	1	1	1			
			建築構法実習	2	2	2			
			コンピューター基礎実習1	2	3	3			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
デザイン学部	建築学科	コンピューター基礎実習 2	2	3		3		
		建築応用実習 1	2・3・4		3	3		
		建築応用実習 2	2・3・4		3	3		
		人間環境デザイン応用実習 1	2・3・4		3	3		
		人間環境デザイン応用実習 2	2・3・4		3	3		
		仮想空間実習	2・3・4		2	2		
		自然環境実習	2・3・4		2	2		
		環境づくり実践	2・3・4		2	2		
		建築応用実習 3	3・4		6	6		
		建築応用実習 4	3・4		6	6		
		人間環境デザイン応用実習 3	3・4		6	6		
		人間環境デザイン応用実習 4	3・4		6	6		
		材料実験	3・4		2	2		
		コンピューター応用実習	3・4		2	2		
		素材応用実習	3・4		2	2		
		異文化環境演習	3・4		2	2		
		卒業研究実習 1	4	4		4		
		卒業研究実習 2	4	4		4		
		卒業制作・論文	4	4		4		
		【建築学科専門選択科目】						
			近現代建築史	1・2・3・4		2	2	
			建築計画 1	1・2・3・4		1	1	
			一般構造	1・2・3・4		2	2	
			建築社会実践実習 1	1・2・3・4		2	2	
			建築社会実践実習 2	1・2・3・4		2	2	
			自然環境フィールドワーク	2・3・4		1	1	
			住環境論	2・3・4		2	2	
			日本建築史	2・3・4		2	2	
			伝統建築工法	2・3・4		2	2	
			西洋建築史	2・3・4		2	2	
			仮想空間論	2・3・4		2	2	
			建築材料学	2・3・4		2	2	
			建築力学	2・3・4		2	2	
			建築構造	2・3・4		2	2	
			測量実習	2・3・4		2	2	
			建築フィールドワーク	2・3・4		2	2	
			建築環境デザイン論	2・3・4		1	1	
			地域学	2・3・4		2	2	
			コミュニティと社会論	2・3・4		2	2	
			都市環境論	2・3・4		2	2	
			コミュニティフィールドワーク	2・3・4		2	2	
			現場学	2・3・4		2	2	
			環境工学	3・4		2	2	
			設備工学	3・4		2	2	
			建築計画 2	3・4		1	1	
			建築施工	3・4		2	2	
			建築法規	3・4		2	2	
			積算実習	3・4		2	2	
			建築社会実践実習 3	4		2	2	
			建築社会実践実習 4	4		2	2	
【人間環境デザイン専攻専門講義科目】								
	視覚認知論	2・3・4		1	1			
	メディア産業論	2・3・4		1	1			
	日本アニメーション史	2・3・4		1	1			
	世界アニメーション史	2・3・4		1	1			
	グローバルコンテンツ研究	2・3・4		1	1			
	ソーシャルメディア論	2・3・4		1	1			
	グローバル化とメディア	2・3・4		1	1			
	伝統文化論	2・3・4		1	1			
	批評理論	2・3・4		1	1			
	日本・アジア関係史	2・3・4		1	1			
	国際関係論	2・3・4		1	1			
	社会調査法	2・3・4		1	1			
	多文化共生論	2・3・4		1	1			
	地域社会論	2・3・4		1	1			

別表I 教育課程

⑥マンガ学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考		
				必修	選択	計			
マンガ学部	マンガ学部共通	【マンガ学部基盤科目】							
		マンガ概論1	1	1		1			
		マンガ概論2	1	1		1			
		マンガ史1	1	1		1			
		マンガ史2	1	1		1			
		【マンガ学部共通科目】							
		キャラクター造形論1	2・3・4		2		2		
		キャラクター造形論2	2・3・4		2		2		
		マンガリテラシー1	2・3・4		2		2		
		マンガリテラシー2	2・3・4		2		2		
		メディア文化論	2・3・4		2		2		
		マンガ学科	【ストーリーマンガ・新世代マンガコース専門科目（必修）】						●マンガ学科 ストーリーマンガコース、新世代マンガコース マンガ学部基盤科目、マンガ学部共通科目、コース専門科目から88単位以上必修 キャラクターデザインコース マンガ学部基盤科目、マンガ学部共通科目、コース専門科目から88単位以上必修
			マンガデッサン1	1	3		3		
	マンガデッサン2		1	3		3			
	絵画技法1		1	3		3			
	絵画技法2		1	3		3			
	基礎デジタル実習1		1	2		2			
	基礎デジタル実習2		1	2		2			
	脚本実習1		2	3		3			
	脚本実習2		2	3		3			
	表現技法1		2	3		3			
	表現技法2		2	3		3			
	デジタル実習1		2	2		2			
	デジタル実習2		2	2		2			
	マンガ創作実習1		3	3		3			
	マンガ創作実習2		3	3		3			
	マンガ制作実習1		3	3		3			
	マンガ制作実習2		3	3		3			
	卒業研究実習1		4	4		4			
	卒業研究実習2		4	4		4			
	卒業制作		4	4		4			
	【ストーリーマンガ・新世代マンガコース専門科目（選択）】								
	マンガクロッキー		1・2・3・4		2		2		
	カラー演習1		2・3・4		2		2		
	カラー演習2		2・3・4		2		2		
	動態描写技法1		2・3・4		2		2		
	動態描写技法2		2・3・4		2		2		
	マンガデザイン1		2・3・4		2		2		
	マンガデザイン2		2・3・4		2		2		
	マンガ背景技法		2・3・4		2		2		
	基礎デッサン1		2・3・4		2		2		
基礎デッサン2	2・3・4			2		2			
実用マンガ実習1	2・3・4			2		2			
実用マンガ実習2	2・3・4			2		2			
コラボレーション実習1	2・3・4			2		2			
コラボレーション実習2	2・3・4			2		2			
B.Lマンガ実習1	2・3・4			2		2			
B.Lマンガ実習2	2・3・4			2		2			
脚本概論1	1・2・3・4			2		2			
脚本概論2	1・2・3・4		2		2				
マンガ社会文化概論	2・3・4		2		2				
ウェブトゥーン論	2・3・4		2		2				
B.L論	2・3・4		2		2				
新世代マンガ総合講座1	2・3・4		2		2				
新世代マンガ総合講座2	2・3・4		2		2				
マンガビジネス基礎講義	2・3・4		2		2				
マンガ演出論1	2・3・4		2		2				
マンガ演出論2	2・3・4		2		2				
メディア産業論	2・3・4		2		2				
マンガ表現史	2・3・4		2		2				
基礎立体・彫塑	2・3・4		2		2				
工芸	2・3・4		2		2				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計		
マンガ学部	マンガ学科	【キャラクターデザインコース専門科目（選択必修）】						
		キャラクター造形基礎1	1・2・3・4		1.5	1.5		
		キャラクター造形基礎2	1・2・3・4		1.5	1.5		
		キャラクター造形基礎3	1・2・3・4		1.5	1.5		
		キャラクター造形基礎4	1・2・3・4		1.5	1.5		
		3Dグラフィックス基礎1	1・2・3・4		1.5	1.5		
		3Dグラフィックス基礎2	1・2・3・4		1.5	1.5		
		3Dグラフィックス基礎3	1・2・3・4		1.5	1.5		
		3Dグラフィックス基礎4	1・2・3・4		1.5	1.5		
		ゲームデザイン基礎1	1・2・3・4		1.5	1.5		
		ゲームデザイン基礎2	1・2・3・4		1.5	1.5		
		ゲームデザイン基礎3	1・2・3・4		1.5	1.5		
		ゲームデザイン基礎4	1・2・3・4		1.5	1.5		
		キャラクター造形応用1	2・3・4		3	3		
		キャラクター造形応用2	2・3・4		3	3		
		3Dグラフィックス応用1	2・3・4		3	3		
		3Dグラフィックス応用2	2・3・4		3	3		
		ゲームデザイン応用1	2・3・4		3	3		
		ゲームデザイン応用2	2・3・4		3	3		
		【キャラクターデザインコース専門科目（必修）】						
		キャラクターデザイン研究1	3	3		3		
		キャラクターデザイン研究2	3	3		3		
		キャラクターデザイン実践1	3	3		3		
		キャラクターデザイン実践2	3	3		3		
		卒業研究実習1	4	4		4		
		卒業研究実習2	4	4		4		
		卒業制作	4	4		4		
		【キャラクターデザインコース専門科目（選択）】						
		アナログスカルプティング	2・3・4		2	2		
		デジタルスカルプティング	2・3・4		2	2		
		3Dテクスチャリング	2・3・4		2	2		
		3D背景モデリング	2・3・4		2	2		
		アナログフィギュア造形	2・3・4		2	2		
		デジタルフィギュア造形	2・3・4		2	2		
		背景技法	2・3・4		2	2		
		表現実践技法	2・3・4		2	2		
		カメラ表現技法	2・3・4		2	2		
		絵本技法	2・3・4		2	2		
		クリーチャー作画実習	2・3・4		2	2		
		コスチューム作画実習	2・3・4		2	2		
		アナログ描画技法	2・3・4		2	2		
		ポートフォリオデザイン	2・3・4		2	2		
		デジタルイラスト技法	2・3・4		2	2		
		動物作画実習	2・3・4		2	2		
		映像編集	2・3・4		2	2		
		人体研究1	2・3・4		2	2		
		人体研究2	2・3・4		2	2		
		デジタルソフト実習	2・3・4		2	2		
		デジタル動画技法	2・3・4		2	2		
		ゲームUIデザイン	2・3・4		2	2		
		ビジュアルストーリーテリング	2・3・4		2	2		
		トランスメディアストーリーテリング	2・3・4		2	2		
		ゲームプランニング	2・3・4		2	2		
		アナログゲーム制作実習	2・3・4		2	2		
		ゲームエンジン実習	2・3・4		2	2		
		ゲーム編集技法	3・4		2	2		
VRコンテンツ制作	2・3・4		2	2				
キャラクター表現史	2・3・4		2	2				
空想生物デザイン論	1・2・3・4		2	2				
神話キャラクター論	2・3・4		2	2				
代替現実ゲーム論	2・3・4		2	2				
エンターテイメント総合講座	1・2・3・4		2	2				
ゲーム史	2・3・4		2	2				
ゲーム産業論	2・3・4		2	2				
基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2				
工芸	2・3・4		2	2				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計	
マンガ学部	アニメーション学科	【学科専門講義科目】					●アニメーション学科 マンガ学部基盤科目、マンガ学部 共通科目、学科専門講義科目、 学科専門実習科目から88単位 以上必修
		日本アニメーション史	1・2・3・4		2	2	
		世界アニメーション史	1・2・3・4		2	2	
		【学科専門実習科目】					
		アニメーション作画基礎1	1	3		3	
		アニメーション作画基礎2	1	3		3	
		アニメーション人体構造	1	2		2	
		アニメーションCG基礎1	1	2		2	
		アニメーションCG基礎2	1	2		2	
		アニメーション基礎研究	1・2・3・4		2	2	
		ファーストステップ1	1・2・3・4		2	2	
		ファーストステップ2	1・2・3・4		2	2	
		ドローイング1	1・2・3・4		2	2	
		ドローイング2	1・2・3・4		2	2	
		アニメーション作画1	2	3		3	
		アニメーション作画2	2	3		3	
		アニメーション表現技法1	2	2		2	
		アニメーション表現技法2	2	2		2	
		アニメーション演出基礎1	2	2		2	
		アニメーション演出基礎2	2	2		2	
		アニメーション音響基礎1	2・3・4		2	2	
		アニメーション音響基礎2	2・3・4		2	2	
		アニメーション3DCG1	2・3・4		2	2	
		アニメーション3DCG2	2・3・4		2	2	
		ストップモーション1	2・3・4		3	3	
		ストップモーション2	2・3・4		3	3	
		アニメーション作品作家研究1	2・3・4		2	2	
		アニメーション作品作家研究2	2・3・4		2	2	
		アクションドローイング1	2・3・4		2	2	
		アクションドローイング2	2・3・4		2	2	
		シナリオ技法1	2・3・4		1	1	
		シナリオ技法2	2・3・4		1	1	
		卒業制作企画	3	1		1	
		アニメーション実践実習1	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習2	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習3	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習4	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習5	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習6	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習7	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習8	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習9	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習10	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習11	3・4		3	3	
		アニメーション実践実習12	3・4		3	3	
		アニメーション応用技法1	3・4		2	2	
		アニメーション応用技法2	3・4		2	2	
エフェクト技法1	3・4		2	2			
エフェクト技法2	3・4		2	2			
卒業研究実習1	4	4		4			
卒業研究実習2	4	4		4			
卒業制作	4	4		4			
基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2			
工芸	2・3・4		2	2			

別表Ⅱ 教職に関する専門科目

教育の基礎的理解に関する科目等

学部	学科	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を設置する各学科	教育の基礎的理解に関する科目				「道徳教育論」および「教育実習Ⅱ」の単位は、中一種免取得希望者のみ必修とする。
		教育原論	2		2	
		教職論	2		2	
		教育制度論	2		2	
		教育心理学	2		2	
		特別支援教育論	1		1	
		教育課程論	2		2	
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
		道徳教育論		2	2	
		総合的な学習の時間の指導論	1		1	
		特別活動論	2		2	
		教育方法論	2		2	
		生徒・進路指導論	2		2	
		教育相談	2		2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		1	
		教育実践に関する科目				
		事前・事後指導	1		1	
教育実習Ⅰ	2		2			
教育実習Ⅱ		2	2			
教職実践演習（中・高）	2		2			

教科及び教科の指導法に関する科目

芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を設置する各学科	各教科の指導法				「各教科の指導法」は該当教科の指導法を履修する。なお、各教科の指導法より、中一種免は8単位、高一種免は4単位以上をそれぞれ選択必修とする。
		美術科教育法Ⅰ		2	2	
		美術科教育法Ⅱ		2	2	
		美術科・工芸科教育法Ⅰ		2	2	
		美術科・工芸科教育法Ⅱ		2	2	
		国語科教育法Ⅰ		2	2	
		国語科教育法Ⅱ		2	2	
		国語科教育法Ⅲ		2	2	
		国語科教育法Ⅳ		2	2	
		社会科地歴科教育法Ⅰ		2	2	
		社会科地歴科教育法Ⅱ		2	2	
		社会科公民科教育法Ⅰ		2	2	
		社会科公民科教育法Ⅱ		2	2	
		情報科教育法Ⅰ		2	2	
		情報科教育法Ⅱ		2	2	
		英語科教育法Ⅰ		2	2	
		英語科教育法Ⅱ		2	2	
英語科教育法Ⅲ		2	2			
英語科教育法Ⅳ		2	2			

大学が独自に設定する科目

学部	学科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部	課程を設置する各学科	人権教育論		2	2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて、中一種免の場合には4単位以上、高一種免の場合には12単位以上を修得する。
		現代学校論		2	2	
		障がい者理解		2	2	
		学校安全論		2	2	
		学校ボランティア		2	2	
国際文化学部・メディア表現学部	課程を設置する各学科	人権教育論	2		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて、中一種免の場合には4単位以上、高一種免の場合には12単位以上を修得する。
		障がい者理解	2		2	
		学校安全論	2		2	
		学校ボランティア	2		2	

別表Ⅲ 図書館司書課程に関する科目

学部	学科	区分	授 業 科 目	単 位 数			備 考	
				必修	選択	計		
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部 ・メディア表現学部・国際文化学部	課 程 を 設 置 す る 学 科	必 修 科 目	生涯学習概論	2		2		
			図書館概論	2		2		
			図書館制度・経営論	2		2		
			図書館情報技術論	2		2		
			図書館サービス概論	2		2		
			情報サービス論	2		2		
			児童サービス論	2		2		
			情報サービス演習 1	1		1		
			情報サービス演習 2	1		1		
			図書館情報資源概論	2		2		
			情報資源組織論	2		2		
			情報資源組織演習 1	1		1		
			情報資源組織演習 2	1		1		
		選 択 科 目	図書館サービス特論		2	2		4科目のうち2科目を 選択必修。
			書誌学		2	2		
			芸術資料特論		2	2		
			図書館実習		2	2		

別表Ⅳ 博物館学芸員課程に関する科目

学部	学科	区分	授業科目	単位数			備考	
				必修	選択	計		
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・メディア表現学部・国際文化学部	課程を 設置する 学科	必修科目	生涯学習概論	2		2	2系列以上にわたり、それぞれ1科目以上、計2科目4単位以上を履修しなければならない。	
			博物館概論	2		2		
			博物館経営論	2		2		
			博物館資料論	2		2		
			博物館資料保存論	2		2		
			博物館展示論	2		2		
			博物館教育論	2		2		
			博物館情報・メディア論	2		2		
			博物館実習	3		3		
		選択科目	文化史	説話・口承文学		2		2
			美術史	美術史		2		2
				日本美術史		2		2
				東洋美術史		2		2
				西洋美術史		2		2
考古学	考古学		2	2				
民俗学	民俗学		2	2				
自然科学史	自然科学概論		2	2				
	生物学	生物学		2	2			

別表V

① 正規の学生の授業料等

1. 入学検定料

費 目	金 額
入 学 検 定 料	35,000円
大学入学共通テストを利用する入学試験の検定料	10,000円

注) 入学検定料は、学内規定により減免することができる。

2. 入学金

費 目	金 額
入 学 金	200,000円

3. 芸術学部学費

費 目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年 間
授 業 料	387,500円	387,500円	387,500円	387,500円	1,550,000円

4. デザイン学部学費

費 目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年 間
授 業 料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

5. マンガ学部学費

費 目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年 間
授 業 料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

6. メディア表現学部学費

費 目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年 間
授 業 料	296,500円	296,500円	296,500円	296,500円	1,186,000円

7. 国際文化学部学費

費 目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年 間
授 業 料	271,500円	271,500円	271,500円	271,500円	1,086,000円

② 編入学・転入学・再入学の授業料等は入学年次に相当する正規の学生の年次の授業料等に準ずるものとし、入学検定料および入学金については正規の学生の1年生に準ずるものとする。

③ 聴講料

登 録 料	15,000円
聴 講 料 (1 単 位 あ た り)	15,000円

④ 科目等履修料

登 録 料	15,000円
聴 講 料 (1 単 位 あ た り)	15,000円

⑤ 研究生学費

研 究 生	前 期	後 期	年 間
芸 術 学 部	291,500円	291,500円	583,000円
デ ザ イ ン 学 部	296,500円	296,500円	593,000円
マ ン ガ 学 部	296,500円	296,500円	593,000円
メ デ ィ ア 表 現 学 部	231,000円	231,000円	462,000円
国 際 文 化 学 部	214,500円	214,500円	429,000円

京都精華大学研究生学費算出基準

- (1) 研究生出願手数料 = 学部入学検定料×1/3
- (2) 研究生授業料 = (学部入学金+学部授業料)×1/3
- (3) ただし、1,000円未満は四捨五入とする。

変更の事由及び時期

1. 変更の事由

- ① 2025年度から学部・学科の入学定員および収容定員の変更を行う（第3条第2項）。
- ② 2025年度からの学部学科で分属する専攻名等の変更に伴い「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に係る箇所の訂正を行う（第3条の2）。
- ③ 「学期および授業日数」について、授業の内容や特性に応じ Semester 期間あるいはクォーター期間で授業科目が開講できるよう改定する（第7条、第7条第2項）。
- ④ 2022年10月1日に施行された大学設置基準の改定を踏まえ、単位の計算方法に関する条項の改定を行う（第11条、第11条第2項）。
- ⑤ 国際文化学部グローバルスタディーズ学科の取得可能な資格について、「中学校・高校教諭第一種免許状（社会／公民）」の取得を2024年度生で廃止し、2025年度生からは「中学校・高校教諭第一種免許状（英語）」を設置する（第18条）。
- ⑥ 国際文化学部グローバルスタディーズ学科に2025年度から「登録日本語教員課程」の設置について記載する（第18条第4項）。
- ⑦ 教育課程の変更に伴い、2025年度以降の国際文化学部入学生は、卒業した者の学位に付記する専攻分野の名称を変更する（第22条第3項）。
- ⑧ 国際文化学部については、外国人留学生や帰国生徒に関わらず、後期からの入学ができるよう文言を変更する（第23条第2項）。
- ⑨ 休退学や再入学等の学籍異動は Semester 単位で運用するため、休学期間中の学費に係る箇所を変更する（第29条第6項）。
- ⑩ 2025年度から全学共通教育科目を大幅に見直し、加えて各学部の専攻・コースの再編等により教育課程の科目の改定を行う（別表Ⅰ（教育課程）①～⑥）。
- ⑪ 国際文化学部グローバルスタディーズ学科に設置する「中学校・高校教諭第一種免許状（英語）」に必要な科目の追加を行う（別表Ⅱ（教職に関する専門科目））。
- ⑫ 博物館学芸員課程の選択科目の見直しを行う（別表Ⅳ（博物館学芸員課程に関する科目））。
- ⑬ Semester 単位の運用に伴い、学費に係る学費納入期の名称変更を行う（別表Ⅴ）。

2. 変更時期

2025（令和7）年4月1日

※ただし、第11条第1項および同条第2項の単位計算方法については、2024（令和6）年度以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

以上

変更部分の新旧比較対照表

【 新 】	【 旧 】																																																																
<p>第1章 総則 (目的) 第1条 本学は学校教育法および教育基本法の規定するところに従い、大学教育を施し、広く知識を授けるとともに、深奥な学問芸術を研究・教授し、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>(学部、学科、入学定員および収容定員) 第3条 本学に次の学部・学科をおく。 芸術学部 造形学科 デザイン学部 イラスト学科 ビジュアルデザイン学科 プロダクトデザイン学科 建築学科 マンガ学部 マンガ学科 アニメーション学科 メディア表現学部 メディア表現学科 国際文化学部 人文学科 グローバルスタディーズ学科</p> <p>2 前項の学部・学科の入学定員および収容定員は次のとおりとする。</p>	<p>第1章 総則 (目的) 第1条 本学は学校教育法および教育基本法の規定するところに従い、大学教育を施し、広く知識を授けるとともに、深奥な学問芸術を研究・教授し、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>(学部、学科、入学定員および収容定員) 第3条 本学に次の学部・学科をおく。 芸術学部 造形学科 デザイン学部 イラスト学科 ビジュアルデザイン学科 プロダクトデザイン学科 建築学科 マンガ学部 マンガ学科 アニメーション学科 メディア表現学部 メディア表現学科 国際文化学部 人文学科 グローバルスタディーズ学科</p> <p>2 前項の学部・学科の入学定員および収容定員は次のとおりとする。</p>																																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学 部</th> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術学部</td> <td>造形学科</td> <td style="text-align: center;">140人</td> <td style="text-align: center;">560人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">デザイン学部</td> <td>イラスト学科</td> <td style="text-align: center;">67人</td> <td style="text-align: center;">268人</td> </tr> <tr> <td>ビジュアルデザイン学科</td> <td style="text-align: center;">74人</td> <td style="text-align: center;">296人</td> </tr> <tr> <td>プロダクトデザイン学科</td> <td style="text-align: center;">77人</td> <td style="text-align: center;">308人</td> </tr> <tr> <td>建築学科</td> <td style="text-align: center;">56人</td> <td style="text-align: center;">224人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">マンガ学部</td> <td>マンガ学科</td> <td style="text-align: center;">240人</td> <td style="text-align: center;">960人</td> </tr> <tr> <td>アニメーション学科</td> <td style="text-align: center;">84人</td> <td style="text-align: center;">336人</td> </tr> <tr> <td>メディア表現学部</td> <td>メディア表現学科</td> <td style="text-align: center;">177人</td> <td style="text-align: center;">708人</td> </tr> </tbody> </table>	学 部	学 科	入学定員	収容定員	芸術学部	造形学科	140人	560人	デザイン学部	イラスト学科	67人	268人	ビジュアルデザイン学科	74人	296人	プロダクトデザイン学科	77人	308人	建築学科	56人	224人	マンガ学部	マンガ学科	240人	960人	アニメーション学科	84人	336人	メディア表現学部	メディア表現学科	177人	708人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学 部</th> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術学部</td> <td>造形学科</td> <td style="text-align: center;">112人</td> <td style="text-align: center;">448人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">デザイン学部</td> <td>イラスト学科</td> <td style="text-align: center;">64人</td> <td style="text-align: center;">256人</td> </tr> <tr> <td>ビジュアルデザイン学科</td> <td style="text-align: center;">64人</td> <td style="text-align: center;">256人</td> </tr> <tr> <td>プロダクトデザイン学科</td> <td style="text-align: center;">72人</td> <td style="text-align: center;">288人</td> </tr> <tr> <td>建築学科</td> <td style="text-align: center;">56人</td> <td style="text-align: center;">224人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">マンガ学部</td> <td>マンガ学科</td> <td style="text-align: center;">232人</td> <td style="text-align: center;">928人</td> </tr> <tr> <td>アニメーション学科</td> <td style="text-align: center;">80人</td> <td style="text-align: center;">320人</td> </tr> <tr> <td>メディア表現学部</td> <td>メディア表現学科</td> <td style="text-align: center;">168人</td> <td style="text-align: center;">672人</td> </tr> </tbody> </table>	学 部	学 科	入学定員	収容定員	芸術学部	造形学科	112人	448人	デザイン学部	イラスト学科	64人	256人	ビジュアルデザイン学科	64人	256人	プロダクトデザイン学科	72人	288人	建築学科	56人	224人	マンガ学部	マンガ学科	232人	928人	アニメーション学科	80人	320人	メディア表現学部	メディア表現学科	168人	672人
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																																														
芸術学部	造形学科	140人	560人																																																														
デザイン学部	イラスト学科	67人	268人																																																														
	ビジュアルデザイン学科	74人	296人																																																														
	プロダクトデザイン学科	77人	308人																																																														
	建築学科	56人	224人																																																														
マンガ学部	マンガ学科	240人	960人																																																														
	アニメーション学科	84人	336人																																																														
メディア表現学部	メディア表現学科	177人	708人																																																														
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																																														
芸術学部	造形学科	112人	448人																																																														
デザイン学部	イラスト学科	64人	256人																																																														
	ビジュアルデザイン学科	64人	256人																																																														
	プロダクトデザイン学科	72人	288人																																																														
	建築学科	56人	224人																																																														
マンガ学部	マンガ学科	232人	928人																																																														
	アニメーション学科	80人	320人																																																														
メディア表現学部	メディア表現学科	168人	672人																																																														

国際文化学部	人文学科	138人	552人
	グローバルスタ	45人	180人
	ディーズ学科		

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第3条の2 前条の学部・学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

芸術学部

人間の多様性を理解した上で、幅広い視野から適切な表現方法を用いてコミュニケーションをとることができ、さらに芸術によって培われる専門性と創造力で人類社会の諸課題に取り組むことができる主体性をもった人間形成を目的とする。

造形学科

伝統的造形芸術の知識技法にとどまらず、多角的な観察と自立した思考力によって新たな表現を創造する能力と造形芸術を開拓できる資質を備えた人材の養成を行う。

デザイン学部

デザイン領域において高度な技法知識を修得し新たな可能性を探究すること、および自立した思考によってグローバル社会および地域社会に現実的に貢献するデザイナー・プランナーの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

イラスト学科

デザインやアートといった多様なフィールドで展開が可能となるイラスト領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

ビジュアルデザイン学科

情報技術の発展によってその目的および手法が飛躍的に拡大した視覚デザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

プロダクトデザイン学科

社会活動や生活に使用される道具、器具、装置、衣服などのデザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

建築学科

環境、建築、居住空間などのデザイン・設計の領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

マンガ学部

マンガ文化の再評価とともに重要視されるマンガやアニメーション、キャラクターの制作と理論について多角的な教育研究を行い新たな可能性を探究すること、およびマンガ文化の継承と発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

マンガ学科

マンガの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってマンガ表現の発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

国際文化学部	人文学科	160人	640人
	グローバルスタ	90人	360人
	ディーズ学科		

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第3条の2 前条の学部・学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

芸術学部

人間の多様性を理解した上で、幅広い視野から適切な表現方法を用いてコミュニケーションをとることができ、さらに芸術によって培われる専門性と創造力で人類社会の諸課題に取り組むことができる主体性をもった人間形成を目的とする。

造形学科

伝統的造形芸術の知識技法にとどまらず、多角的な観察と自立した思考力によって新たな表現を創造する能力と造形芸術を開拓できる資質を備えた人材の養成を行う。

デザイン学部

デザイン領域において高度な技法知識を修得し新たな可能性を探究すること、および自立した思考によってグローバル社会および地域社会に現実的に貢献するデザイナー・プランナーの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

イラスト学科

デザインやアートといった多様なフィールドで展開が可能となるイラスト領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

ビジュアルデザイン学科

情報技術の発展によってその目的および手法が飛躍的に拡大した視覚デザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

プロダクトデザイン学科

社会活動や生活に使用される道具、器具、装置などのデザインの領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。

建築学科

環境、建築、居住空間などのデザイン・設計の領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

マンガ学部

マンガ文化の再評価とともに重要視されるマンガやアニメーションの制作と理論について多角的な教育研究を行い新たな可能性を探究すること、およびマンガ文化の継承と発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

マンガ学科

マンガの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってマンガ表現の発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

的とする。

アニメーション学科

アニメーションの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってアニメーションの発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

メディア表現学部

メディアと情報に関する広範な知識と専門的な表現技能を活用した豊かな人間性を育む文化表現を通して、コンテンツの制作やメディアの活用、新しいビジネスモデルの構想などによって次世代の産業界の発展に貢献する資質を備えた、人間形成を行うことを目的とする。

メディア表現学科

技術革新が進む人類社会において、急激に変化し続けるメディアと産業システムの動向をふまえたうえで、豊かな文化の発展にも寄与し、時代の先端を切り開くコンテンツ、メディア、新たなビジネスモデルを創造できる人材の養成を目的とする。

国際文化学部

国際的な視野と体験を重視し、地球環境問題の深刻化、情報技術化、経済のグローバル化の時代に求められる人間の社会と文化についての学際的な教育研究を行うこと、および自立した思考力によって現実の社会と文化に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。

人文学科

日本の「歴史」、「文学」、「社会」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

グローバルスタディーズ学科

グローバルとローカル双方のアプローチから、世界と日本の関わりを文化や社会の視点から多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

【略】

第2章 学年・学期および休業日

(学年)

第6条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期および授業日数)

第7条 1学年の授業期間は定期試験の日数を含めて35週にわたることを原則とし、1学年を分けて次の2学期4クォーターとする。

- ① 前期(4月1日から9月30日まで)、第1クォーター(4月1日から学長が年度ごとに定める日まで)、第2クォーター(学長が年度ごとに定める日から9月30日まで)
- ② 後期(10月1日から3月31日まで)、第3クォーター(10月1日から学長が年度ごとに定める

的とする。

アニメーション学科

アニメーションの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってアニメーションの発展に貢献できる資質を備えた人材の養成を目的とする。

メディア表現学部

メディアと情報に関する広範な知識と専門的な表現技能を活用した豊かな人間性を育む文化表現を通して、コンテンツの制作やメディアの活用、新しいビジネスモデルの構想などによって次世代の産業界の発展に貢献する資質を備えた、人間形成を行うことを目的とする。

メディア表現学科

技術革新が進む人類社会において、急激に変化し続けるメディアと産業システムの動向をふまえたうえで、豊かな文化の発展にも寄与し、時代の先端を切り開くコンテンツ、メディア、新たなビジネスモデルを創造できる人材の養成を目的とする。

国際文化学部

アフリカ・アジアの文化、京都を中心とした日本の歴史や文化、そして世界の相関を理解し、現在の社会が抱える多様な課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人間形成を行うことを目的とする。

人文学科

日本の「文学」、「歴史」、「社会」、「文化」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

グローバルスタディーズ学科

著しい発展と同時に多様な課題を抱え、世界が目指すアフリカ・アジア地域に学びの場を重点化し、世界の新しい関係性や構造をグローバルな視点で捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。

【略】

第2章 学年・学期および休業日

(学年)

第6条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期および授業日数)

第7条 1学年の授業日数は定期試験の日数を含めて35週、210日を下らないものとし、1学年を分けて次の学期とする。

- ① 第1クォーター
 - ② 第2クォーター
 - ③ 第3クォーター
 - ④ 第4クォーター
- 2 第1クォーター、第3クォーターの開始日はそれぞれ4月1日、10月1日とし、第2クォーター・

日まで)、第4クォーター(学長が年度ごとに定める日から3月31日まで)

2 前項に定める授業期間について、学長が必要と認めるときは、開始日および終了日を変更することができる。

【略】

(単位計算方法)

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、前条の授業の方法に応じ、その授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で別に定める授業の時間をもって1単位として単位数を計算するものとする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業論文、卒業制作、学外学修・個別課題学習等の授業科目および公の技能審査等による認定を受けた者については、これらに必要な学修等を考慮して、適切な単位数を定めることができる。

【略】

(資格の取得)

第18条 本学に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程をおく。

本学において教育職員免許状の取得を希望する者は、教育職員免許法および教育免許法施行規則に基づき、本学が別表Ⅱに定める教職および教科に関する専門科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

本学における教育職員免許状の教科および種類は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類(教科)
芸術学部	造形学科	中学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状(工芸)
デザイン学部	イラスト学科	中学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状

第4クォーターの開始日は、学長が年度ごとに定める。

3 第2クォーター、第4クォーターの終了日はそれぞれ9月30日、3月31日とし、第1クォーター・第3クォーターの終了日は、学長が年度ごとに定める。

4 学長が必要と認めるときは、クォーターの開始日・終了日を変更することができる。

【略】

(単位計算方法)

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の各号の基準によって計算する。

(1) 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で定められた時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習および実技等の授業については、30時間から45時間までの範囲で定められた時間の授業をもって1単位とする。ただし、個人指導による実技の授業については、相応の時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業制作、学外学修・個別課題学習等の授業科目および公の技能審査等による認定を受けた者については、これらの学修の成果を評価して適切な単位を授与することができる。

【略】

(資格の取得)

第18条 本学に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程をおく。

本学において教育職員免許状の取得を希望する者は、教育職員免許法および教育免許法施行規則に基づき、本学が別表Ⅱに定める教職および教科に関する専門科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

本学における教育職員免許状の教科および種類は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類(教科)
芸術学部	造形学科	中学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状(工芸)
デザイン学部	イラスト学科	中学校教諭一種免許状(美術)
		高等学校教諭一種免許状

		(美術)
	ビジュアル デザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
	プロダクト デザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術) 高等学校教諭一種免許状 (工芸)
マンガ学部	マンガ学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
	アニメーション 学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
メディア表現 学部	メディア表現 学科	高等学校教諭一種免許状 (情報)
国際文化学部	人文学科	中学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民)
	グローバルス タディーズ学 科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状 (英語)

2 図書館司書の資格を取得しようとする者は、図書館法および図書館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅲに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。図書館司書課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学則

		(美術)
	ビジュアル デザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
	プロダクト デザイン学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術) 高等学校教諭一種免許状 (工芸)
マンガ学部	マンガ学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
	アニメーション 学科	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
メディア表現 学部	メディア表現 学科	高等学校教諭一種免許状 (情報)
国際文化学部	人文学科	中学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民)
	グローバルス タディーズ学 科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状 (公民)

2 図書館司書の資格を取得しようとする者は、図書館法および図書館法施行規則に基づき、本学が別表Ⅲに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。図書館司書課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

52

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

3 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法および博物館法施行規則に基づき、本学が別表IVに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。博物館学芸員課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

4 国際文化学部グローバルスタディーズ学科に登録日本語教員課程をおく。所定する科目や履修等については別に定める。

- 5 削除
6 削除

【略】

(学位の授与)

第 22 条 本学の芸術学部、デザイン学部およびマンガ学部を卒業した者に、学士(芸術)の学位を授与する。

2 本学のメディア表現学部を卒業した者に、学士(メディア表現)の学位を授与する。

3 本学の国際文化学部を卒業した者に、学士(人文

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

3 博物館学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法および博物館法施行規則に基づき、本学が別表IVに定める図書館司書課程に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。博物館学芸員課程を設置する学部および学科は、以下の表に掲げるとおりとする。

学 部	学 科
芸術学部	造形学科
デザイン学部	イラスト学科
	ビジュアルデザイン学科
	プロダクトデザイン学科
マンガ学部	マンガ学科
	アニメーション学科
メディア表現学部	メディア表現学科
国際文化学部	人文学科
	グローバルスタディーズ学科

4 削除

- 5 削除
6 削除

【略】

(学位の授与)

第 22 条 本学の芸術学部、デザイン学部およびマンガ学部を卒業した者に、学士(芸術)の学位を授与する。

2 本学のメディア表現学部を卒業した者に、学士(メディア表現)の学位を授与する。

3 本学の国際文化学部を卒業した者に、学士(文

学)の学位を授与する。

第5章 入学・編入学・転入学・休学・復学・退学・
転学・除籍および再入学
(入学)

第23条 本学の入学は学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、国際文化学部について
は、後期からの入学を認めることができる。

【略】

(休学)

第29条 学生が疾病その他の事由によって1ヶ月
以上就学することができないときは、保証人と連署
のうえ、所定の様式により願い出て、休学するこ
とができる。

2 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理
由がある場合は1年を限度として、休学期間の延長
を認めることができる。

3 前項の定めに関わらず、学長が特別な理由があ
ると認めるときは、休学期間を延長することができ
る。

4 休学の期間は通算して4年を超えることができ
ない。

5 休学の期間は、第5条に定める修業年限および
在学年限に算入しない。

6 休学期間中の学費は、半期20,000円、通年40,
000円とし、納入等に関する規定は第34条による。

7 休学に関する規程は、本条に定めるもののほか、
別にこれを定める。

【略】

(懲戒)

第50条 学長は学則または規則に違反し、その他
学生の本分に背く行為のあった学生に対して、教授
会の審議を経て懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学および退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する
者に対して行う。

① 性行不良で改善の見込みがないと認められる
者

② 正当の理由なく、出席が常でない者

③ 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に背く者

4 学生の懲戒に関する規程は、本条に定めるもの
のほか、別にこれを定める。

附 則

第1項 この学則に定めるもののほか、学則の施行
に関し、さらに必要な事項は別にこれを定める。

【略】

第41項 この学則は、2023(令和5)年4月1日か
ら実施する。ただし、別表Ⅰに規定する教育課程の
うちデザイン学部とマンガ学部の教育課程は2021
(令和3)年4月入学者より、別表Ⅱに規定する教

化)の学位を授与する。

第5章 入学・編入学・転入学・休学・復学・退学・
転学・除籍および再入学
(入学)

第23条 本学の入学は学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、国際文化学部につい
ては、外国人留学生・帰国生徒の第3クォーターよ
りの入学を認めることができる。

【略】

(休学)

第29条 学生が疾病その他の事由によって1ヶ月
以上就学することができないときは、保証人と連署
のうえ、所定の様式により願い出て、休学するこ
とができる。

2 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理
由がある場合は1年を限度として、休学期間の延長
を認めることができる。

3 前項の定めに関わらず、学長が特別な理由があ
ると認めるときは、休学期間を延長することができ
る。

4 休学の期間は通算して4年を超えることができ
ない。

5 休学の期間は、第5条に定める修業年限および
在学年限に算入しない。

6 休学期間中の学費は、1クォーター10,000円、
通年40,000円とし、納入等に関する規定は第34条
による。

7 休学に関する規程は、本条に定めるもののほか、
別にこれを定める。

【略】

(懲戒)

第50条 学長は学則または規則に違反し、その他
学生の本分に背く行為のあった学生に対して、教授
会の審議を経て懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学および退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する
者に対して行う。

① 性行不良で改善の見込みがないと認められる
者

② 正当の理由なく、出席が常でない者

③ 大学の秩序を乱し、その他学生の本分に背く者

4 学生の懲戒に関する規程は、本条に定めるもの
のほか、別にこれを定める。

附 則

第1項 この学則に定めるもののほか、学則の施行
に関し、さらに必要な事項は別にこれを定める。

【略】

第41項 この学則は、2023(令和5)年4月1日か
ら実施する。ただし、別表Ⅰに規定する教育課程の
うちデザイン学部とマンガ学部の教育課程は2021
(令和3)年4月入学者より、別表Ⅱに規定する教

育課程は2022（令和4）年4月入学者より一斉に適用する。

第42項 この学則は、2025（令和7）年4月1日から実施する。ただし、第11条第1項および同条第2項の単位計算方法については、2024（令和6）年度以前入学者に対しても一斉に適用するものとする。

別表Ⅰ 教育課程

- ① 全学共通教育科目 2025.4.1
- ② 国際文化学部 2025.4.1
- ③ メディア表現学部 2025.4.1
- ④ 芸術学部 2025.4.1
- ⑤ デザイン学部 2025.4.1
- ⑥ マンガ学部 2025.4.1

別表Ⅱ 教職に関する専門科目 2025.4.1

別表Ⅲ 図書館司書課程に関する科目 2023.4.1

別表Ⅳ 博物館学芸員課程に関する科目 2025.4.1

別表Ⅴ

育課程は2022（令和4）年4月入学者より一斉に適用する。

別表Ⅰ 教育課程

- ① 全学共通教育科目 2023.4.1
- ② 国際文化学部 2023.4.1
- ③ メディア表現学部 2023.4.1
- ④ 芸術学部 2023.4.1
- ⑤ デザイン学部 2023.4.1
- ⑥ マンガ学部 2023.4.1

別表Ⅱ 教職に関する専門科目 2023.4.1

別表Ⅲ 図書館司書課程に関する科目 2023.4.1

別表Ⅳ 博物館学芸員課程に関する科目 2023.4.1

別表Ⅴ

別表I 教育課程

別表I 教育課程

① 全学共通教育科目

① 全学共通教育科目

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考			
				必修	選択	計						必修	選択	計				
全学部共通	全学科共通	共通教育科目					●共通教育科目から36単位以上必修	全学部共通	全学科共通	共通教育科目					●共通教育科目から50単位以上必修			
		【導入プログラム】								【導入プログラム】								
		大学入門	1・2・3・4	1	1					フレッシュヤーズ・キャンプ	1	1	1					
										クリエイティブ・ワークショップ	1	1	1					
		【表現科目】								【表現科目】								
		デッサン	1・2・3・4	1	1					デッサン1	1	1	1					
										デッサン2	1・2・3・4	1	1	1				
										デッサン3	1・2・3・4	1	1	1				
										デッサン4	1・2・3・4	1	1	1				
		写真技法	1・2・3・4	1	1					写真技法	1・2・3・4	1	1	1				
		グラフィックデザインソフトスキル	1・2・3・4	1	1					グラフィックデザインソフトスキル	1	1	1					
		オフィスソフトスキル入門	1・2・3・4	2	2													
		プログラミング1	1・2・3・4	1	1					コミュニケーションスキル1	1	1	1					
		プログラミング2	1・2・3・4	1	1					コミュニケーションスキル2	1	1	1					
										アカデミックスキル1	1	1	1					
										アカデミックスキル2	1	1	1					
										アカデミックスキル3	3	1	1					
										アカデミックスキル4	3	1	1					
		芸術学	1・2・3・4	2	2					芸術学	1・2・3・4	2	2	2				
		美学	1・2・3・4	2	2					美学概論	1・2・3・4	2	2	2				
		工芸概論	1・2・3・4	2	2					工芸概論	1・2・3・4	2	2	2				
										現代美術概論	1・2・3・4	2	2	2				
		美術史	1・2・3・4	2	2					美術史	1・2・3・4	2	2	2				
		日本美術史	1・2・3・4	2	2					日本美術史	1・2・3・4	2	2	2				
		東洋美術史	1・2・3・4	2	2					東洋美術史	1・2・3・4	2	2	2				
		西洋美術史	1・2・3・4	2	2					西洋美術史	1・2・3・4	2	2	2				
		身体表現論	1・2・3・4	2	2													
		身体文化演習	1・2・3・4	2	2					身体文化演習1	1・2・3・4	1	1	1				
										身体文化演習2	1・2・3・4	1	1	1				
		スポーツ実習1	1・2・3・4	1	1													
		スポーツ実習2	1・2・3・4	1	1													
										デザイン論	1・2・3・4	2	2	2				
										素材論	1・2・3・4	2	2	2				
										音楽概論	1・2・3・4	2	2	2				
										ポピュラー音楽論	1・2・3・4	2	2	2				
										身体表現論	1・2・3・4	2	2	2				
										表現と社会	1・2・3・4	2	2	2				
										表現と倫理	1・2・3・4	2	2	2				
										表現と知的財産権	1・2・3・4	2	2	2				
		【グローバル科目】								【グローバル科目】								
日本文化概論	1・2・3・4	1	1			日本文化概論	2	1	1									
英語1	1・2・3・4	2	2			英語1	1	1	1									
英語2	1・2・3・4	2	2			英語2	1	1	1									
						英語3	1	1	1									
						英語4	1	1	1									
日本語1	1・2・3・4	2	2			日本語1	1	1	1									
日本語2	1・2・3・4	2	2			日本語2	1	1	1									
						日本語3	1	1	1									
						日本語4	1	1	1									
上級日本語	2・3・4	2	2			上級日本語1	2・3・4	1	1	1								
						上級日本語2	2・3・4	1	1	1								
						上級日本語3	2・3・4	1	1	1								
						上級日本語4	2・3・4	1	1	1								
						Business English	2・3・4	1	1	1								
English Discussion	2・3・4	2	2			English discussion	2・3・4	1	1	1								
Effective Presentation	2・3・4	2	2			Effective presentation	2・3・4	1	1	1								
English Communication Advanced 1	2・3・4	2	2															
English Communication Advanced 2	2・3・4	2	2															
						English for studying abroad	2・3・4	1	1	1								

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	計						必修	選択	計		
		美術基礎講座3	1・2・3・4	1	1	ZCG史／グローバルデザイン論1」の履修は不可										
		美術基礎講座4	1・2・3・4	1	1											
		デザイン学部提供科目														
		デザイン概論1	1・2・3・4	1	1	●マンガ学部「マンガ史1」/マンガ概論1/メディア文化論/マンガリテラシー1/マンガリテラシー2」の履修は不可										
		デザイン概論2	1・2・3・4	1	1											
		CG史	2・3・4	1	1											
		グローバルデザイン論1	2・3・4	1	1											
		マンガ学部提供科目														
		マンガ史1	1・2・3・4	1	1											
		マンガ概論1	1・2・3・4	1	1											
		メディア文化論	2・3・4	2	2											
		マンガリテラシー1	2・3・4	2	2											
		マンガリテラシー2	2・3・4	2	2											
									【マイナー科目】							
									国際文化概論1	2・3・4	1	1			●【マイナー科目】から10単位以上必修	
									国際文化史1	2・3・4	1	1				
									国際文化リテラシー1	2・3・4	2	2			●国際文化学部「国際文化概論1/国際文化史1/国際文化リテラシー1/国際文化リテラシー2/国際文化特講1/国際文化特講2」の履修は不可	
									国際文化リテラシー2	2・3・4	2	2				
									国際文化特講1	2・3・4	2	2				
									国際文化特講2	2・3・4	2	2				
									メディア表現概論1	2・3・4	1	1			●メディア表現学部「メディア表現概論1/メディア表現リテラシー1/メディア表現リテラシー2/メディア表現特講1/メディア表現特講2」の履修は不可	
									メディア表現史1	2・3・4	1	1				
									メディア表現リテラシー1	2・3・4	2	2				
									メディア表現リテラシー2	2・3・4	2	2				
									メディア表現特講1	2・3・4	2	2				
									メディア表現特講2	2・3・4	2	2				
									美術概論1	2・3・4	1	1			●芸術学部「美術概論1/美術史1/美術リテラシー1/美術リテラシー2/美術特講1/美術特講2」の履修は不可	
									美術史1	2・3・4	1	1				
									美術リテラシー1	2・3・4	2	2				
									美術リテラシー2	2・3・4	2	2				
									美術特講1	2・3・4	2	2				
									美術特講2	2・3・4	2	2				
									デザイン概論1	2・3・4	1	1			●デザイン学部「デザイン概論1/デザイン史1/デザインリテラシー1/デザインリテラシー2/デザイン特講1/デザイン特講2」の履修は不可	
									デザイン史1	2・3・4	1	1				
									デザインリテラシー1	2・3・4	2	2				
									デザインリテラシー2	2・3・4	2	2				
									デザイン特講1	2・3・4	2	2				
									デザイン特講2	2・3・4	2	2				
									マンガ概論1	2・3・4	1	1			●デザイン学部「マンガ概論1/マンガ史1/マンガリテラシー1/マンガリテラシー2/マンガ特講1/マンガ特講2」の履修は不可	
									マンガ史1	2・3・4	1	1				
									マンガリテラシー1	2・3・4	2	2				
									マンガリテラシー2	2・3・4	2	2				
									マンガ特講1	2・3・4	2	2				
									マンガ特講2	2・3・4	2	2				
									和の伝統文化論	1・2・3・4	1	1				
									京都のまちづくり	2・3・4	1	1				
									京都の伝統工芸講座1	2・3・4	2	2				
									京都の伝統工芸講座2	2・3・4	2	2				
									京都の習俗	2・3・4	2	2				
									京都の伝統産業実習	2・3・4	2	2				
									ファイナンス論	1・2・3・4	1	1				
									マーケティング論	2・3・4	1	1				
									ビジネスモデル論	2・3・4	2	2				
									イノベーション論	2・3・4	2	2				
									ソーシャルビジネス演習1	3・4	2	2				
									ソーシャルビジネス演習2	3・4	2	2				
									アフリカ・アジア概論	1・2・3・4	1	1				
									アフリカ・アジア史	2・3・4	1	1				
									アフリカ・アジアリテラシー1	2・3・4	2	2				
									アフリカ・アジアリテラシー2	2・3・4	2	2				
									アフリカ・アジア特講1	2・3・4	2	2				
									アフリカ・アジア特講2	2・3・4	2	2				
									日本事情理解	1・2・3・4	1	1				
									言語と心理	2・3・4	1	1				
									言語と社会	2・3・4	2	2				

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
										日本語学	2・3・4		2	2	
										日本語教育演習1	3・4		2	2	
										日本語教育演習2	3・4		2	2	

別表I 教育課程
②国際文化学部

別表I 教育課程
②国際文化学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
		専門教育科目								専門演習科目					
		【学部基礎科目】					●人文学科 88単位以上必修			【基礎演習科目】					●人文学科 74単位以上必修
		人文学原論	1	2	2					基礎演習1	1	2	2		
		基礎実習1	1	1	1					基礎演習2	1	2	2		
		基礎実習2	1	1	1					基礎演習3	1	2	2		
		ことば実習	1	2	2					基礎演習4	1	2	2		
		地域学	1	2	2					【応用演習科目】					
		現場学	2	2	2					応用演習1	2	1	1		
		フィールドワーク方法論	2	2	2					応用演習2	2	1	1		
										応用演習3	2	1	1		
		【学部基幹科目】								応用演習4	2	1	1		
		専門演習1	2	2	2					応用演習5	3	1	1		
		専門演習2	2	2	2					応用演習6	3	1	1		
		専門演習3	3	2	2					応用演習7	3	1	1		
		専門演習4	3	2	2					応用演習8	3	1	1		
		卒業研究演習1	4	2	2					【卒業研究演習科目】					
		卒業研究演習2	4	2	2					卒業研究演習1	4	1	1		
		卒業論文	4	4	4					卒業研究演習2	4	1	1		
		フィールド・スタディーズ1	2	2	2					卒業研究演習3	4	1	1		
		フィールド・スタディーズ2	2	2	2					卒業論文	4	2	2		
		フィールド・スタディーズ3	2	2	2					卒業発表	4	1	1		
		フィールド・スタディーズ4	2	2	2										
		フィールド・スタディーズ5	2	2	2										
		フィールド・スタディーズ6	2	2	2										
		フィールド・プログラム報告	3	2	2										
		フィールド・スタディーズ7	3・4	2	2										
		フィールド・スタディーズ8	3・4	2	2										
		フィールド・スタディーズ9	3・4	2	2										
		フィールド・スタディーズ1.0	3・4	2	2										
		フィールド・スタディーズ1.1	3・4	2	2										
		フィールド・スタディーズ1.2	3・4	2	2										
		卒業研究調査	4	2	2										
		【人文学科基礎科目】													
		人文学概論	1	2	2										
		歴史学概論	2・3・4	2	2										
		文学概論	2・3・4	2	2										
		社会学概論	2・3・4	2	2										
		歴史学研究	3・4	2	2										
		文学研究	3・4	2	2										
		社会学研究	3・4	2	2										
		日本古代史特講	2・3・4	2	2										
		日本中世史特講	2・3・4	2	2										
		日本近世史特講	2・3・4	2	2										
		日本近代史特講	2・3・4	2	2										
		日本上代文学講読	2・3・4	2	2										
		日本中古文学講読	2・3・4	2	2										
		日本中世文学講読	2・3・4	2	2										
		日本近世文学講読	2・3・4	2	2										
		日本近代文学講読	2・3・4	2	2										
		現代社会特講1	2・3・4	2	2										
		現代社会特講2	2・3・4	2	2										
		現代社会特講3	2・3・4	2	2										
		現代社会特講4	2・3・4	2	2										
		現代社会特講5	2・3・4	2	2										
										専門講義・演習・実習科目					
										【国際文化基礎科目】					
										国際文化概論1	1	1	1		
										国際文化概論2	1	1	1		
										国際文化史1	1	1	1		
										国際文化史2	1	1	1		
										国際文化リテラシー1	1・2・3・4	2	2		
										国際文化リテラシー2	1・2・3・4	2	2		
										国際文化特講1	2・3・4	2	2		
										国際文化特講2	2・3・4	2	2		
										【専攻基盤科目】					
										文学概論	2・3・4	2	2		
										日本文学研究1	2・3・4	2	2		
										日本文学研究2	2・3・4	2	2		
										歴史学概論	2・3・4	2	2		
										日本史研究1	2・3・4	2	2		
										日本史研究2	2・3・4	2	2		
										現代社会論	2・3・4	2	2		
										社会研究1	2・3・4	2	2		
										社会研究2	2・3・4	2	2		
										日本文化論	2・3・4	2	2		
										日本文化研究1	2・3・4	2	2		
										日本文化研究2	2・3・4	2	2		
										【学科講義・演習科目】					
										講義演習1	2	1	1		
										講義演習2	2	1	1		
										講義演習3	3	1	1		

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考			
				必修	選択	計						必修	選択	計				
国際文化学部	人文学科							国際文化学部	人文学科									
		【人文学科専門科目(歴史)】								講義演習4	3	1	1	1				
		京都の歴史	1・2・3・4	2	2					地域学1	2	1	1	1				
		古文書解読	2・3・4	2	2					地域学2	2	1	1	1				
		地誌学	2・3・4	2	2					現場学1	2	1	1	1				
		日本・アジア関係史	1・2・3・4	2	2					現場学2	2	1	1	1				
		日本藝術史	2・3・4	2	2					長期フィールドワーク1	3	2	2	2				
										長期フィールドワーク2	3	2	2	2				
										長期フィールドワーク3	3	2	2	2				
										哲学概論	1・2・3・4	2	2	2				
										倫理学	1・2・3・4	2	2	2				
										心理学	1・2・3・4	2	2	2				
										宗教学	1・2・3・4	2	2	2				
										書道	2・3・4	2	2	2				
										古文書解読	2・3・4	2	2	2				
										社会思想史	2・3・4	2	2	2				
										自然地理学	2・3・4	2	2	2				
										【歴史講義科目】								
										京都の歴史	2・3・4	2	2	2				
										日本・アジア関係史	2・3・4	2	2	2				
										日本民俗史	2・3・4	2	2	2				
										日本史	2・3・4	2	2	2				
										日本社会史	2・3・4	2	2	2				
										日本地域史	2・3・4	2	2	2				
										歴史地理学	2・3・4	2	2	2				
										西洋史	2・3・4	2	2	2				
										東洋史	2・3・4	2	2	2				
										【文学講義科目】								
										漢文学	2・3・4	2	2	2				
										くずし字読解	2・3・4	2	2	2				
										古典文法	2・3・4	2	2	2				
										詩歌論	2・3・4	2	2	2				
										書誌学	2・3・4	2	2	2				
						書道	2・3・4	2	2	2								
						説話・口承文学	1・2・3・4	2	2	2								
						日本語学特講	2・3・4	2	2	2								
						日本文学史	1・2・3・4	2	2	2								
						比較文学	2・3・4	2	2	2								
						批評理論	2・3・4	2	2	2								
						【人文学科専門科目(社会)】												
						社会藝術論	2・3・4	2	2	2								
						国際関係論	2・3・4	2	2	2								
						ジェンダー論	1・2・3・4	2	2	2								
						社会学特講	2・3・4	2	2	2								
						社会支援論	2・3・4	2	2	2								
						社会思想	2・3・4	2	2	2								
						社会調査法	2・3・4	2	2	2								
						大衆文化論	2・3・4	2	2	2								
						多文化共生論	2・3・4	2	2	2								
						地域社会論	1・2・3・4	2	2	2								
						【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際文化)】												
						文化人類学特講	2・3・4	2	2	2								
						国際協力論	2・3・4	2	2	2								
						グローバル共生社会論	1・2・3・4	2	2	2								
						グローバル化とメディア	1・2・3・4	2	2	2								
						英語学概論1	2・3・4	2	2	2								
						英語学概論2	2・3・4	2	2	2								
						英語文学1	2・3・4	2	2	2								
						英語文学2	2・3・4	2	2	2								
						English Communication Intermediate	2・3・4	2	2	2								
						World Englishes	2・3・4	2	2	2								
						心理言語学	2・3・4	2	2	2								
						社会言語学	2・3・4	2	2	2								
						【グローバルスタディーズ学科専門科目(国際日本学)】												
						言語と社会	1・2・3・4	2	2	2								
						伝統文化論	2・3・4	2	2	2								
						現代文化論	1・2・3・4	2	2	2								
						比較藝術論	2・3・4	2	2	2								
						伝統藝術論	2・3・4	2	2	2								
						サブカルチャー論	2・3・4	2	2	2								
						日本の美学	2・3・4	2	2	2								
						言語習得論	2・3・4	2	2	2								
						日本語教育学特講1	2・3・4	2	2	2								
						日本語教育学特講2	3・4	2	2	2								
						日本語教授法1	3・4	2	2	2								
						日本語教授法2	3・4	2	2	2								
						【日本文化講義科目】												
						経済学	2・3・4	2	2	2								
						NGO論	2・3・4	2	2	2								
						人間の安全保障	2・3・4	2	2	2								
						市民社会論	2・3・4	2	2	2								
						平和学	2・3・4	2	2	2								
						先住民研究	2・3・4	2	2	2								

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
										アジア地域研究1	2・3・4	2	2		
										アジア地域研究2	2・3・4	2	2		
										アメリカ地域研究1	2・3・4	2	2		
										アメリカ地域研究2	2・3・4	2	2		
										大洋州地域研究	2・3・4	2	2		
										欧州地域研究	2・3・4	2	2		
										【グローバル関係科目】					
										グローバル関係概論	2・3・4	2	2		
										グローバルヒストリー概論	2・3・4	2	2		
										グローバルヒストリー特講	2・3・4	2	2		
										多国籍企業論	2・3・4	2	2		
										社会運動論	2・3・4	2	2		
										世界の宗教	2・3・4	2	2		
										アフリカ・アジア関係論	2・3・4	2	2		
										国際政治学	2・3・4	2	2		
										国際社会の法秩序	2・3・4	2	2		
										人口動態論	3・4	2	2		
										人口政策論	3・4	2	2		
										比較社会学	2・3・4	2	2		
										【グローバル共生社会科目】					
										先住民研究	2・3・4	2	2		
										ポストコロニアル概論	2・3・4	2	2		
										国際開発論	2・3・4	2	2		
										マイノリティ研究概論	2・3・4	2	2		
										グローバル・ビジネス論	2・3・4	2	2		
										グローバル化とメディア	2・3・4	2	2		
										エイジング研究概論	3・4	2	2		
										子ども学概論	3・4	2	2		
										地球環境学概論1	2・3・4	2	2		
										地球環境学概論2	3・4	2	2		
										地球環境学概論3	3・4	2	2		
										NGO論	2・3・4	2	2		
										平和学	2・3・4	2	2		
										市民社会論	2・3・4	2	2		
										人間の安全保障	2・3・4	2	2		
										【グローバル文化科目】					
										観光学総論	2・3・4	2	2		
										世界の文学1	2・3・4	2	2		
										世界の文学2	2・3・4	2	2		
										世界文化遺産	2・3・4	2	2		
										アフリカ美術	2・3・4	2	2		
										マテリアル・カルチャー概論	2・3・4	2	2		
										民族音楽論	2・3・4	2	2		
										比較服飾文化論	2・3・4	2	2		
										比較建築文化論	2・3・4	2	2		
										【学科基礎講義科目】					
										哲学概論	1・2・3・4	2	2		
										倫理学	1・2・3・4	2	2		
										心理学	1・2・3・4	2	2		
										社会学	2・3・4	2	2		
										社会調査法	2・3・4	2	2		
										経済学	2・3・4	2	2		
										批評理論	2・3・4	2	2		
										ジェンダー論	2・3・4	2	2		
										宗教学	2・3・4	2	2		
										社会思想史	2・3・4	2	2		
										自然地理学	2・3・4	2	2		
										文化政策論	2・3・4	2	2		
										文化社会学	2・3・4	2	2		
										西洋史	2・3・4	2	2		
										東洋史	2・3・4	2	2		
										【日本文化科目】					
										日本史	2・3・4	2	2		
										日本地域史	2・3・4	2	2		
										日本社会史	2・3・4	2	2		
										日本・アジア関係史	2・3・4	2	2		
										日本の文化遺産	2・3・4	2	2		
										歴史地理学	2・3・4	2	2		
										京都の歴史	2・3・4	2	2		
										日本民衆史	2・3・4	2	2		
										日本文学史	2・3・4	2	2		
										漢文学	2・3・4	2	2		
										口承文化論	2・3・4	2	2		
										書誌学	2・3・4	2	2		
										古典文法	2・3・4	2	2		
										書道	2・3・4	2	2		
										古文書解読	2・3・4	2	2		

別表I 教育課程

別表I 教育課程

③メディア表現学部

③メディア表現学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
		専門実習科目					●メディア表現学 科 88単位以上必修			専門実習科目				●メディア表現学 科 74単位以上必修	
		【実習科目】								【基礎実習科目】					
		基礎実習1	1	2	2					基礎実習1	1	2	2		
		基礎実習2	1	2	2					基礎実習2	1	2	2		
		2年次実習1	2	4	4										
		2年次実習2	2	4	4										
		3年次実習1	3	4	4										
		3年次実習2	3	4	4										
										基礎実習3	1	2	2		
										基礎実習4	1	2	2		
										基礎実習5	2	2	2		
										基礎実習6	2	2	2		
										【応用実習科目】					
		社会実践実習1	3	2	2					応用実習1	2	2	2		
										応用実習2	2	2	2		
		社会実践実習2	3	2	2					応用実習3	3	2	2		
										応用実習4	3	2	2		
										社会実践実習1	3	1	1		
										社会実践実習2	3	1	1		
										社会実践実習3	3	1	1		
										社会実践実習4	3	1	1		
										応用実習5	3	2	2		
										応用実習6	3	2	2		
										【卒業実習科目】					
		卒業研究実習1	4	4	4					卒業研究実習1	4	2	2		
		卒業研究実習2	4	4	4					卒業研究実習2	4	2	2		
		【卒業研究】								卒業研究実習3	4	2	2		
		卒業研究	4	4	4					卒業論文・卒業制作	4	2	2		
										卒業展示	4	2	2		
		【基盤科目】								専門講義・演習・実習科目					
		メディア表現概論	1	2	2					【メディア表現基盤科目】					
										メディア表現概論1	1	1	1		
		メディア表現史	1	2	2					メディア表現概論2	1	1	1		
		プログラミング基礎	1	2	2										
		エクスターンシップ	2	2	2										
		メディアと知的財産権	2	1	1										
		メディア論	1・2・3・4		2	2									
		メディア数学	1・2・3・4		2	2									
		ライティング演習	3・4		1	1									
		プレゼンテーション演習	3・4		1	1									
		展示演習	3・4		1	1									
		キャリア演習	3・4		1	1									
		【専攻導入科目】													
		メディアイノベーション研究概論	1・2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション初級演習	1・2・3・4		1	1									
		メディアデザイン研究概論	1・2・3・4		1	1									
		メディアデザイン初級演習	1・2・3・4		1	1									
		メディアコミュニケーション研究概論	1・2・3・4		1	1									
		メディアコミュニケーション初級演習	1・2・3・4		1	1									
		音楽メディア研究概論	1・2・3・4		1	1									
		音楽メディア初級演習	1・2・3・4		1	1									
		【学部選択科目】													
		メディア分析1	1・2・3・4		1	1									
		メディア分析2	1・2・3・4		1	1									
		メディア技術論1	1・2・3・4		1	1									
		メディア技術論2	1・2・3・4		1	1									
		メディアサービスストラテジー1	2・3・4		1	1									
		メディアサービスストラテジー2	2・3・4		1	1									
		メディアビジネス論1	2・3・4		1	1									
		メディアビジネス論2	2・3・4		1	1									
		ビジネスプロデュース論	2・3・4		1	1									
		グローバルコンテンツ研究	2・3・4		1	1									
		ビジネスモデル論	2・3・4		1	1									
		グローバルUI/UXデザイン論	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション演習1	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション演習2	3・4		1	1									
		メディアイノベーション演習3	3・4		1	1									
		メディアイノベーション演習4	3・4		1	1									
		メディアイノベーション演習5	3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法1	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法2	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法3	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法4	2・3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法5	3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法6	3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法7	3・4		1	1									
		メディアイノベーション技法8	3・4		1	1									
		メディアとデザインの歴史	1・2・3・4		1	1									
		メディアと美術の歴史	1・2・3・4		1	1									
		画像工学1	1・2・3・4		1	1									
		画像工学2	1・2・3・4		1	1									
		ゲームデザイン論	1・2・3・4		1	1									

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
メディア表現学部	メディア表現学科	メディアアート論	2・3・4	1	1			メディア表現学部	メディア表現学科						
		メディアと社会	2・3・4	1	1										
		メディアと美学	2・3・4	1	1										
		視覚表現技術論1	2・3・4	1	1										
		視覚表現技術論2	2・3・4	1	1										
		データビジュアルライゼーション論	2・3・4	1	1										
		テクノロジーと表現論	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習1	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習2	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習3	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習4	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習5	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習6	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン演習7	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン技法1	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン技法2	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン技法3	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン技法4	2・3・4	1	1										
		メディアデザイン技法5	3・4	1	1										
		メディアデザイン技法6	3・4	1	1										
		メディアデザイン技法7	3・4	1	1										
		メディアデザイン技法8	3・4	1	1										
		メディア産業論1	1・2・3・4	1	1										
		メディア産業論2	1・2・3・4	1	1										
		メディア産業論3	1・2・3・4	1	1										
		コンテンツ産業論1	1・2・3・4	1	1										
		コンテンツ産業論2	1・2・3・4	1	1										
		コンテンツ分析1	1・2・3・4	1	1										
		コンテンツ分析2	1・2・3・4	1	1										
		広告メディア論	2・3・4	1	1										
		ソーシャルメディア論	2・3・4	1	1										
		メディアミックス論	2・3・4	1	1										
		社会課題論	2・3・4	1	1										
		マーケティング論	2・3・4	1	1										
		ブランディング論	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション演習1	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション演習2	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション演習3	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション演習4	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション技法1	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション技法2	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション技法3	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション技法4	2・3・4	1	1										
		メディアコミュニケーション技法5	3・4	1	1										
メディアコミュニケーション技法6	3・4	1	1												
メディアコミュニケーション技法7	3・4	1	1												
メディアコミュニケーション技法8	3・4	1	1												
									メディア表現史1	1	1	1			
									メディア表現史2	1	1	1			
									メディア表現リテラシー1	1・2・3・4	2	2			
									メディア表現リテラシー2	1・2・3・4	2	2			
									メディア表現特講1	2・3・4	2	2			
									メディア表現特講2	2・3・4	2	2			
									基礎演習1	2・3・4	1	1			
									基礎演習2	2・3・4	1	1			
									基礎演習3	2・3・4	1	1			
									基礎演習4	2・3・4	1	1			
									基礎演習5	2・3・4	1	1			
									基礎演習6	2・3・4	1	1			
									基礎演習7	2・3・4	1	1			
									基礎演習8	2・3・4	1	1			
									基礎演習9	2・3・4	1	1			
									基礎演習10	2・3・4	1	1			
									基礎演習11	2・3・4	1	1			
									基礎演習12	2・3・4	1	1			
									基礎演習13	2・3・4	1	1			
									基礎演習14	2・3・4	1	1			
									基礎演習15	2・3・4	1	1			
									基礎演習16	2・3・4	1	1			
									基礎演習17	2・3・4	1	1			
									基礎演習18	2・3・4	1	1			
									基礎演習19	2・3・4	1	1			
									基礎演習20	2・3・4	1	1			
									基礎演習21	2・3・4	1	1			
									基礎演習22	2・3・4	1	1			
									応用演習1	2・3・4	1	1			
									応用演習2	3・4	1	1			
									応用演習3	3・4	1	1			
									応用演習4	3・4	1	1			
									応用演習5	3・4	1	1			
									応用演習6	2・3・4	1	1			
									応用演習7	3・4	1	1			
									応用演習8	3・4	1	1			
									応用演習9	3・4	1	1			
									応用演習10	3・4	1	1			
									応用演習11	2・3・4	1	1			
									応用演習12	2・3・4	1	1			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
										応用演習1.3	3・4	1	1		
										応用演習1.4	3・4	1	1		
										応用演習1.5	3・4	1	1		
										応用演習1.6	3・4	1	1		
										応用演習1.7	3・4	1	1		
										応用演習1.8	3・4	1	1		
										応用演習1.9	3・4	1	1		
										応用演習2.0	3・4	1	1		
										応用演習2.1	3・4	1	1		
										応用演習2.2	3・4	1	1		
										特別演習1	3・4	1	1		
										特別演習2	3・4	1	1		
										特別演習3	3・4	1	1		
										特別演習4	3・4	1	1		
										特別演習5	3・4	1	1		
										特別演習6	3・4	1	1		
										特別演習7	3・4	1	1		
										特別演習8	3・4	1	1		
										特別演習9	3・4	1	1		
										特別演習1.0	3・4	1	1		
										特別演習1.1	3・4	1	1		
										特別演習1.2	3・4	1	1		
										特別演習1.3	3・4	1	1		
										特別演習1.4	3・4	1	1		
									【音楽表現講義科目】						
									音楽研究概論	1・2・3・4	1	1			
		音楽理論1	1・2・3・4	1	1				音楽理論1	2・3・4	1	1			
		音楽理論2	1・2・3・4	1	1				音楽理論2	2・3・4	1	1			
		音響技術論1	1・2・3・4	1	1				音響技術論1	2・3・4	1	1			
		音響技術論2	1・2・3・4	1	1				音響技術論2	2・3・4	1	1			
		サウンドスケープ論	1・2・3・4	1	1										
		ポピュラー音楽論	1・2・3・4	1	1										
		比較音楽論	2・3・4	1	1										
		音響工学1	2・3・4	1	1				音響工学1	2・3・4	1	1			
		音響工学2	2・3・4	1	1				音響工学2	2・3・4	1	1			
		音楽分析1	2・3・4	1	1				音楽分析1	2・3・4	1	1			
		音楽分析2	2・3・4	1	1				音楽分析2	2・3・4	1	1			
		作曲法1	2・3・4	1	1										
		作曲法2	2・3・4	1	1										
		音響合成論	2・3・4	1	1										
		生成音楽論	2・3・4	1	1										
		音楽メディア演習1	2・3・4	1	1										
		音楽メディア演習2	2・3・4	1	1										
		音楽メディア技法1	2・3・4	1	1										
		音楽メディア技法2	2・3・4	1	1										
		音楽メディア技法3	2・3・4	1	1										
		音楽メディア技法4	2・3・4	1	1										
		音楽メディア技法5	3・4	1	1										
		音楽メディア技法6	3・4	1	1										
		音楽メディア技法7	3・4	1	1										
		音楽メディア技法8	3・4	1	1										
		メディア表現特講1	1・2・3・4	1	1										
		メディア表現特講2	1・2・3・4	1	1										
		A.I.リテラシー	1・2・3・4	1	1										
		文化批評1	1・2・3・4	1	1										
		文化批評2	1・2・3・4	1	1										
		サブカルチャーとメディア	1・2・3・4	1	1										
		教育メディア論	1・2・3・4	1	1										
		グローバルメディア表現演習	1・2・3・4	1	1										
		プログラミング発展1	2・3・4	1	1										
		プログラミング発展2	2・3・4	1	1										
		プログラミング発展3	2・3・4	1	1										
		プログラミング発展4	2・3・4	1	1										
									【イメージ表現講義科目】						
									映像研究概論	1・2・3・4	1	1			
									映像理論1	2・3・4	1	1			
									映像理論2	2・3・4	1	1			
									画像工学1	2・3・4	1	1			
									画像工学2	2・3・4	1	1			
									映像分析1	2・3・4	1	1			
									映像分析2	2・3・4	1	1			
									映像技術論1	2・3・4	1	1			
									映像技術論2	2・3・4	1	1			
									【メディア情報講義科目】						
									メディア研究概論	1・2・3・4	1	1			
									メディアデザイン理論1	2・3・4	1	1			
									メディアデザイン理論2	2・3・4	1	1			
									メディア工学1	2・3・4	1	1			
									メディア工学2	2・3・4	1	1			
									メディア分析1	2・3・4	1	1			
									メディア分析2	2・3・4	1	1			
									メディア技術論1	2・3・4	1	1			
									メディア技術論2	2・3・4	1	1			
									【学科共通講義科目】						
									コンテンツビジネス1	2・3・4	1	1			
									コンテンツビジネス2	2・3・4	1	1			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
									コンテンツビジネス3	2・3・4		1	1		
									サウンドスケープ論	1・2・3・4		2	2		
									メディアアート論	1・2・3・4		2	2		
									ゲームデザイン論	1・2・3・4		2	2		
									ウェブデザイン論	1・2・3・4		2	2		
									コンピュータ&ネットワーク論	1・2・3・4		2	2		
									サブカルチャーとメディア	1・2・3・4		2	2		
									文化産業論	1・2・3・4		2	2		
									文化政策論	1・2・3・4		2	2		
									広告メディア論	1・2・3・4		2	2		
									教育メディア論	1・2・3・4		2	2		
									メディアミックス論	2・3・4		2	2		
									ソーシャルメディア論	2・3・4		2	2		

別表I 教育課程

別表I 教育課程

④芸術学部

④芸術学部

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考			
				必修	選択	計						必修	選択	計				
芸術学部	造形学科						●造形学科 88単位以上必修	芸術学部	造形学科	【芸術学部基盤科目】					●造形学科 74単位以上必修			
												美術概論1	1	1	1	1		
												美術概論2	1	1	1	1		
												美術史1	1	1	1	1		
												美術史2	1	1	1	1		
												美術リテラシー1	1・2・3・4			2	2	
												美術リテラシー2	1・2・3・4			2	2	
												美術特講1	2・3・4			2	2	
												美術特講2	2・3・4			2	2	
												【基礎実習科目】						
													芸術基礎実習1	1	2		2	
													芸術基礎実習2	1	2		2	
													芸術基礎実習3	1	2		2	
													芸術基礎実習4	1	2		2	
													芸術基礎実習5	2	2		2	
													芸術基礎実習6	2	2		2	
													【応用実習科目】					
													芸術応用実習1	2	2		2	
													芸術応用実習2	2	2		2	
													芸術応用実習3	3	2		2	
													芸術応用実習4	3	2		2	
													芸術社会実践実習1	3	1		1	
													芸術社会実践実習2	3	1		1	
													芸術社会実践実習3	3	1		1	
													芸術社会実践実習4	3	1		1	
													芸術応用実習5	3	2		2	
													芸術応用実習6	3	2		2	
													【卒業実習科目】					
													卒業研究実習1	4	2		2	
													卒業研究実習2	4	2		2	
													卒業研究実習3	4	2		2	
													卒業論文・卒業制作	4	2		2	
													卒業展示	4	2		2	
													【芸術学部共通科目】					
													工芸1	2・3・4	1		1	
													工芸2	2・3・4	1		1	
													美術解剖学1	2・3・4	1		1	
													美術解剖学2	2・3・4	1		1	
													表現研究1	1・2・3・4	2		2	
													表現研究2	2・3・4	2		2	
													表現研究3	2・3・4	2		2	
													図法製図	2・3・4	2		2	
													美術概論1	1・2・3・4	1		1	
									美術概論2	1・2・3・4	1		1					
									美術史概論1	1・2・3・4	1		1					
									美術史概論2	1・2・3・4	1		1					
									美術史特論1	1・2・3・4	1		1					
									美術史特論2	1・2・3・4	1		1					
									美術史特論3	1・2・3・4	1		1					
									美術史特論4	1・2・3・4	1		1					
									美術史特論5	1・2・3・4	1		1					
									美術工芸史1	1・2・3・4	1		1					
									美術工芸史2	1・2・3・4	1		1					
									美術工芸史3	1・2・3・4	1		1					
									現代社会システム論	2・3・4	1		1					
									美術リテラシー1	2・3・4	1		1					
									美術リテラシー2	2・3・4	1		1					
									視覚認知論	1・2・3・4	1		1					
									美術特講1	1・2・3・4	1		1					
									美術特講2	3・4	1		1					
									アートマネジメント論	2・3・4	1		1					
									アートマネジメント論1	3・4	1		1					
									アートマネジメント論2	3・4	1		1					
									芸術表象論1	2・3・4	1		1					

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
									芸術表象論2	2・3・4		1	1		
									芸術と哲学1	2・3・4		1	1		
									芸術と哲学2	2・3・4		1	1		
									視覚認知論1	2・3・4		1	1		
									視覚認知論2	2・3・4		1	1		
									芸術と精神分析1	2・3・4		1	1		
									芸術と精神分析2	2・3・4		1	1		
									現代芸術論1	3・4		1	1		
									現代芸術論2	3・4		1	1		
									美術評論1	3・4		1	1		
									美術評論2	3・4		1	1		
									作品と空間	3・4		1	1		
									表現研究特選	4		1	1		
									基礎演習1	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習2	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習3	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習4	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習5	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習6	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習7	1・2・3・4		1	1		
									基礎演習8	1・2・3・4		1	1		
									造形演習1	2・3・4		1	1		
									造形演習2	2・3・4		1	1		
									造形演習3	2・3・4		1	1		
									造形演習4	2・3・4		1	1		
									造形演習5	2・3・4		1	1		
									造形演習6	2・3・4		1	1		
									造形演習7	2・3・4		1	1		
									造形演習8	2・3・4		1	1		
									表現研究1	2・3・4		1	1		
									表現研究2	2・3・4		1	1		
									表現研究3	2・3・4		1	1		
									表現研究4	2・3・4		1	1		
									現代アートプロジェクト演習1	2・3・4		1	1		
									現代アートプロジェクト演習2	2・3・4		1	1		
									ドローイング1	2・3・4		1	1		
									ドローイング2	2・3・4		1	1		
									工芸3	2・3・4		1	1		
									工芸4	2・3・4		1	1		
									図法製図1	2・3・4		1	1		
									図法製図2	2・3・4		1	1		
									造形研究1	2・3・4		1	1		
									造形研究2	2・3・4		1	1		
									造形研究3	2・3・4		1	1		
									造形研究4	2・3・4		1	1		
									映像メディア表現1	2・3・4		1	1		
									映像メディア表現2	2・3・4		1	1		
									映像メディア表現3	2・3・4		1	1		
									映像メディア表現4	2・3・4		1	1		
									写真表現1	2・3・4		1	1		
									写真表現2	2・3・4		1	1		
									表現演習1	3・4		1	1		
									表現演習2	3・4		1	1		
									表現演習3	3・4		1	1		
									表現演習4	3・4		1	1		
									表現演習5	3・4		1	1		
									表現演習6	3・4		1	1		
									表現演習7	3・4		1	1		
									表現演習8	3・4		1	1		

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考		
				必修	選択	計						必修	選択	計			
デザイン学部	プロダクトデザイン学科	プロダクトデザイン基礎選習8	2・3・4	1	1		デザイン学部	プロダクトデザイン学科	プロダクトデザイン基礎演習8	1・2・3・4	1	1					
		プロダクトデザイン基礎選習9	2・3・4	1	1				プロダクトデザイン基礎演習9	1・2・3・4	1	1					
		プロダクトデザイン基礎選習10	2・3・4	1	1				プロダクトデザイン基礎演習10	1・2・3・4	1	1					
		プロダクトデザイン基礎選習11	2・3・4	1	1												
		プロダクトデザイン基礎選習12	2・3・4	1	1												
		プロダクトデザイン応用選習1	3・4	1	1				プロダクトデザイン応用演習1	2・3・4	1	1					
		プロダクトデザイン応用選習2	3・4	1	1				プロダクトデザイン応用演習2	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習3	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習4	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習5	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習6	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習7	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習8	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習9	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習10	3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習11	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習12	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習13	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習14	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習15	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習16	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習17	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習18	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習19	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習20	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習21	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習22	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習23	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習24	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習25	4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習26	4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習27	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習28	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習29	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習30	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習31	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習32	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習33	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習34	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習35	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習36	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習37	2・3・4	1	1					
									プロダクトデザイン応用演習38	2・3・4	1	1					
				社会実践演習1	1・2・3・4	2			2								
				社会実践演習2	2・3・4	2			2								
				社会実践演習3	3・4	2			2								
				社会実践演習4	4	2			2								
				基礎立体・彫塑	2・3・4	2			2								
				【建築士資格科目】													
				建築計画1	1・2・3・4	1			1			建築計画	1・2・3・4	2	2		
				一般構造	1・2・3・4	2			2			一般構造	1・2・3・4	2	2		
				西洋建築史	1・2・3・4	2			2			西洋建築史	2・3・4	2	2		
				住環境論	2・3・4	2			2			住環境論	2・3・4	2	2		
		日本建築史	1・2・3・4	2	2			日本建築史	1・2・3・4	2	2						
		建築力学	2・3・4	2	2			建築力学	2・3・4	2	2						
		環境工学	3・4	2	2			環境工学	3・4	2	2						
		近現代建築史	1・2・3・4	2	2			近現代建築史	2・3・4	2	2						
		建築構造	2・3・4	2	2			建築構造	2・3・4	2	2						
		設備工学	3・4	2	2			設備工学	3・4	2	2						
		伝統建築工法	2・3・4	2	2			伝統建築工法	2・3・4	2	2						
		建築構法実習	2・3・4	2	2			建築構法演習	1・2・3・4	1	1						
		建築法規	3・4	2	2			建築法規演習1	3・4	1	1						
								建築法規演習2	3・4	1	1						
		材料実験	3・4	2	2			材料実験1	3・4	1	1						
								材料実験2	3・4	1	1						
		建築施工	3・4	2	2			施工演習1	3・4	1	1						
								施工演習2	3・4	1	1						
		測量実習	2・3・4	2	2			測量演習	2・3・4	2	2						
		構算実習	3・4	2	2			構算演習	3・4	2	2						
		建築計画2	3・4	1	1												
		建築材料学	2・3・4	2	2												
		建築フィールドワーク	2・3・4	2	2												
		【建築学科専門科目】						【基礎実習科目】									
		建築環境基礎実習1	1	1.5	1.5	●建築学科 建築専攻は、デザ イン学部基礎科 目、デザイン学部 共通科目、建築学 科専門科目、建築 学科専門選択科目 から88単位以上必 修			建築基礎実習1	1	2	2	●建築学科 デザイン学部基礎 科目、デザイン学 部共通科目、基礎 実習科目、応用実 習科目、卒業実習 科目、建築学科共 通科目から74単位 以上必修				
		建築環境基礎実習2	1	1.5	1.5			建築基礎実習2	1	2	2						
		建築環境基礎実習3	1	1.5	1.5			建築基礎実習3	1	2	2						
		建築環境基礎実習4	1	1.5	1.5			建築基礎実習4	1	2	2						
		製図模型実習1	1	1.5	1.5												
		製図模型実習2	1	1.5	1.5												
		製図模型実習3	1	1.5	1.5												
		プレゼンテーション実習	1	1.5	1.5												
		建築環境デザイン概論	1	1	1												
		建築環境デザイン実習1	1	1	1												
		建築環境デザイン実習2	1	1	1												
		建築環境デザイン実習3	1	1	1												
		建築構法実習	2	2	2												
		コンピューター基礎実習1	2	3	3												

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
		コンピューター基礎実習 2	2	3	3				建築基礎実習 5	2	2	2			
		建築応用実習 1	2・3・4	3	3				建築基礎実習 6	2	2	2			
		建築応用実習 2	2・3・4	3	3				【応用実習科目】						
		人間環境デザイン応用実習 1	2・3・4	3	3				建築応用実習 1	2	2	2			
		人間環境デザイン応用実習 2	2・3・4	3	3				建築応用実習 2	2	2	2			
		仮想空間実習	2・3・4	2	2				建築社会実践実習 1	3	1	1			
		自然環境実習	2・3・4	2	2				建築社会実践実習 2	3	1	1			
		環境づくり実践	2・3・4	2	2				建築応用実習 3	3	2	2			
		建築応用実習 3	3・4	6	6				建築応用実習 4	3	2	2			
		建築応用実習 4	3・4	6	6				建築社会実践実習 3	3	1	1			
		人間環境デザイン応用実習 3	3・4	6	6				建築社会実践実習 4	3	1	1			
		人間環境デザイン応用実習 4	3・4	6	6				建築応用実習 5	3	2	2			
		材料実験	3・4	2	2				建築応用実習 6	3	2	2			
		コンピューター応用実習	3・4	2	2				【卒業実習科目】*						
		素材応用実習	3・4	2	2				卒業研究実習 1	4	2	2			
		具文化環境演習	3・4	2	2				卒業研究実習 2	4	2	2			
		卒業研究実習 1	4	4	4				卒業研究実習 3	4	2	2			
		卒業研究実習 2	4	4	4				卒業論文・卒業制作	4	2	2			
		卒業制作・論文	4	4	4				卒業展示	4	2	2			
		【建築学科専門選択科目】							【建築学科共通科目】						
		近現代建築史	1・2・3・4	2	2				近現代建築史	2・3・4	2	2			
		建築計画 1	1・2・3・4	1	1				建築計画	1・2・3・4	2	2			
		一般構造	1・2・3・4	2	2				一般構造	1・2・3・4	2	2			
		建築社会実践実習 1	1・2・3・4	2	2				日本建築史	1・2・3・4	2	2			
		建築社会実践実習 2	1・2・3・4	2	2				伝統建築工法	2・3・4	2	2			
		自然環境フィールドワーク	2・3・4	1	1				西洋建築史	2・3・4	2	2			
		住環境論	2・3・4	2	2				仮想空間論	2・3・4	2	2			
		日本建築史	2・3・4	2	2				建築材料学	2・3・4	2	2			
		伝統建築工法	2・3・4	2	2				建築力学	2・3・4	2	2			
		西洋建築史	2・3・4	2	2				建築構造	2・3・4	2	2			
		仮想空間論	2・3・4	2	2				測量実習	2・3・4	2	2			
		建築材料学	2・3・4	2	2				建築フィールドワーク	2・3・4	2	2			
		建築力学	2・3・4	2	2				建築環境デザイン論	2・3・4	1	1			
		建築構造	2・3・4	2	2				地域学	2・3・4	2	2			
		測量実習	2・3・4	2	2				コミュニティと社会論	2・3・4	2	2			
		建築フィールドワーク	2・3・4	2	2				都市環境論	2・3・4	2	2			
		建築環境デザイン論	2・3・4	1	1				コミュニティフィールドワーク	2・3・4	2	2			
		地域学	2・3・4	2	2				現場学	2・3・4	2	2			
		コミュニティと社会論	2・3・4	2	2				環境工学	3・4	2	2			
		都市環境論	2・3・4	2	2				設備工学	3・4	2	2			
		コミュニティフィールドワーク	2・3・4	2	2				建築計画 2	3・4	1	1			
		現場学	2・3・4	2	2				建築施工	3・4	2	2			
		環境工学	3・4	2	2				建築法規	3・4	2	2			
		設備工学	3・4	2	2				積算実習	3・4	2	2			
		建築計画 2	3・4	1	1				建築社会実践実習 3	4	2	2			
		建築施工	3・4	2	2				建築社会実践実習 4	4	2	2			
		建築法規	3・4	2	2				【人間環境デザイン専攻専門講義科目】						
		積算実習	3・4	2	2				視覚認知論	2・3・4	1	1			
		建築社会実践実習 3	4	2	2				メディア産業論	2・3・4	1	1			
		建築社会実践実習 4	4	2	2				日本アニメーション史	2・3・4	1	1			
									世界アニメーション史	2・3・4	1	1			
									グローバルコンテンツ研究	2・3・4	1	1			
									ソーシャルメディア論	2・3・4	1	1			
									グローバル化とメディア	2・3・4	1	1			
									伝統文化論	2・3・4	1	1			
									批評理論	2・3・4	1	1			
									日本・アジア関係史	2・3・4	1	1			
									国際関係論	2・3・4	1	1			
									社会調査法	2・3・4	1	1			
									身体空間論	1・2・3・4	1	1			
									建築構法演習	1・2・3・4	1	1			
									コンピューター演習	1・2・3・4	1	1			
									仮想空間演習 1	2・3・4	1	1			
									仮想空間演習 2	2・3・4	1	1			
									建築材料演習 1	2・3・4	1	1			
									建築材料演習 2	2・3・4	1	1			
									材料実験 1	3・4	1	1			
									材料実験 2	3・4	1	1			
									人間環境デザインプログラム科目						
									【人間環境デザイン基盤科目】						

●建築学科人間環境デザインプログラム
デザイン学部共通科目・基礎実習科目・応用実習科目・卒業実習科目・建築学科共通科目・人間環境デザインプログラム科目から74単位以上必修
「国際文化概論1/国際文化概論2/国際文化史1/国際文化史2/デザイン概論1/デザイン概論2/デザイン史1/

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考		
				必修	選択	計						必修	選択	計			
		多文化共生論	2・3・4		1	1									デザイン史2/1より4単位以上必修		
		地域社会論	2・3・4		1	1											
デザイン学部	建築学科							デザイン学部	建築学科	国際文化概論1	1	1	1	1			
		国際文化概論2	1	1	1	1											
		国際文化史1	1	1	1	1											
		国際文化史2	1	1	1	1											
		国際文化リテラシー1	1・2・3・4	2	2	2											
		国際文化リテラシー2	1・2・3・4	2	2	2											
		国際文化特講1	2・3・4	2	2	2											
		国際文化特講2	2・3・4	2	2	2											
		デザイン概論1	1	1	1	1											
		デザイン概論2	1	1	1	1											
		デザイン史1	1	1	1	1											
		デザイン史2	1	1	1	1											
		デザインリテラシー1	1・2・3・4	2	2	2											
		デザインリテラシー2	1・2・3・4	2	2	2											
		デザイン特講1	2・3・4	2	2	2											
		デザイン特講2	2・3・4	2	2	2											
		自然環境演習	1・2・3・4	1	1	1											
		地域学1	2・3・4	1	1	1											
		地域学2	2・3・4	1	1	1											
		現場学1	2・3・4	1	1	1											
		現場学2	2・3・4	1	1	1											
		国内インターンシップ	1・2・3・4	1	1	1											
		長期インターンシップ1	3・4	2	2	2											
		長期インターンシップ2	3・4	2	2	2											
		長期インターンシップ3	3・4	2	2	2											
		長期インターンシップ4	3・4	2	2	2											
		長期インターンシップ5	3・4	2	2	2											
		長期インターンシップ6	3・4	2	2	2											
		【グローバル地域研究科目】															
		地域研究入門	2・3・4	2	2	2											
		地域研究特講	2・3・4	2	2	2											
		アフリカ地域研究1	2・3・4	2	2	2											
		アフリカ地域研究2	2・3・4	2	2	2											
		アジア地域研究1	2・3・4	2	2	2											
		アジア地域研究2	2・3・4	2	2	2											
		アメリカ地域研究1	2・3・4	2	2	2											
		アメリカ地域研究2	2・3・4	2	2	2											
		大洋州地域研究	2・3・4	2	2	2											
		欧州地域研究	2・3・4	2	2	2											
		【グローバル関係科目】															
		グローバル関係概論	2・3・4	2	2	2											
		グローバルヒストリー概論	2・3・4	2	2	2											
		グローバルヒストリー特講	2・3・4	2	2	2											
		多国籍企業論	2・3・4	2	2	2											
		社会運動論	2・3・4	2	2	2											
		世界の宗教	2・3・4	2	2	2											
		アフリカ・アジア関係論	2・3・4	2	2	2											
		国際政治学	2・3・4	2	2	2											
		国際社会の法秩序	2・3・4	2	2	2											
		人口動態論	3・4	2	2	2											
		人口政策論	3・4	2	2	2											
		比較社会学	2・3・4	2	2	2											
		【グローバル共生社会科目】															
		先住民研究	2・3・4	2	2	2											
		ポストコロニアル概論	2・3・4	2	2	2											
		国際開発論	2・3・4	2	2	2											
マイノリティ研究概論	2・3・4	2	2	2													
グローバル・ビジネス論	2・3・4	2	2	2													
グローバル化とメディア	2・3・4	2	2	2													
エイジング研究概論	3・4	2	2	2													
子ども学概論	3・4	2	2	2													
地球環境学概論1	2・3・4	2	2	2													
地球環境学概論2	3・4	2	2	2													
地球環境学概論3	3・4	2	2	2													
NGO論	2・3・4	2	2	2													
平和学	2・3・4	2	2	2													
市民社会論	2・3・4	2	2	2													
人間の安全保障	2・3・4	2	2	2													
【グローバル文化科目】																	
観光学概論	2・3・4	2	2	2													
世界の文学1	2・3・4	2	2	2													
世界の文学2	2・3・4	2	2	2													
世界文化遺産	2・3・4	2	2	2													
アフリカ美術	2・3・4	2	2	2													
マテリアル・カルチャー概論	2・3・4	2	2	2													
民族音楽論	2・3・4	2	2	2													
比較服飾文化論	2・3・4	2	2	2													
比較建築文化論	2・3・4	2	2	2													
【グローバル基礎講義科目】																	
哲学概論	1・2・3・4	2	2	2													
倫理学	1・2・3・4	2	2	2													
心理学	1・2・3・4	2	2	2													
社会学	2・3・4	2	2	2													
社会調査法	2・3・4	2	2	2													
経済学	2・3・4	2	2	2													

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
									批評理論	2・3・4		2	2		
									ジェンダー論	2・3・4		2	2		
									宗教学	2・3・4		2	2		
									社会思想史	2・3・4		2	2		
									自然地理学	2・3・4		2	2		
									文化政策論	2・3・4		2	2		
									文化社会学	2・3・4		2	2		
									西洋史	2・3・4		2	2		
									東洋史	2・3・4		2	2		
									【日本文化科目】						
									日本史	2・3・4		2	2		
									日本地域史	2・3・4		2	2		
									日本社会史	2・3・4		2	2		
									日本・アジア関係史	2・3・4		2	2		
									日本の文化遺産	2・3・4		2	2		
									歴史地理学	2・3・4		2	2		
									京都の歴史	2・3・4		2	2		
									日本民衆史	2・3・4		2	2		
									日本文学史	2・3・4		2	2		
									漢文学	2・3・4		2	2		
									口承文化論	2・3・4		2	2		
									書誌学	2・3・4		2	2		
									古典文法	2・3・4		2	2		
									書道	2・3・4		2	2		
									古文書解読	2・3・4		2	2		
									【メディア表現講義科目】						
									メディア表現概論2	2・3・4	1	1			
									メディア表現史2	2・3・4	1	1			
									コンテンツビジネス1	2・3・4	1	1			
									コンテンツビジネス2	2・3・4	1	1			
									コンテンツビジネス3	2・3・4	1	1			
									サウンドスケープ論	1・2・3・4	2	2			
									メディアアート論	1・2・3・4	2	2			
									ゲームデザイン論	1・2・3・4	2	2			
									ウェブデザイン論	1・2・3・4	2	2			
									コンピュータ&ネットワーク論	1・2・3・4	2	2			
									サブカルチャーとメディア	1・2・3・4	2	2			
									文化産業論	1・2・3・4	2	2			
									メディア文化政策論	1・2・3・4	2	2			
									広告メディア論	1・2・3・4	2	2			
									教育メディア論	1・2・3・4	2	2			
									メディアミックス論	2・3・4	2	2			
									ソーシャルメディア論	2・3・4	2	2			
									【芸術講義科目】						
									美術概論2	2・3・4	1	1			
									美術史2	2・3・4	1	1			
									美術史特論1	2・3・4	1	1			
									美術史特論2	2・3・4	1	1			
									美術史特論3	2・3・4	1	1			
									美術史特論4	2・3・4	1	1			
									美術工芸史1	2・3・4	1	1			
									美術工芸史2	2・3・4	1	1			
									美術工芸史3	2・3・4	1	1			
									美術工芸史4	2・3・4	1	1			
									現代社会システム論1	2・3・4	1	1			
									現代社会システム論2	2・3・4	1	1			
									芸術表象論1	2・3・4	1	1			
									芸術表象論2	2・3・4	1	1			
									芸術と哲学1	2・3・4	1	1			
									芸術と哲学2	2・3・4	1	1			
									美術解剖学1	2・3・4	1	1			
									美術解剖学2	2・3・4	1	1			
									視覚認知論1	2・3・4	1	1			
									視覚認知論2	2・3・4	1	1			
									芸術と精神分析1	2・3・4	1	1			
									芸術と精神分析2	2・3・4	1	1			
									現代芸術論1	3・4	1	1			
									現代芸術論2	3・4	1	1			
									アートマネジメント論1	3・4	1	1			
									アートマネジメント論2	3・4	1	1			
									美術評論1	3・4	1	1			
									美術評論2	3・4	1	1			
									作品と空間	3・4	1	1			
									表現研究特講	4	1	1			
									【マンガ講義科目】						
									マンガ概論2	2・3・4	1	1			
									マンガ史2	2・3・4	1	1			
									マンガ史3	2・3・4	1	1			
									マンガ史4	2・3・4	1	1			
									メディア産業論1	2・3・4	1	1			
									メディア産業論2	2・3・4	1	1			
									キャラクター造形論1	2・3・4	1	1			
									キャラクター造形論2	2・3・4	1	1			
									キャラクター造形論3	2・3・4	1	1			
									キャラクター造形論4	2・3・4	1	1			
									アニメーション作品作家研究1	2・3・4	1	1			
									アニメーション作品作家研究2	2・3・4	1	1			

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
										アニメーション作品作家研究3	2・3・4		1	1	
										アニメーション作品作家研究4	2・3・4		1	1	
										マンガ業界論1	2・3・4		1	1	
										マンガ業界論2	2・3・4		1	1	
										海外コミックマンガ論1	2・3・4		1	1	
										海外コミックマンガ論2	2・3・4		1	1	
										比較マンガ論1	2・3・4		1	1	
										比較マンガ論2	2・3・4		1	1	
										新世代マンガ総合講座1	2・3・4		1	1	
										新世代マンガ総合講座2	2・3・4		1	1	
										日本アニメーション史1	2・3・4		1	1	
										日本アニメーション史2	2・3・4		1	1	
										世界アニメーション史1	2・3・4		1	1	
										世界アニメーション史2	2・3・4		1	1	
										IP研究1	2・3・4		1	1	
										IP研究2	2・3・4		1	1	
										IP研究3	2・3・4		1	1	
										IP研究4	2・3・4		1	1	

学部	学科	授業科目	配当年度	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年度	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
		3D背景モデリング	2・3・4		2	2									
		アナログフィギュア造形	2・3・4		2	2									
		デジタルフィギュア造形	2・3・4		2	2									
		背景技法	2・3・4		2	2									
		表現実践技法	2・3・4		2	2									
		カメラ表現技法	2・3・4		2	2									
		絵本技法	2・3・4		2	2									
		クリーチャー作画実習	2・3・4		2	2									
		コスチューム作画実習	2・3・4		2	2									
		アナログ描画技法	2・3・4		2	2									
		ポートフォリオデザイン	2・3・4		2	2									
		デジタルイラスト技法	2・3・4		2	2									
		動物作画実習	2・3・4		2	2									
		映像編集	2・3・4		2	2									
		人体研究1	2・3・4		2	2									
		人体研究2	2・3・4		2	2									
		デジタルソフト実習	2・3・4		2	2									
		デジタル動画技法	2・3・4		2	2									
		ゲームUIデザイン	2・3・4		2	2									
		ビジュアルストーリーテリング	2・3・4		2	2									
		トランスメディアストーリーテリング	2・3・4		2	2									
		ゲームプランニング	2・3・4		2	2									
		アナログゲーム制作実習	2・3・4		2	2									
		ゲームエンジン実習	2・3・4		2	2									
		ゲーム編集技法	3・4		2	2									
		VRコンテンツ制作	2・3・4		2	2									
		キャラクター表現史	2・3・4		2	2									
		空想生物デザイン論	1・2・3・4		2	2									
		神話キャラクター論	2・3・4		2	2									
		代替現実ゲーム論	2・3・4		2	2									
		エンターテイメント総合講座	1・2・3・4		2	2									
		ゲーム史	2・3・4		2	2									
		ゲーム産業論	2・3・4		2	2									
		基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2									
		工芸	2・3・4		2	2									
										脚本概論3	2・3・4	1	1		
										脚本概論4	2・3・4	1	1		
										編集概論1	2・3・4	1	1		
										編集概論2	2・3・4	1	1		
										編集概論3	2・3・4	1	1		
										編集概論4	2・3・4	1	1		
										風刺画論1	2・3・4	1	1		
										風刺画論2	2・3・4	1	1		
										物語キャラクター論1	2・3・4	1	1		
										物語キャラクター論2	2・3・4	1	1		
										基礎デジタル演習1	1・2・3・4	1	1		
										基礎デジタル演習2	1・2・3・4	1	1		
										基礎デジタル演習3	1・2・3・4	1	1		
										基礎デジタル演習4	1・2・3・4	1	1		
										デジタル演習1	2・3・4	1	1		
										デジタル演習2	2・3・4	1	1		
										デジタル演習3	2・3・4	1	1		
										デジタル演習4	2・3・4	1	1		
										マンガデザイン1	2・3・4	1	1		
										マンガデザイン2	2・3・4	1	1		
										マンガデザイン3	2・3・4	1	1		
										マンガデザイン4	2・3・4	1	1		
										動態描写技法1	2・3・4	1	1		
										動態描写技法2	2・3・4	1	1		
										動態描写技法3	2・3・4	1	1		
										動態描写技法4	2・3・4	1	1		
										パース技法1	2・3・4	1	1		
										パース技法2	2・3・4	1	1		
										カラー演習1	2・3・4	1	1		
										カラー演習2	2・3・4	1	1		
										カラー演習3	2・3・4	1	1		
										カラー演習4	2・3・4	1	1		
										キャラクター造形基礎1	2・3・4	1	1		
										キャラクター造形基礎2	2・3・4	1	1		
										キャラクター造形基礎3	2・3・4	1	1		
										キャラクター造形基礎4	2・3・4	1	1		
										アニメーション演習1	2・3・4	1	1		
										アニメーション演習2	2・3・4	1	1		
										アニメーション演習3	2・3・4	1	1		
										アニメーション演習4	2・3・4	1	1		
										アニメーション3DCG演習1	2・3・4	1	1		
										アニメーション3DCG演習2	2・3・4	1	1		
										アニメーション3DCG演習3	2・3・4	1	1		
										アニメーション3DCG演習4	2・3・4	1	1		
										基礎デッサン1	2・3・4	1	1		
										基礎デッサン2	2・3・4	1	1		
										基礎デッサン3	2・3・4	1	1		
										基礎デッサン4	2・3・4	1	1		

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
マンガ学部	アニメーション学科	【学科専門講義科目】					●アニメーション学科 マンガ学部基礎科目、マンガ学部共通科目、学科専門講義科目、学科専門実習科目から88単位以上必修		アニメーション学科	【基礎実習科目】				●マンガ学科 マンガ学部基礎科目、マンガ学部共通科目、基礎実習科目、応用実習科目、卒業実習科目、アニメーション学科共通科目から74単位以上必修	
		日本アニメーション史	1・2・3・4	2	2			アニメーション基礎実習1		1	2	2			
		世界アニメーション史	1・2・3・4	2	2			アニメーション基礎実習2		1	2	2			
		【学科専門実習科目】													
		アニメーション作画基礎1	1	3	3			アニメーション基礎実習3		1	2	2			
		アニメーション作画基礎2	1	3	3			アニメーション基礎実習4		1	2	2			
		アニメーション人体構造	1	2	2										
		アニメーションCG基礎1	1	2	2			アニメーション基礎実習5		2	2	2			
		アニメーションCG基礎2	1	2	2			アニメーション基礎実習6		2	2	2			
		アニメーション基礎研究	1・2・3・4	2	2										
		ファーストステップ1	1・2・3・4	2	2			【応用実習科目】							
		ファーストステップ2	1・2・3・4	2	2			アニメーション実践実習1		3	1	1			
		ドローイング1	1・2・3・4	2	2			アニメーション実践実習2		3	1	1			
		ドローイング2	1・2・3・4	2	2			アニメーション実践実習3		3	1	1			
		アニメーション作画1	2	3	3			アニメーション実践実習4		3	1	1			
		アニメーション作画2	2	3	3										
		アニメーション表現技法1	2	2	2			アニメーション応用実習1		2	2	2			
		アニメーション表現技法2	2	2	2			アニメーション応用実習2		2	2	2			
		アニメーション演出基礎1	2	2	2			アニメーション応用実習3		3	2	2			
		アニメーション演出基礎2	2	2	2			アニメーション応用実習4		3	2	2			
		アニメーション音響基礎1	2・3・4	2	2		アニメーション応用実習5	3		2	2				
		アニメーション音響基礎2	2・3・4	2	2		アニメーション応用実習6	3		2	2				
		アニメーション3DCG1	2・3・4	2	2										
		アニメーション3DCG2	2・3・4	2	2		【卒業実習科目】								
		ストップモーション1	2・3・4	3	3		卒業研究実習1	4		2	2				
		ストップモーション2	2・3・4	3	3		卒業研究実習2	4		2	2				
		アニメーション作品作家研究1	2・3・4	2	2		卒業研究実習3	4		2	2				
		アニメーション作品作家研究2	2・3・4	2	2		卒業論文・卒業制作	4		2	2				
		アクションドローイング1	2・3・4	2	2		卒業展示	4		2	2				
		アクションドローイング2	2・3・4	2	2		【アニメーション学科共通科目】								
		シナリオ技法1	2・3・4	1	1		基礎立体・彫塑	2・3・4		2	2				
		シナリオ技法2	2・3・4	1	1		工芸	2・3・4		2	2				
		卒業制作企画	3	1	1		アニメーション基礎研究1	1・2・3・4		1	1				
							アニメーション基礎研究2	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習1	3・4	3	3		アニメーション基礎研究3	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習2	3・4	3	3		アニメーション基礎研究4	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習3	3・4	3	3		アクションドローイング基礎1	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習4	3・4	3	3		アクションドローイング基礎2	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習5	3・4	3	3		アクションドローイング基礎3	1・2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習6	3・4	3	3		アニメーション演出概論1	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習7	3・4	3	3		アニメーション演出概論2	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習8	3・4	3	3		アニメーション演出特論1	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習9	3・4	3	3		アニメーション演出特論2	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習10	3・4	3	3		シナリオ概論1	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習11	3・4	3	3		シナリオ概論2	2・3・4		1	1				
		アニメーション実践実習12	3・4	3	3		シナリオ特論1	2・3・4		1	1				
		アニメーション応用技法1	3・4	2	2		シナリオ特論2	2・3・4		1	1				
		アニメーション応用技法2	3・4	2	2		アニメーション3DCG演習1	2・3・4		1	1				
							アニメーション3DCG演習2	2・3・4		1	1				
		エフェクト技法1	3・4	2	2		アニメーション3DCG演習3	2・3・4		1	1				
		エフェクト技法2	3・4	2	2		アニメーション3DCG演習4	2・3・4		1	1				
		卒業研究実習1	4	4	4		アニメーション音響基礎1	2・3・4		1	1				
		卒業研究実習2	4	4	4		アニメーション音響基礎2	2・3・4		1	1				
		卒業制作	4	4	4		アニメーション音響基礎3	2・3・4		1	1				
		基礎立体・彫塑	2・3・4	2	2										
		工芸	2・3・4	2	2										

学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考	学部	学科	授業科目	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
										アニメーション音響基礎4	2・3・4		1	1	
										アクションドローイング1	2・3・4		1	1	
										アクションドローイング2	2・3・4		1	1	
										アクションドローイング3	2・3・4		1	1	
										アクションドローイング4	2・3・4		1	1	
										アニメーション表現技法1	3・4		1	1	
										アニメーション表現技法2	3・4		1	1	
										アニメーション表現技法3	3・4		1	1	
										アニメーション表現技法4	3・4		1	1	
										エフェクト技法1	3・4		1	1	
										エフェクト技法2	3・4		1	1	
										エフェクト技法3	3・4		1	1	
										エフェクト技法4	3・4		1	1	

別表Ⅱ 教職に関する専門科目

別表Ⅱ 教職に関する専門科目

教育の基礎的理解に関する科目等					教育の基礎的理解に関する科目等								
学部	学科	授業科目	単位数			備考	学部	学科	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	計					必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を配置する各学科	教育の基礎的理解に関する科目			「道徳教育論」および「教育実習Ⅱ」の単位は、中一種免取得希望者のみ必修とする。	芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を配置する各学科	教育の基礎的理解に関する科目			「道徳教育論」および「教育実習Ⅱ」の単位は、中一種免取得希望者のみ必修とする。		
		教育原論	2					2	教育原論	2			2
		教職論	2					2	教職論	2			2
		教育制度論	2					2	教育制度論	2			2
		教育心理学	2					2	教育心理学	2			2
		特別支援教育論	1					1	特別支援教育論	1			1
		教育課程論	2					2	教育課程論	2			2
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目							道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
		道徳教育論		2				2	道徳教育論			2	2
		総合的な学習の時間の指導論	1					1	総合的な学習の時間の指導論	1			1
		特別活動論	2					2	特別活動論	2			2
		教育方法論	2					2	教育方法論	2			2
		生徒・進路指導論	2					2	生徒・進路指導論	2			2
		教育相談	2					2	教育相談	2			2
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		1	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		1						
教育実践に関する科目				教育実践に関する科目									
事前・事後指導	1		1	事前・事後指導	1		1						
教育実習Ⅰ	2		2	教育実習Ⅰ	2		2						
教育実習Ⅱ		2	2	教育実習Ⅱ		2	2						
教職実践演習(中・高)	2		2	教職実践演習(中・高)	2		2						

教科及び教科の指導法に関する科目					教科及び教科の指導法に関する科目								
学部	学科	授業科目	単位数			備考	学部	学科	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	計					必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を配置する各学科	各教科の指導法			「各教科の指導法」は該当教科の指導法を履修する。なお、各教科の指導法より、中一種免は8単位、高一種免は4単位以上をそれぞれ選択必修とする。	芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・国際文化学部・メディア表現学部	課程を配置する各学科	各教科の指導法			「各教科の指導法」は該当教科の指導法を履修する。なお、各教科の指導法より、中一種免は8単位、高一種免は4単位以上をそれぞれ選択必修とする。		
		美術科教育法Ⅰ	2					2	美術科教育法Ⅰ	2			2
		美術科教育法Ⅱ	2					2	美術科教育法Ⅱ	2			2
		美術科・工芸科教育法Ⅰ	2					2	美術科・工芸科教育法Ⅰ	2			2
		美術科・工芸科教育法Ⅱ	2					2	美術科・工芸科教育法Ⅱ	2			2
		国語科教育法Ⅰ	2					2	国語科教育法Ⅰ	2			2
		国語科教育法Ⅱ	2					2	国語科教育法Ⅱ	2			2
		国語科教育法Ⅲ	2					2	国語科教育法Ⅲ	2			2
		国語科教育法Ⅳ	2					2	国語科教育法Ⅳ	2			2
		社会科地歴科教育法Ⅰ	2					2	社会科地歴科教育法Ⅰ	2			2
		社会科地歴科教育法Ⅱ	2					2	社会科地歴科教育法Ⅱ	2			2
		社会科公民科教育法Ⅰ	2					2	社会科公民科教育法Ⅰ	2			2
		社会科公民科教育法Ⅱ	2					2	社会科公民科教育法Ⅱ	2			2
		情報科教育法Ⅰ	2					2	情報科教育法Ⅰ	2			2
情報科教育法Ⅱ	2		2	情報科教育法Ⅱ	2		2						
英語科教育法Ⅰ	2		2										
英語科教育法Ⅱ	2		2										
英語科教育法Ⅲ	2		2										
英語科教育法Ⅳ	2		2										

大学が独自に設定する科目					大学が独自に設定する科目								
学部	学科	授業科目	単位数			備考	学部	学科	授業科目	単位数			備考
			必修	選択	計					必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部	課程を設置する各学科	人権教育論	2		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて、中一種免の場合には4単位以上、高一種免の場合には12単位以上を修得する。	芸術学部・デザイン学部・マンガ学部	課程を設置する各学科	人権教育論	2		2	
		現代学校論	2		2				現代学校論	2		2	
		障がい者理解	2		2				障がい者理解	2		2	
		学校安全論	2		2				学校安全論	2		2	
		学校ボランティア	2		2				学校ボランティア	2		2	
国際文化学部・メディア表現学部	課程を設置する各学科	人権教育論	2		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について、併せて、中一種免の場合には4単位以上、高一種免の場合には12単位以上を修得する。	国際文化学部・メディア表現学部	課程を設置する各学科	人権教育論	2		2	
		障がい者理解	2		2				障がい者理解	2		2	
		学校安全論	2		2				学校安全論	2		2	
		学校ボランティア	2		2				学校ボランティア	2		2	

別表IV 博物館学芸員課程に関する科目

別表IV 博物館学芸員課程に関する科目

学部	学科	区分	授業科目	単位数			備考	学部	学科	区分	授業科目	単位数			備考
				必修	選択	計						必修	選択	計	
芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・メディア表現学部・国際文化学部	課程を設ける学科	必修科目	生涯学習概論	2		2	2系列以上にわたり、それぞれ1科目以上、計2科目4単位以上を履修しなければならない。	課程を設ける学科	必修科目	生涯学習概論	2		2	2系列以上にわたり、それぞれ1科目以上、計2科目4単位以上を履修しなければならない。	
			博物館概論	2		2				博物館概論	2		2		
			博物館経営論	2		2				博物館経営論	2		2		
			博物館資料論	2		2				博物館資料論	2		2		
			博物館資料保存論	2		2				博物館資料保存論	2		2		
			博物館展示論	2		2				博物館展示論	2		2		
			博物館教育論	2		2				博物館教育論	2		2		
			博物館情報・メディア論	2		2				博物館情報・メディア論	2		2		
	博物館実習	3		3	博物館実習	3			3						
	選択科目	文化史	説話・口承文学		2	2		日本文化史概論		2	2				
			説話・伝承史		2	2		説話・伝承史		2	2				
		美術史	美術史		2	2		美術史		2	2				
			日本美術史		2	2		日本美術史		2	2				
			東洋美術史		2	2		東洋美術史		2	2				
			西洋美術史		2	2		西洋美術史		2	2				
考古学		考古学		2	2	考古学		2	2						
民俗学	民俗学		2	2	民俗学		2	2							
自然科学史	自然科学概論		2	2	自然科学史		2	2							
生物学	生物学		2	2	生物学		2	2							

(新) 学則

別表V

① 正規の学生の授業料等

1. 入学検定料

費目	金額
入学検定料	35,000円
大学入学共通テストを利用する入学試験の検定料	10,000円

注) 入学検定料は、学内規定により減免することができる。

2. 入学金

費目	金額
入学金	200,000円

3. 芸術学部学費

費目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年間
授業料	387,500円	387,500円	387,500円	387,500円	1,550,000円

4. デザイン学部学費

費目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年間
授業料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

5. マンガ学部学費

費目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年間
授業料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

6. メディア表現学部学費

費目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年間
授業料	296,500円	296,500円	296,500円	296,500円	1,186,000円

7. 国際文化学部学費

費目	前期1期	前期2期	後期1期	後期2期	年間
授業料	271,500円	271,500円	271,500円	271,500円	1,086,000円

② 編入学・転入学・再入学の授業料等は入学年次に相当する正規の学生の年次の授業料等に準ずるものとし、入学検定料および入学金については正規の学生の1年生に準ずるものとする。

③ 聴講料

登録料	15,000円
聴講料 (1単位あたり)	15,000円

④ 科目等履修料

登録料	15,000円
聴講料 (1単位あたり)	15,000円

⑤ 研究生学費

研究生	前期	後期	年間
芸術学部	291,500円	291,500円	583,000円
デザイン学部	296,500円	296,500円	593,000円
マンガ学部	296,500円	296,500円	593,000円
メディア表現学部	231,000円	231,000円	462,000円
国際文化学部	214,500円	214,500円	429,000円

京都精華大学研究生学費算出基準

(1) 研究生出願手数料 = 学部入学検定料×1/3

(2) 研究生授業料 = (学部入学金+学部授業料)×1/3

(3) ただし、1,000円未満は四捨五入とする。

(旧) 学則

別表V

① 正規の学生の授業料等

1. 入学検定料

費目	金額
入学検定料	35,000円
大学入学共通テストを利用する入学試験の検定料	10,000円

注) 入学検定料は、学内規定により減免することができる。

2. 入学金

費目	金額
入学金	200,000円

3. 芸術学部学費

費目	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	年間
授業料	387,500円	387,500円	387,500円	387,500円	1,550,000円

4. デザイン学部学費

費目	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	年間
授業料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

5. マンガ学部学費

費目	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	年間
授業料	394,750円	394,750円	394,750円	394,750円	1,579,000円

6. メディア表現学部学費

費目	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	年間
授業料	296,500円	296,500円	296,500円	296,500円	1,186,000円

7. 国際文化学部学費

費目	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	年間
授業料	271,500円	271,500円	271,500円	271,500円	1,086,000円

② 編入学・転入学・再入学の授業料等は入学年次に相当する正規の学生の年次の授業料等に準ずるものとし、入学検定料および入学金については正規の学生の1年生に準ずるものとする。

③ 聴講料

登録料	15,000円
聴講料 (1単位あたり)	15,000円

④ 科目等履修料

登録料	15,000円
聴講料 (1単位あたり)	15,000円

⑤ 研究生学費

研究生	前期	後期	年間
芸術学部	291,500円	291,500円	583,000円
デザイン学部	296,500円	296,500円	593,000円
マンガ学部	296,500円	296,500円	593,000円
メディア表現学部	231,000円	231,000円	462,000円
国際文化学部	214,500円	214,500円	429,000円

京都精華大学研究生学費算出基準

(1) 研究生出願手数料 = 学部入学検定料×1/3

(2) 研究生授業料 = (学部入学金+学部授業料)×1/3

(3) ただし、1,000円未満は四捨五入とする。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
（ア）教育課程の変更内容	3
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	5
（ウ）教員組織の変更内容	6
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	7

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

2025年度4月1日から、下記表1のとおり収容定員の変更を行う。なお、大学全体の収容定員の変更は行わない。

表1 変更を伴う入学定員及び収容定員(人) 変更部下線

学 部	学 科	変更前 (~2025年3月31日)		変更後 (2025年4月1日~)	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
芸術学部	造形学科	112	448	<u>140</u> (28増)	<u>560</u> (112増)
デザイン学部	イラスト学科	64	256	<u>67</u> (3増)	<u>268</u> (12増)
	ビジュアルデザイン学科	64	256	<u>74</u> (10増)	<u>296</u> (40増)
	プロダクトデザイン学科	72	288	<u>77</u> (5増)	<u>308</u> (20増)
	建築学科※	56	224	56	224
マンガ学部	マンガ学科	232	928	<u>240</u> (8増)	<u>960</u> (32増)
	アニメーション学科	80	320	<u>84</u> (4増)	<u>336</u> (16増)
メディア表現学部	メディア表現学科	168	672	<u>177</u> (9増)	<u>708</u> (36増)
国際文化学部	人文学科	160	640	<u>138</u> (22減)	<u>552</u> (88減)
	グローバルスタディーズ学科	90	360	<u>45</u> (45減)	<u>180</u> (180減)
合 計		1098	4392	1098	4392

※デザイン学部建築学科は定員の変更を行わない。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

京都精華大学は、人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって、人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的に、美術科と英語英文科をもつ短期大学として1968年に開設された。1979年に4年制大学として美術学部造形学科、美術学部デザイン学科を設置。1989年に人文学部人文学科を開設。2000年に美術学部を芸術学部に変更し、同時に日本初となるマンガ学科を設置。2006年

にマンガ学部、デザイン学部を開設、2021年にメディア表現学部、国際文化学部を開設へと展開してきた。

2024年現在では、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、メディア表現学部、国際文化学部の5学部と、芸術、デザイン、マンガ、人文学の大学院研究科を擁しており、芸術と文化を通して社会に貢献する人間の育成を行っている。これまでも社会の多様な場で活躍する多くの人材を輩出している。

一方、学部、学科の中には、近年志願者が減少し入学定員を充足しない状況にあると同時に、社会情勢、技術革新の変化や、それに伴う学問分野の需要の変動により、多くの志願者が集まり入学定員を満たしている学科があることから、これらを勘案した結果、全学的な入学定員の見直しを行うこととした。

この度の入学定員及び収容定員変更は、志願者状況および入学者の現状に即し、本学志願者のニーズを充たすと共に、学科間の定員充足率の不均衡を解消し、大学全体として教育の質的充実を実現すること目的としている。

特に、国際文化学部については、設置計画履行状況調査において収容定員の未充足の改善に努めることを指摘され、2021年にグローバルスタディーズ学科に対して改善、2022年に同じくグローバルスタディーズ学科に対して改善、2023年には、グローバルスタディーズ学科に対して是正、人文学科に対して改善が指摘された。これら指摘を受け、これまでも教育内容の充実等を通じ収容定員充足率の改善に取り組んだが、収容定員を充足するに至らなかったことから、入学定員を減少させ、定員充足率を改善させる。あわせて、入学者数を増加させるために、引き続き教育内容の改善および学生募集活動の更なる充実をはかる。

一方、入学定員を増加させる芸術学部造形学科(112名から140名(28名増))、デザイン学部イラスト学科(64名から67名(3名増))、デザイン学部ビジュアルデザイン学科(64名から74名(10名増))、デザイン学部プロダクトデザイン学科(72名から77名(5名増))、マンガ学部マンガ学科(232名から240名(8名増))、マンガ学部アニメーション学科(80名から84名(4名増))、メディア表現学部メディア表現学科(168名から177名(9名増))については、近年の志願者状況、入学者実績を基に、教育環境について変更前と同等以上を保障できるよう変更後の定員数を設定している。

以上により、大学全体の入学定員の見直しを行った結果、収容定員の変更を行う必要性があると判断した。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容について

収容定員変更に伴い、教育課程について、以下のように変更を行う。

大学全体としては、卒業に要する単位数 124 単位のうち、各学部・学科の専門教育科目数は 74 単位と設定していたが、2025 年度から 88 単位へと増加させ、専門知識・技術の修得の向上を図る。

① 芸術学部

芸術学部造形学科では、入学定員の変更による教育課程の変更は行わない。洋画、日本画、版画、立体造形、陶芸、テキスタイル、映像の各専攻を維持するが、平面、立体表現、工芸領域に関する基礎技法から、各専攻領域における制作技術の指導体制と実習環境については、近年の入学者受け入れ状況を踏まえ、教室、実習室、機器等の施設、開講科目を既に整えており、今回の入学定員、収容定員の増加に十分に対応できると判断する。

② デザイン学部

デザイン学部イラスト学科では、2 年次から専攻が選択できるよう、これまでのイラスト専攻に加え、モーションイラスト専攻を加え、平面的な作画技術の習得に留まらず、動的な表現を志向する学生へも対応できるよう教学内容を見直し、変更前と比しても同等以上の教学内容を確立する。

デザイン学部ビジュアルデザイン学科については、入学定員の変更による教育課程の変更は行わないが、グラフィックデザイン、デジタルクリエイションの 2 専攻により、図像からデジタルコンテンツまで幅広いデザイン領域について修得することができる。近年の入学者受け入れ状況を踏まえ、教室、実習室、機器等の施設を既に整えており、今回の入学定員、収容定員の増加に十分に対応できると判断する。

デザイン学部プロダクトデザイン学科では、これまで 1 年次から分けていた専攻を 2 年次から選択できるようにし、プロダクトデザイン領域における多様な素材の特徴やデザインの方向性を学んだうえで、インダストリアルデザイン専攻、ライフクリエイション専攻、ファッションデザイン専攻へと進めるよう教育課程を見直した。

デザイン学部建築学科は、入学定員、収容定員の変更は行わない。

③ マンガ学部

マンガ学部マンガ学科においては、キャラクターデザインに関する学びの領域を拡大させ、近年注目が高いゲームの領域を付加することで、幅広くマンガ、イラスト表現を学べる教育課程とすることで、国内外の志願者のニーズをとらえることができ、入学定員、収容定員増加に対しても教学上、充分に対応できる。

マンガ学部アニメーション学科については、近年の入学者受入実績を踏まえ、国内外で人気の高い日本のアニメーション表現の高度な技術と理論を修得する環境を既に整えている。

④ メディア表現学部

メディア表現学部は、2021年度の学部開設時以降に入学した在学生の学びに対するニーズを検証し、2年次から選択する専攻については従来の3専攻(メディア情報、イメージ表現、音楽表現)から、メディアイノベーション専攻、メディアデザイン専攻、メディアコミュニケーション専攻、音楽メディア専攻の4専攻とし、知識と表現技能の修得を通じて変化する社会の課題の解決に寄与する人材の育成を図る。

⑤ 国際文化学部

国際文化学部では、2年次から選択する専攻を再編成し、人文学科は歴史、文学、社会の3専攻、グローバルスタディーズ学科は国際文化、国際日本学の2専攻とする。

グローバルスタディーズ学科では、大学進学にあたり国際系学部を選択する志願者のニーズに応え、在学中に修得した英語力を活かせる職業選択ができるように、グローバルスタディーズ学科では高等学校教諭一種免許状(英語)、中学校教諭一種免許状(英語)の取得を可能とする。さらに同学科においては登録日本語教員の資格取得を可能とし、英語のみならず日本語を通じた国際交流、国際貢献が可能な資格課程を設置する。また、アニメやマンガなどの大衆文化や京都の伝統文化など、多様な日本文化をテーマに学ぶことができる学科と位置付け、加えて本学が京都に位置する優位性を生かし、教学内容および進路選択を充実させる。

これらを通じて国際文化学部の入学者数の増加、定員充足率の改善を図る。

以上のことから、定員の変更を行う各学科においては、在学生および受験生の志向を検討し、専攻の構成を変更あるいは拡大させることにより、教学上の改善を行い、変更前と同等の内容を担保する。

いずれの学科も近年の入学者数の増減の幅に収まる範囲での入学定員及び収容定員変更であるため、変更前と同等の教育を行うことに支障はない。また、大学全体の入学定員及び収容定員は変えないため、共通教育科目等の全学的に共通する科目についても、変更前と同等の質を担保できる。

よって、今回の届出にて変更前と比較して同等以上の内容が担保されると判断する。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

本学では、学生の学修、学生生活、進路指導については、学部学科教員および事務局担当部署がサポートを行っており、履修指導についても適切に実施している。また、学生相談室を設置し、学生支援体制の充実を図っている。

毎年度全学生に共有している「学習のてびき」においては、各学部別にカリキュラムポリシー、ディプロマ・ポリシー、卒業要件、開講科目に加えて、カリキュラムマップ、

履修モデルを提示し、年度あるいは学期始めには、履修登録、学生生活等に関するガイダンスを実施する等を通じて、適切な履修指導を行っている。

一方では、各年度末の GPA の結果が一定レベル以下の学生に対しては、年度初めのオリエンテーション時に当該学科の教員が個別面談を行い、就学状況や今後の履修について確認している。

大学全体の入学定員に変更が無いため、変更前と比較して履修指導方法の内容は担保されると判断する。

(ウ) 教員組織の変更内容について

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う、教員組織の変更は行わない。本学では、表2、表3で示すように、大学設置基準を遵守し、各学科に定められた基幹教員数を保っており、学生指導上、十分に対応し得る教員組織を維持する。

変更前後で大きな変化はなく、現状の受入れ学生数に即した形での変更であるため、教員組織の変更は行わなくても変更前と同等の指導体制を担保できる。

また、国際文化学部人文学科、グローバルスタディーズ学科においては、入学定員を67名、収容定員を268名減じるが、既に大学設置基準に定める基幹教員数を上回っているうえに、教員組織の縮小等を行わないため、定員変更前と比較して同等以上の教員組織が担保されていると判断する。

表2 教員の配置に関する資料(人)

学 部	学 科	変更後 (2025年度～)	
		必要基幹教員 数(うち教授数)	基幹教員数 (うち教授数)
芸術学部	造形学科	12 (6)	23 (13)
デザイン学部	イラスト学科	7 (4)	9 (5)
	ビジュアルデザイン学科	7 (4)	10 (6)
	プロダクトデザイン学科	7 (4)	10 (5)
	建築学科※	7 (4)	7 (5)
マンガ学部	マンガ学科	12 (6)	33 (12)
	アニメーション学科	7 (4)	11 (4)
メディア表現学部	メディア表現学科	13 (7)	24 (9)
国際文化学部	人文学科	10(5)	26 (11)
	グローバルスタディーズ学科	8 (4)	13 (4)
合 計		90 (48)	166 (74)

※デザイン学部建築学科は定員の変更を行わない。

表3 変更に伴う教員数(人)および収容定員に対する ST 比

学 部	学 科	変更前 (2024 年度)		変更後 (2025 年度～)	
		教員数	ST 比	教員数	ST 比
芸術学部	造形学科	23	19.5	23	24.3
デザイン学部	イラスト学科	10	25.6	9	29.8
	ビジュアルデザイン学科	10	25.6	10	29.6
	プロダクトデザイン学科	10	28.8	10	30.8
	建築学科※	7	32	7	32
マンガ学部	マンガ学科	33	28.1	33	39.1
	アニメーション学科	12	26.6	11	30.5
メディア表現学部	メディア表現学科	24	28	24	29.5
国際文化学部	人文学科	24	26.7	26	21.2
	グローバルスタディーズ 学科	11	32.7	13	13.8
合 計		164	26.8	166	26.5

※デザイン学部建築学科は定員の変更を行わない。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

大学全体の収容定員の変更は行わないため、既存施設・設備の利用を前提とし、新規施設等の建築・建設計画は変更を要しない。

今般収容定員増となる学科の実習等に係る施設・設備については、近年の受入れ人数の増減を加味して既に整備しており、問題なく対応できる施設・設備を有している。近年の当該学科の受入れ人数の増減の範囲内に収まるものであり、変更前と同等の教育環境を担保できる。

定員の増加数が多い芸術学部造形学科は、入学定員 112 名から 140 名 (28 名増)、収容定員で 448 名から 560 名(112 名増)へ増加させるが、既に 1 年次が使用する実習室(自在館 101 実習室)を約 150 名が収容できるように改修工事を完了しており、今回の入学定員の変更にも対応できる。また、2 年次以降に各専攻に分かれた後に使用する各実習室、施設においても変更後の入学定員、収容定員に対応できるよう整備している。

また、国際文化学部人文学科、グローバルスタディーズ学科は定員を減少させるが、施設・設備の変更は生じず、変更前と比較して内容は担保されると判断する。

また、大学全体としても、2023 年度に、老朽化した校舎(明窓館)の立替工事が完了している。明窓館においては、大ホール(約 510 名収容可能、視聴覚機器を完備し、大人数の授業にも対応する)の他、学内ギャラリー、カフェ等も併設し、学習環境および共有施設が改善しており、変更後においても教育環境が確保できると判断する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

京都精華大学

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）目次

(1) 収容定員を変更する組織の概要	
①収容定員を変更する組織の概要	2
②収容定員を変更する組織の特色	2
(2) 人材需要の社会的な動向等	
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析 ア芸術系学部・学科の分析	6
イ国際文化学部の分析	6
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	7
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	9
④既設組織の定員充足の状況	9
(3) 学生確保の見通し	
①学生確保に向けた取組と見込まれる効果	
ア既設組織における取組とその目標	10
イ収容定員を変更する組織における取組とその目標	11
ウ当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者 の見込み数	13
②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足 状況）	
ア競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性	13
イ競合校の入学志願動向等	19
ウ収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等	21
エ学生納付金等の金額設定の理由	21
③先行事例分析	22
④学生確保に関するアンケート調査	22
⑤人材需要に関するアンケート調査等	22
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	22

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

2025年度4月1日から、表1「2025年度収容定員変更の概要」の通り、収容定員の変更を行う。なお、デザイン学部建築学科については、収容定員の変更は行わない。

表 1. 2025 年度収容定員変更の概要

変更部下線

学 部	学 科	変更前 (~2025年3月31日)		変更後 (2025年4月1日~)	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
芸術学部	造形学科	112	448	<u>140</u> (28増)	<u>560</u> (112増)
デザイン学部	イラスト学科	64	256	<u>67</u> (3増)	<u>268</u> (12増)
	ビジュアルデザイン学科	64	256	<u>74</u> (10増)	<u>296</u> (40増)
	プロダクトデザイン学科	72	288	<u>77</u> (5増)	<u>308</u> (20増)
	建築学科※	56	224	56	224
マンガ学部	マンガ学科	232	928	<u>240</u> (8増)	<u>960</u> (32増)
	アニメーション学科	80	320	<u>84</u> (4増)	<u>336</u> (16増)
メディア表現学部	メディア表現学科	168	672	<u>177</u> (9増)	<u>708</u> (36増)
国際文化学部	人文学科	160	640	<u>138</u> (22減)	<u>552</u> (88減)
	グローバルスタディーズ学科	90	360	<u>45</u> (45減)	<u>180</u> (180減)
合 計		1098	4392	1098	4392

※デザイン学部建築学科は定員の変更を行わない。

②収容定員を変更する組織の特色

京都精華大学は、1968年の開学以来、人間を尊重し、人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって人類社会に尽くす、自立した人間の形成を目指した教育研究活動を行ってきた。

2024年現在は、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、メディア表現学部、国際文化学部の5学部と、芸術、デザイン、マンガ、人文学の大学院研究科を擁しており、芸術と文化を通して社会に貢献する人間の育成を目指している。

2025年度に定員を変更する各学科の特色、目指す人材像について、以下に記述する。

・芸術学部

造形学科では、伝統的造形芸術から、最先端の手法に及ぶ表現領域の中で、学生が多角的な観察と自立した思考力によって新たな表現を創造する能力と造形芸術を開拓できる資質を身に付けることを目指す。全国トップレベルの実習設備と、幅広い技法と素材に触れることができる環境を提供している。芸術の素養を備え、デジタル化の現代でこそ必要とされる、手を動かしてイメージや立体物を造形する力を備えた人材や、企業で「ものづくり」の現場に関わる学生を広く育成している。

・デザイン学部

イラスト学科では、デザインやアートといった多様なフィールドで展開が可能となるイラスト領域において、現実の社会に貢献できる資質を備えた人材の養成を行う。2025年度には、モーショントラスト専攻を新設し、動画やWebメディアなど新時代の領域で活躍するための技法も修得可能とする。描く力と、高度な表現力を身に着けた人材は、作家のみならず、企業所属のクリエイターとしても活躍が期待される。魅力的な表現で情報伝達ができる能力は、一般職への就職率も高い。

ビジュアルデザイン学科では、社会のデジタル化で、目的や手法が大幅に拡大した視覚デザインの領域において、社会貢献ができる人材を養成する。グラフィックデザインコースでは、ポスターや写真、映像、Webなどの制作を通して、デザインの基本要素や専門知識、技能を身に付けた人材を育成し、デジタルクリエイションコースでは、ゲーム・3DCGなどのデジタル分野での表現力や発想力を養い、ユーザーに新しい体験を提供するクリエイターの育成を目指す。コンピュータ理論やプログラミングに精通し、色彩、デザイン感覚、高いコミュニケーション力を備えた人材は、現代社会の諸領域から求められている。

プロダクトデザイン学科では、社会活動や生活に使用される道具や家具、生活用品、ファッションなどのデザインの領域において、社会貢献ができる資質を備えた人材を育成する。環境問題や生活の多様化など、世界規模で長期的に考えるべき課題が数多くある現代において、社会を俯瞰的に観察し、総合的な課題解決のアイデアや新しい価値を提示するデザイナーの養成を目指す。卒業生は、高度な専門性と広い視点を有し、かつ優れた造形力をあわせ持ったデザイナー、ディレクターなどとして、諸領域での活躍が期待される。

・マンガ学部

マンガ学科は、マンガの作品史、表現などについての理論および技法の修得にとどまらず、実践によってマンガ表現の発展に貢献する人材の養成を目的とする。ストー

リーマンガコースでは、企画、取材、脚本、作画技術を総合的に養う。新世代マンガコースでは、デジタル環境の下で急激に多様化した、現代のマンガ業界で活躍する人材に不可欠な、セルフプロデュース力や、デジタルマンガの制作技法を養成する。キャラクターデザインコースでは、魅力的なキャラクターを生み出す能力と、社会のニーズを感知するノウハウを養い、ゲームやアニメ業界で即戦力となり、キャラクタービジネスでチャンスを獲得する力を修得させる。卒業生は、現代では世界的規模に成長したマンガや関連産業・業界において、さまざまな形での活躍が期待される。なお、留学生比率は47.0%（2024年5月数値）を示し、本学の専攻内でもアニメーション学科に次いで留学生が多い。

アニメーション学科では、アニメーション表現の基盤となる、“「動き」による高度な表現技術”を理論と実技の両面から修得させる。また、手書き・CGによる作画技術、演出、撮影、音響などアニメーション制作に必要な能力を総合的に養う。世界的にも高評価を受ける日本のアニメーション作品の担い手として、また、Webコンテンツや映像制作などをはじめとした、アニメーションの関連領域で活躍できる人材を育成する。なお、留学生比率は54.0%（2024年5月数値）を示し、本学の専攻内で最も留学生が多い。

・メディア表現学部

メディア表現学科では、現代で発展の著しい、メディアと産業システムの動向をふまえ、豊かな文化の発展にも寄与しつつ、時代を切り拓くコンテンツ、メディア、新たなビジネスモデルを創造できる人材の養成を目的とする。最先端の表現に不可欠なプログラミングやテクノロジーを修得させると共に、ビジネスマインドや社会課題への感度も養い、社会の諸領域において新しい価値観を提案できる能力を修得させる。最先端のデジタル技術と企画力を備えた人材は様々な業種に対応が可能である。映像、ゲーム、Web、エンターテインメント業界のみならず、情報サービス、流通・販売、教育、企業内クリエイターなどでも活躍が期待される。

・国際文化学部

人文学科では、日本の「文学」、「歴史」、「社会」を研究対象とし、日本を基点とした世界の文化と社会を多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。京都や日本、世界各地から拠点が選べるフィールドワークでは、研究・調査手法を身につけると同時に、正解が一つでは無い問いに取り組むことで、現実の諸問題に対応できる思考力と行動力を養成する。分析力や、問題解決力、洞察力は、マスコミ、文化事業、教育産業、商品企画、観光など、現在の日本ビジネスの中心となるあらゆる業種で不可欠とされている。

グローバルスタディーズ学科では、グローバルとローカル双方のアプローチから、

世界と日本の関わりを文化や社会の視点から多角的に捉え、課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現と世界の発展に寄与できる人材の養成を目的とする。海外でのフィールドワークなどを通じて、実践的な英語力と行動力を養成する。また、マンガやアニメ、ゲームや音楽、映画など広く日本の文化を扱う専攻も配置している。学習者は、自らの興味や関心があることを起点に、異文化や自文化について理解を深め、自分自身を相対化する思考力を獲得する。グローバルな視点での問題発見・解決能力、行動力を備えた人材は、商社や貿易、観光業から、教育、NGO・NPO などまで幅広い領域で活動することが期待される。また、現代の企業では利潤の追求だけではなく社会貢献が重視されつつあり、ソーシャルビジネスやソーシャルデザインの分野での活躍も期待される。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

ア) 芸術系学部・学科の分析

社会的な動向として、令和5年(2023年)3月24日に閣議決定された「文化芸術推進基本計画(第2期)－価値創造と社会・経済の活性化－」では、平成30年(2018年)3月に閣議決定された第1期計画をもとに、4つの中長期目標を立て、その実現に向けた重点取組を7つ設定している。**(資料1)** これらの策定にあたった各種調査では、内閣府が実施した「社会意識に関する世論調査(令和3年12月調査)」で、日本の国や国民について誇りに思うこととして、48.9%が「すぐれた文化や芸術」と回答している一方で、総務省「平成27年国勢調査」が公表しているわが国の「芸術家」人口を年齢別で見ると20代以下が少なく、地域別で見ると、東京一極集中が鮮明であり、業界を支える若手人材を各地域でも育成する必要があるとみられる。**(資料2)**

地域からの需要では、令和5年(2023年)に策定された京都府総合計画で定められた8つのビジョンに「7:文化の力で世界に貢献する京都の実現」が掲げられており、また、具体的な到達目標として、文化・芸術に関する具体的な目標を定量的に設定している。**(資料3)**

こうした社会的、地域的な施策を背景に、文化・芸術業界を支える人材の育成が望まれている。このような人材を自学の芸術系学部学科では養成しており、今回の収容定員増により社会需要に応える計画である。

イ) 国際文化学部の分析

2021年度に開設された国際文化学部は、同年に学生募集を停止した人文学部を基礎として、多様性を認め批判的に思考する力を育成する教育内容を根幹に置きつつ、現代社会の構造や各国の相関について過去から現在について学び、グローバルとローカル

双方の観点を養いながら関心の高いテーマについての地域研究を現地で実践することで、多様な社会課題に向き合い、解決に向けて主体的に考え行動することができる力を養うことを教育研究上の目的としていた。

開設後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界や日本全国を舞台とした重点カリキュラムであるフィールドワークプログラムが非対面での実施を余儀なくされる等、十分な授業運営ができなかったことが影響し、学生確保に苦慮する状況が続いている。2023年5月8日に日本国内では新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行される等、国内外の移動や日常生活が元通りになりつつあるが、コロナ以降の世界情勢は、各地で人々の生命や生活、価値観や行動、さらには経済や文化など社会全体に広範かつ多面的な影響を与えており、まさに予測困難なVUCA時代が到来している。令和3年(2021年)3月26日に閣議決定された「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、近年深刻化する自然災害や科学技術の国際競争力低下など新たな社会的課題や、次代を担う人材に関する課題を解決するためには自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた多様な「知」の創造と、「総合知」による現存の社会全体の再設計、さらには、これを担う人材育成が避けては通れないと述べられている。(資料4)

そのような社会的情勢を鑑み、国際文化学部の人材育成像は、「国際的な視野と体験を重視し、地球環境問題の深刻化、情報技術化、経済のグローバル化の時代に求められる人間の社会と文化についての学際的な教育研究を行うこと、および自立した思考力によって現実の社会と文化に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行うことを目的とする。」と変更し、ヒト、モノ、情報が国境を超えて複雑に絡み合う現代社会の多様な課題の解決に貢献し、より良い共生社会の実現に寄与できる人間の育成に変更することとした。社会背景・政策からグローバルな視野を持った人材需要は今後も一定数見込まれるものの、募集状況を鑑みて収容定員をダウンサイズする計画である。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

『リクルート進学総研』が公表している「マーケットリポート2023」では、日本全国の18歳人口は、本学が収容定員を変更する2025年の109万人から2035年で97万人へと12万人が減少すると予測されており、2025年の18歳人口を100%としたときに2035年は89.0%となり11.0%の減少率となる。(資料5、6) 本学が所在している近畿及び京都府では、近畿で2025年の18万人から2035年には16万人となり、2万人の減少が予測されており、これは11.8%の減少率となる。京都府では2025年の2万2千人から2035年で1万9千人となり3千500人の減少と予測されており、15.5%の減少率となる。(資料7) これらのことから、近畿は全国の減少率と大差はないが、京都府は少し早いペースで18歳人口が減少していることが分かる。

次に、京都府の大学進学率および自県への進学率と、京都府の大学への他都道府県か

らの流入数を見たところ、大学進学率は2014年から2023年までの10年間を平均すると、全国51.2%、近畿56.5%、京都府62.8%となっており、全国の中でも京都府は突出して大学進学率が高くなっている。また、自県への進学率を表す地元残留率では、同じく10年間の平均をみると全国44.2%、近畿46.3%、京都府51.2%となり、全国平均に比べて高い水準になっている。(資料8)最後に、京都府の大学への他都道府県からの流入数は、2022年度の学校基本統計で流入超過となっている都道府県は9都府県になり、京都府は東京都に次いで2番目に流入超過が多い都道府県となっている。(資料9)

これらの状況から、全国と同様に地域の18歳人口は減少傾向であるものの、大学進学率・自県進学率や他都道府県からの流入数により、京都府の大学への進学者数は一定数維持される見込みであることから、京都府に所在する本学は学生確保の面で地理的な優位性があると思われる。

また、今回収容定員を変更する学科では、2024年5月1日時点の在籍学生数のうち芸術学部造形学科で124名(25.3%)、デザイン学部イラスト学科で55名(7.9%)、デザイン学部ビジュアルデザイン学科で45名(14.9%)、デザイン学部プロダクトデザイン学科で78名(27.3%)、マンガ学部マンガ学科で472名(47.0%)、マンガ学部アニメーション学科で170名(54.0%)、メディア表現学部メディア表現学科で55名(7.9%)、国際文化学部人文学科で35名(9.3%)、国際文化学部グローバルスタディーズ学科で14名(12.7%)が外国人留学生であり、大学全体の28.8%となっている。主な出身地域としては中国、韓国の外国人留学生が大半を占めている。(資料10)

本学の外国人留学生の中でも大半を占めている中国・韓国の日本への留学生数は、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が発表している「外国人留学生在籍状況調査結果」によると、平成25年(2013年)から令和4年(2022年)までの10年間で平均すると中国が105,551人、韓国が15,664名とあり、コロナ禍以降留学生数は減少したが、継続して日本への留学を目指す者が一定数いると思われる。(資料11)令和5年(2023年)4月27日に教育未来創造会議が提言した「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(第二次提言)では、外国人留学生の受け入れとして、高い志を有する優秀な外国人留学生の戦略的受入を推進。その際、多様な文化的背景に基づいた価値観を学び理解し合う環境創出のために受入地域についてさらなる多様化を図るとともに、大学院段階の受入に加え、留学生比率の低い学部段階や高校段階における留学生の受入を促進するとあり、具体的には2033年までに40万人の外国人留学生を受入れ、定着させる目標を立てている。(資料12)

以上のようなことから、今後も留学生数が増加する可能性が高く、我が国にも影響が及ぶものと思われる。前述の国内における18歳人口(大学進学者)の地理的優位性に加えて、ターゲットとしている留学生の増加見込みからも増加後の収容定員を充足できると考える。

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学における出身高校の所在地県別入学者数の直近5年平均は、(資料13)の通りとなっており、上位5地域は順に、京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県である。この状況は、(資料14)で示している収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況における出身高校の所在地県別の入学者数の構成比(上位5都道府県、直近年度)と等しくなっており、収容定員を変更する組織における学生募集地域は妥当であると考えられる。

また、外国人留学生における直近5年間の入学者を国籍別で算出した(資料15)では、中国、韓国からの入学者が突出しており、(資料10)で示した通りこの2か国の日本への留学者数の推移から見ても、中国、韓国を軸とした外国人留学生の募集設定には合理性があると考えられる。

④既設組織の定員充足の状況

収容定員を変更する学部・学科における直近5年間の入学定員の充足状況は(資料16-1から16-9)に記載の通りである。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の平均志願者数を、必要な合格者数で割って算出した志願倍率の予測値は、(資料17)で示した通りである。造形学科、イラスト学科、ビジュアルデザイン学科、プロダクトデザイン学科、マンガ学科、アニメーション学科、メディア表現学科は1倍以上となっており、入学定員を充足できる見込みである。

しかし、上記と同じ条件で算出した人文学科、グローバルスタディーズ学科の志願倍率は人文学科0.65倍、グローバルスタディーズ学科0.67倍であり、直近5年間の平均志願者数をベースにすれば入学定員の充足は厳しくなることが予想される。

国際文化学部人文学科およびグローバルスタディーズ学科は収容定員充足率が0.7倍未満の学科であり、定員未充足の要因としては(2)の①イでも説明した通り、開設前年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により本学の重点カリキュラムであるフィールドワークプログラムが数年間は当初計画通りに実施ができなかったことにより重点カリキュラムを中心とした授業運営ができなかったことが主たる要因である。他には、コロナ以降の世界情勢は、人々が営む社会全体で広範にわたって多面的な影響を与えられている。そのような予測困難な社会で深刻化する自然災害や科学技術の国際競争力低下などの新たな社会的課題や、次代を担う人材に関する課題を解決するためには自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた多様な「知」の創造が求められている。こうした現在の募集状況と、人文科学系への社会的ニーズに応えるために学科の収容定員を適正な規模に変更する。

具体的な定員設定としては、人文学科では160人の入学定員から138人へと22人の減少となり、グローバルスタディーズ学科では現状の90人の入学定員から45人へと半減する計画であるが、収容定員の変更だけでなく、学則上の育成する人材像にも変更

を加え、2021年度の開設から完成年次を迎える4年間に顕在化した課題を解決する。人文学科では、歴史・文化都市である京都の立地を活かしながら歴史、文学、社会を研究対象として学びを深め、広く、かつ深く人間とその営みについて理解を進めていくこととし、グローバルスタディーズ学科は、これまで育成する人材像にはアジア・アフリカという一定の地域を学びの場として重視していたが、グローバルの視点を特定の地域だけではなく世界全体と捉え、より広い視野から世界と日本の関わりを文化や社会の視点から多角的に捉えていく。また近年、国内外で日本語を学ぶ外国人留学生が増加する一方で、日本語教師の不足と、日本語教育の質の保証が課題となっている。これらの状況を鑑み、資格取得指向の志願者へ訴求すると共に、卒業後の進路の確保を目指すため、グローバルスタディーズ学科へ登録日本語教員養成課程の設置を検討している。

以上のことから、本学の今後の定員充足の見通しについて、芸術系学部では前述の通り直近5年間の平均志願者数を、必要な合格者数で割って算出した志願倍率の予測値をシミュレーションした結果、全学科で1倍を超えていることから入学定員の充足が見込めると考えている。一方、国際文化学部の人文学科、グローバルスタディーズ学科の2学科では、入学定員を満たすために必要な合格者の確保は厳しい状況ではあるが、人材育成像をより社会、学生のニーズに合わせた内容へと修正したうえで、教育課程の改善を行うことで、同学部の入学定員の充足を図る。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア) 既設組織における取組とその目標

定員を変更する組織における学生募集のためのPR活動については、(資料18)「既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績」に主要な取り組みを挙げる。全学で実施するオープンキャンパスには、2023年度入試対象の回は4,833名、2024年度は4,351名が参加した。参加者のうちからは、2024年度入試では、1,526人(55.03%)が受験し、664人(23.95%)が入学した。

資料請求者に対するDM等の郵送も、2023年度入試対象者には、22,391件、2024年度24,054件に発送するなどして、積極的に行なった。DM発送者のうちからは、2024年度入試では、1,526人(7.60%)が受験し、901人(4.49%)が入学した。

高校や特設会場で実施するガイダンス、入試説明会は、2024年度入試対象の回はのべ11,266人が参加し、1,818人(46.45%)が受験し、722人(18.45%)が入学した。

加えて、2020年から実施している高校生向け作品コンペティション「セイカアワード」には、2023年には960件、2024年には974件の作品の応募があった。2024年度入試におけるコンペ応募者からの受験者は30人、入学者は24人であり、受験

者に占める入学率も高い（80%）。本取組みでは、全国の高校や画塾 6,718 校にポスター等を送付して、本学の認知度向上を図っている。

イ) 収容定員を変更する組織における取組とその目標

収容定員を変更する組織における学生募集のための PR 活動について、2025 年度入試対策としては、以下のような計画がある。

表 2 収容定員を変更する組織の学生募集のための PR 活動の実施計画

取組名	方針および戦略	実施計画	目標
【イベント】オープンキャンパスの開催	高校生の本学への志願意欲を高め、ステークホルダーへ情報提供するために、年間 5 回、7 日間のオープンキャンパスを開催する。 開催情報の告知は、本学ウェブサイト上の専用ページ、1 年分の日程を記載したポスター・チラシの配布、開催回ごとの告知はがきを、接触者リストと高校へ郵送するなどして行なう	4、6、8、10 月、2 月（5 回、8 月と 2 月は 2 日間）	・参加者数
【営業】学外説明会（高校内・会場型ガイダンス）への参画	大学の認知度向上、志願者増加等を目的に、学外での説明会に参画する。 業者が主催する高校生向けガイダンスは、会場型への参加は近畿圏内を基本とし、四国、九州、東海等も検討。分野別企画は他大学参加状況や過去の来場者実績を参考に検討する。 高校内説明会は、予算と本学への進学実績、高校の分野系統に基づき対象を選定する	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	・接触者数 ・オープンキャンパス参加者数
【イベント】オンラインイベントの開催	高校生の本学への興味を高める、不安を解消する、遠方に在住するステークホルダーへの情報提供等を目的に、オンラインイベントを開催する。 また、計画的に告知を実施する。	①6 月留学生 ②7 月総合型入試 ③夏前学科別説明会 ③8 月総合型入試 ④10 月推薦入試 ⑤1 月一般入試	・実施回数 ・参加者数
【大学認知拡大】高校生向け作品コンペ「セイカアワードの実施」	高校教員、高校生への本学への認知度を高めるために、高校生対象コンペティション「セイカアワード」を開催する。チラシ・ポスターの配布、入選作品展、表彰式などを通じて、広く広報する。	募集活動 8 月以降 募集受付 1 月 作品展 3 月	・チラシ、ポスターの配布数 ・高校訪問校数 ・作品応募点数 ・展覧会来場者数
【情報発信】大学ウェブサイトの運営、SNS の更新	ウェブサイトを随時更新し、本学の教育研究内容について効果的、効率的に情報発信する。SNS を計画的に更新する（Facebook、Twitter、Instagram、note、LINE）。教育研究内容に加え、大学の日常や学生の様子なども伝える	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	・ホームページアクセス数 ・資料請求者数 ・SNS 更新回数

【情報発信】 「大学案内」冊子の制作と郵送	本学の特色を説明する大学案内冊子を制作し、受験生、高校・団体へ計画的に配布する	2024年9月～ 2025年2月	・制作部数 ・配布件数
【広告】進学媒体への広告出稿	資料請求を促し、オープンキャンパス集客、志願者増加を目的に、計画的な広告出稿を行なう。進学メディアへの広告出稿、業者に偏りなく出稿、ガイダンスとの関連性も考慮する。特別連企画やターゲティングしたメッセージ配信にも参画、留学生対象媒体も対象とする	2024年4月～ 2025年3月	・出稿数 ・資料請求者数
【広告】進学媒体以外への広告出稿	資料請求を促し、オープンキャンパス集客、志願者増加を目的に、計画的な広告出稿を行なう。交通広告、高校生をターゲットに含んだ雑誌等への広告出稿、協賛広告（地域の運動会や地図、高校の展覧会や文化祭、教員やPBL連携先企業や自治体の係るプロジェクトへの協賛）、SNSへの動画広告出稿など、幅広く展開する	2024年4月～ 2025年3月	・出稿数 ・資料請求者数
【営業】高校訪問の実施	対象高校について、3期に分けて年に3回訪問し、高校教員に対し本学の情報提供を行う。出身学生の学修状況を報告すると共に、高校の取り組み等についてもヒアリングし、今後のPR活動に反映する。	2024年4月～ 2025年3月（年3回）	・高校訪問数
【営業・高大連携】高大連携活動の実施	大学の認知度向上、志願者増加、高校との関係構築、協定校からの志願者増などを目的に、本学教員が高校か本学キャンパスにて模擬授業を実施する。特別協定校への、オープンキャンパス用パスの手配、美術系高校の制作展への営業、高校教員対象説明会を等も開催する。	2024年4月～ 2025年3月	・実施回数
【営業】留学生を対象としたPR活動	日本語学校教員への情報提供、留学生志願者増加を目的に、日本語学校訪問、日本語学校教職員対象説明会などを実施する。また、留学生対象ガイダンス（国内・国外）へブース出展する。	2024年4月～ 2025年3月	・訪問数 ・参画数
【広告】国際文化学部の特化した募集施策	国際文化学部の志願者増加のため、業者発行の媒体への出稿や、特別連企画、ターゲティングしたメッセージ配信等へ参画する	2024年4月～ 2025年3月	・参画数
【広告】デザイン学部の特化した募集施策	デザイン学部内の各学科の認知度を上げるためのメディアへの広告出稿を行う。理系強化の時勢に対応すべく、プロダクトデザイン学科、建築学科の認知度向上に注力する。	2024年4月～ 2025年3月	・参画数
【広告】メディア表現学部の特化した募集施策	メディア表現学部の募集力強化のため、ガイダンス業者を利用した資料配布企画への参画、進学メディアの「情報」「メディア」分野への広告出稿、SNSへの広告動画配信などを実施する。	2024年4月～ 2025年3月	・参画数

ウ) 当該取組の実績の分析結果に基づき、収容定員を変更する組織収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

(資料18)の「取組概要と入学者数等に関する分析」に記載した通り、2023年度入試、2024年度入試の実績に基づき、入学者数の見込み数を試算した。入試広報施策については年々人的資源と経費を投入し、重点化を図っている。このことに基づき、各取組みにおける入学者数について、2023年度から2024年度への増加率が、2025年度に対しても同様に見込めた場合の入学者数と、昨年度と同数であった場合の数値とを見比べた(2023年度データの無いものについては2024年度数値を見込数とした)。

以上の分析の結果と、イにおける各PR活動を展開することにより、2025年度入試においても十分に入学者が確保できると考える。

②競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア) 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

《競合校の選定理由》

学校種の類似性、定員規模の類似性、学問分野の類似性等の観点から各学部の競合校を以下のとおり選定した。類似性の高さに加えて、自学の入学者が併願校として受験した実績があることから、競合校として適切であると考ええる。

【1】芸術学部

収容定員変更 (1) 造形学科

京都芸術大学芸術学部

大阪芸術大学芸術学部

【2】デザイン学部

収容定員変更 (2) イラスト学科 (3) ビジュアルデザイン学科

(4) プロダクトデザイン学科

京都芸術大学芸術学部

大阪芸術大学芸術学部

【3】マンガ学部

収容定員変更 (5) マンガ学科 (6) アニメーション学科

京都芸術大学芸術学部

大阪芸術大学芸術学部

【4】メディア表現学部

収容定員変更 (7) メディア表現学科

同志社女子大学 学芸学部 (メディア創造学科)

大阪電気通信大学 総合情報学部 (ゲーム&メディア学科、デジタルゲーム学科、情報学科)

【5】国際文化学部

収容定員変更 (8) 人文学科

大谷大学 文学部 歴史学科

大谷大学 文学部 文学科

京都橘大学 文学部 日本語日本文学科

京都橘大学 文学部 歴史学科

収容定員変更 (9) グローバルスタディーズ学科

大谷大学 国際学部 国際文化学科

京都橘大学 国際英語学部 国際英語学科

《競合校との比較分析》

前述した競合校と比較した際の各学部の優位性について、以下のとおり記述する。

芸術学部／デザイン学部／マンガ学部 に関する比較分析

京都精華大学芸術学部／デザイン学部／マンガ学部については、京都芸術大学芸術学部と大阪芸術大学芸術学部を競合校と定め、比較分析を行った。

◆ 教育内容と方法

【1】芸術学部

芸術学部は、多様な表現と素材に触れることが基幹となる美術造形の領域において、7つの専攻を有する。競合する京都芸術大学芸術学部美術工芸学科（7コース）、大阪芸術大学芸術学部 美術学科（4コース）と比べても、学べる表現は遜色無い。1年次には、7つの分野から最大4つを履修可能なメチエ科

目、共同制作で表現者としての基礎力を養う体幹科目を配置し、2年次で専攻に分属する独自のカリキュラム、潤沢な実習スペースにも定評がある。

【2】デザイン学部

デザイン学部の特長は、教員に現役のデザイナー、クリエイター、建築家を多数有すること、プレゼンテーション力やコミュニケーション力の養成、豊富な産学連携プログラム等を通じて、社会課題への対応力を持った人材を育成することなどが挙げられる。学内に人文系の専攻があり、好影響を与え合える点や、伝統産業の工房・企業に2週間弟子入りする「京都の伝統産業演習／実習」なども本学独自の特長である。

【3】マンガ学部

日本で初めて大学でマンガ教育を開始し、2000年の学科開設、2006年の学部開設、2010年の研究科、2012年の博士後期課程開設と、本学は、日本の大学におけるマンガ教育の先駆者である。長年の実績に支えられたカリキュラムは国内のみならず留学生にも高いブランド力がある。京都市と運営する京都国際マンガミュージアム（中京区）、マンガの国際的な研究機関である国際マンガ研究センターの取組みも高い評価を得ている。

[芸術学部／デザイン学部／マンガ学部 共通の項目]

◆ 入学試験

入試は、京都芸術大学が2024年9月～2025年1月の間に4種別・8回、大阪芸術大学が2024年9月～2025年3月の間に3種別・6回実施しているのに対し、本学は2024年9月～2025年3月の間に5種別9回の試験を予定している。各入試の入学手続締切日も支障無く設定されている（各大学入試要項調べ）。

◆ 経済面

初年度納入金については本学1,800,000円、京都芸術大学1,890,000円、大阪芸術大学1,790,000円であり、平均的である。大学が独自に設ける奨学金制度・就学支援制度は、本学では12件、京都芸術大学1件、大阪芸術大学7件と、大差をつけて上回っている。

◆ 就職支援の内容・取得できる資格

進路指導についてはクリエイティブ職を対象とした就職支援に注力しており、作家指向の強い学生も支援している。取得できる資格は、中学校・高等学校教諭一種、学芸員、司書と、競合校と同様である。

◆ その他

海外協定校も 24 校と、京都芸術大学の 22 校、大阪芸術大学の 12 校と比べてもっとも多い。

また、幹線駅の京都駅から 30 分というアクセスの良さも、京都芸術大学は 50 分、大阪芸術大学は大阪駅から 50 分に対して、利便性でも上回っている（各大学 Web サイト調べ）。

以上のような比較結果に基づき、芸術学部／デザイン学部／マンガ学部は競合校の類似の専攻に対して優位であると言える、と考える。

メディア表現学部 に関する比較分析

【4】メディア表現学部

京都精華大学芸術学部メディア表現学部については、同志社女子大学学芸学部メディア創造学科、大阪電気通信大学総合情報学部を競合校と定め、比較分析を行った。

◆ 教育内容と方法

京都精華大学のメディア表現学部は、1 年次に基礎的な知識や技術を横断的に学び、2 年次にメディアイノベーション（UI/UX・IoT）、メディアデザイン（映像・デザイン）、メディアコミュニケーション（企画）、音楽メディア（音楽）の各専攻に分かれる。プログラミング科目を必修とし、課題解決や表現を実現するための知識や技術の修得も重視している。また、社会との関わりを重視し、企業や自治体との連携授業、プロジェクト型の授業も豊富に配置し、メディアを活用して社会に「新しい価値観」を提案できる人材の育成を目指している。技術者やクリエイターにとどまらない育成人材像は、競合校のみならず、近年急増するメディア表現、情報学系の専攻の中でも独自性を示していると言える。

◆ 入学試験

大阪電気通信大学が 2024 年入試において 5 種別 11 回実施実績があり、同志社女子大学が 2024 年 9 月～2025 年 3 月の間に 5 種別 9 回実施する予定であることに對し、本学は 2024 年 9 月～2025 年 3 月の間に 5 種別 9 回の試験を予定している。各入試の入学手続締切日も支障無く設定されている。（各大学入試要項調べ）。

◆ 経済面

初年度納入金については本学 1,436,000 円、大阪電気通信大学 1,572,000 円、同志社女子大学 1,467,000 円であり、最も低額である。大学が独自に設ける奨学金制度・就学支援制度は、本学では 12 件、大阪電気通信大学 5 件、同志社女子大学 56 件であり、十分に手厚いと言える。

◆ 就職支援の内容・取得できる資格

進路指導についてはクリエイティブ職を対象とした就職支援に注力しており、作家指向の強い学生も支援している。

取得できる資格は、大阪電気通信大学は、上級情報処理士、情報処理士、ウェブデザイン実務士、プレゼンテーション実務士、[情報学科のみ] 中学校教諭（情報）一種、高等学校教諭（情報）一種、高等学校教諭（数学）一種、同志社女子大学は、高等学校教諭（情報）一種、学校図書館司書教諭一種（資格）、司書（資格）、学芸員（資格）、社会福祉主事（資格）上級情報処理士、ウェブデザイン実務士、である。比較して本学は、高等学校教諭一種（情報）、学芸員、司書の資格は同様に取得可能である。

以上のような比較結果に基づき、メディア表現学部は競合校の類似の専攻に対して、優位であると言える、と考える。

国際文化学部（8）人文学科（9）グローバルスタディーズ学科に関する比較分析

【5】国際文化学部

京都精華大学国際文化学部については、（8）人文学科の競合校を大谷大学文学部歴史学科、文学科、京都橘大学文学部日本語日本文学科、歴史学科（9）グローバルスタディーズ学科の競合校を大谷大学国際学部国際文化学科、京都橘大学国際英語学部国際英語学科と定め、比較分析を行った。

（8）人文学科

◆ 教育内容と方法

国際文化学部人文学科では、歴史専攻では、日本の古代・中世・近世・近代の歴史研究を通じ、地域史、社会史、民衆史の視点から日本の歴史を理解する。文学専攻では、上代・中古・中世・近世・近代と広く日本文学の研究を進め、また比較や批評を通じて国際的な視野からも日本の文学を考察する。社会専攻では、現代社会の諸課題について、社会学の理論や方法について歴史的背景ともに学ぶ。学びの特長は、国内外の諸地域を対象としたフィ

ールドワークであり、体験的な学修を通して汎用性の高い思考力と行動力を養う。芸術系の学部と併設されている点も競合校には無い特色である。

(9) グローバルスタディーズ学科

◆ 教育内容と方法

国際文化学部グローバルスタディーズ学科は、国や地域、文化背景や価値観の違いを超え、文化で世界をつなぐ人材の育成を目指す。2025年度に専攻を国際文化専攻、国際日本学専攻に再編、国際文化専攻は海外でのフィールドワークも行いながら、世界の課題を知り、変革し共生していくための実践的な英語力と行動力を修得する。国際日本学専攻ではマンガやアニメ、ゲームや音楽、映画など広く日本の文化を扱い、日本語への理解を深化し、視野を広げる。また、英語の教員免許取得、日本語教師資格の取得が可能となる。独自の英語強化プログラム、最長1年まで延長可能な、長期フィールドワークなど、カリキュラムの特色も強化する。全国的にも数値の高い留学生在籍率（12.7パーセント、2024年5月1日実績）、芸術、デザイン、マンガ、メディア表現の4学部の学生と共に学ぶキャンパスの環境は、カルチャー志向の高い学生に、さらに豊かな文化体験を提供すると考えられ、競合校には無い魅力であると言える。

[国際文化学部 共通の項目]

◆ 入学試験

大谷大学が2024年9月～2025年2月の間に5種別8回、京都橘大学が2024年9月～2025年3月の間に4種別8回実施予定であることに対し、本学は2024年9月～2025年3月の間に5種別9回の試験を予定している。各入試の入学手続締切日も支障無く設定されている（各大学入試要項調べ）。

◆ 経済面

初年度納入金については本学1,336,000円、大谷大学1,228,000円（歴史学、文学）、1,228,000円（国際文化）、京都橘大学1,194,000円（日本語日本文学、歴史）、1,209,000円（国際英語）であり、本学がやや高値を示しているものの、平均的である。大学が独自に設ける奨学金制度・就学支援制度は、本学では12件、大谷大学12件、京都橘大学12件と同様である。

◆ 就職支援の内容・取得できる資格

2024年3月時点での、人文学部（国際文化学部の前身）の就職率は、97.8%であり、高値を示している。また、本学は、キャリア支援体制強化の一環とし

て、2023年度に独自の支援施設「キャリアパーク」を新設した。ライブラリー、セミナースペース、進路・就職相談用サロンなどの機能を有し、学生が常時立ち寄ることができる場となっている。取得できる資格は、本学が中高一種（国際日本学は対象外）、学芸員、司書、日本語教員（国際日本学のみ）であるのに対し、大谷大学は、中高一種、学芸員、司書、社会教育主事任用資格、社会福祉主事任用資格、真宗大谷派教師、京都橘大学は、中高一種、学芸員、司書、社会教育主事任用資格（国際英語は対象外）、学校図書館司書教諭、日本語教員であり、比べて遜色は無い。

以上のような比較結果に基づき、国際文化学部は競合校の類似の専攻に対して、同様の水準を示していると考えらる。

イ) 競合校の入学志願動向等

各学部の競合校として選定した他大学の過去3年間の入学志願状況と、各学部の定員充足の見込について以下のとおり記述する。

・芸術学部

(1) 造形学科

[競合校]

京都芸術大学芸術学部 美術工芸学科

大阪芸術大学芸術学部 美術学科

(資料19)において、競合校の類似学科における過去3年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、本学、競合校共に、過去3年間いずれの学科も定員充足率は100パーセントを超え、3校の合計値から算出した定員充足率の平均値も同様であった。よって、定員を変更する学科は定員を充足する見込みであると言える。

・デザイン学部

(2) イラスト学科

(3) ビジュアルデザイン学科

(4) プロダクトデザイン学科

[競合校]

京都芸術大学芸術学部 情報デザイン学科、プロダクトデザイン学科

大阪芸術大学芸術学部 デザイン学科

(資料 19) において、競合校の類似学科における過去 3 年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、本学、競合校共に、一部の学科を除き、過去 3 年間の定員充足率は概ね 100 パーセントを超え、3 校の合計値から算出した定員充足率の平均値は 100 パーセントを超えた。よって、定員を変更する学科は定員を充足する見込みであると言える。

・マンガ学部

(5) マンガ学科

(6) アニメーション学科

[競合校]

京都芸術大学芸術学部 マンガ学科、キャラクターデザイン学科、

大阪芸術大学芸術学部 キャラクター造形学科

(資料 19) において、競合校の類似学科における過去 3 年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、本学、競合校共に、一部の学科を除き、過去 3 年間の定員充足率は概ね 100 パーセントを超え、3 校の合計値から算出した定員充足率の平均値は 100 パーセントを超えた。よって、定員を変更する学科は定員を充足する見込みであると言える。

・メディア表現学部

(7) メディア表現学科

[競合校]

同志社女子大学 学芸学部 メディア創造学科

大阪電気通信大学 総合情報学部 ゲーム&メディア学科、デジタルゲーム学科、情報学科

(資料 20) において、競合校の類似学科における過去 3 年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、本学、競合校共に、一部の学科を除き、過去 3 年間の定員充足率は概ね 100 パーセントを超え、3 校の合計値から算出した定員充足率の平均値は 100 パーセントを超えた。よって、定員を変更する学科は定員を充足する見込みであると言える。

・国際文化学部

(8) 人文学科

[競合校]

大谷大学 文学部 歴史学科

大谷大学 文学部 文学科
京都橘大学 文学部 日本語日本文学科
京都橘大学 文学部 歴史学科

(資料 21) において、競合校の類似学科における過去 3 年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、競合校においては、一部の学科を除き、過去 3 年間、概ね定員は充足していると言える。本学の定員充足率は低値を示しているが、「学則の変更の趣旨等を記載した書類」や (3) 学生確保の見通し①のイで述べた通り教育改善を図り、学生募集施策を重点化する。また、今回当該学部の定員を削減する措置を取ることで定員の適正化を図るため、充足率は改善傾向に向かう見込みであると言える。

(9) グローバルスタディーズ学科
[競合校]
大谷大学 国際学部 国際文化学科
京都橘大学 国際英語学部 国際英語学科

(資料 21) において、競合校の類似学科における過去 3 年間の入学志願状況との分析比較を行った。入学志願状況は、競合校においては、一部の学科を除き、過去 3 年間、概ね定員は充足していると言える。本学の定員充足率は低値を示しているが、「学則の変更の趣旨等を記載した書類」や (3) 学生確保の見通し①のイで述べた通り教育改善を図り、学生募集施策を重点化する。

また、今回当該学部の定員を削減する措置を取ることで定員の適正化を図るため、充足率は改善傾向に向かう見込みであると言える。

ウ) 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等 (競合校定員未充足の場合のみ)

該当しないため省略

エ) 学生納付金等の金額設定の理由

本学の学納金は、入学金 20 万円、学費等 108 万 6 千円～157 万 9 千円を設定している。(資料 22) に示す通り、各競合大学の現時点での設定額、入学金 20 万円 (京都橘大学) ～28 万円 (大阪芸術大学)、学費等 99 万 4 千円 (京都橘大学) ～167 万円 (京都芸術大学) の範囲内に設定している。

また、(資料 23) 「令和 5 年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額 (定員 1 人当たり)」(文部科学省「私立大学等の令和 5 年度入学者に係る学生納付金等調

査結果について」／「(資料1) 令和5年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」から抜粋)では、文・教育系について入学料の平均額が223,686円、初年度納付金の平均額が1,211,021円、芸術系については入学料の平均額が239,945円、初年度納付金の平均額が1,641,446円であり、全国的平均値に照らしても妥当であると考えられる。

③先行事例分析

該当しないため省略

④学生確保に関するアンケート調査

収容定員変更に係る学則変更の届出のため省略

⑤人材需要に関するアンケート調査等

収容定員を変更する組織で養成する人材像は「(1) 収容定員を変更する組織の概要 ②収容定員を変更する組織の特色」で説明しており、その人材需要については「(2) 人材需要の社会的な動向等 ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析」で説明している通りである。また、本学の直近3年の就職希望者に対する就職率(希望者就職率)は、(資料24)に記載の通りである。「(2) 人材需要の社会的な動向等 ②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析および③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域」でも説明した通り、本学には多数の留学生が在籍している。そんな中、芸術系学部での就職率は90%を超える数値となっている。国際文化学部については2021年に開設したことにより未だ就職実績はないが、前身となる人文学部の就職率は芸術系学部と同じく90%を超えている。これらことから、収容定員を変更する組織で養成される人材は、社会において需要があると見込まれる。

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

この度の入学定員及び収容定員変更は、志願者状況および入学者の現状に即すものであり、学科間の入学定員充足率の不均衡を解消し、大学全体として教育の質的充実を実現すること目的としている。「(2) 人材需要の社会的な動向等 ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析」で示したとおり、芸術系学部では(資料1、資料2、資料3)から文化・芸術業界を支える次世代の社会を担うクリエイティブな人材へのニーズは高まっている。また、人文・社会学系である国際文化学部では、入学定員および収容定員は充足できていない現状ではあるものの、社会背景や政策からグローバルな視野を持った人材需要は今後も一定数見込まれる。これらを勘案

した結果、全学的な入学定員の見直しとして、国際文化学部 の 2 学科の入学定員を減少させ、多くの志願者が集まり入学定員を満たしている芸術系学部へと定員を移行させることは合理性があると考えられる。

学生の確保の見通し等を記載した書類（別添資料）

目次

【資料 1】「文化芸術推進基本計画」	2
【資料 2】「文化芸術推進基本計画 関連データ集」	3
【資料 3】「京都府総合計画」	4
【資料 4】「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」	6
【資料 5】「18 歳人口予測」	7
【資料 6】「全国および各地域別の 18 歳人口予測と指数」	8
【資料 7】「近畿地区の 18 歳人口予測および指数」	9
【資料 8】「全国および各地域別と近畿地区の大学進学率」	10
【資料 9】「中央教育審議会 第 137 回 参考資料集」	11
【資料 10】「本学に在籍している外国人留学生の出身地」	12
【資料 11】「中国、韓国から日本への留学生数」	13
【資料 12】「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」	14
【資料 13】「本学の出身高校の所在地県別入学者数」	15
【資料 14】「新設組織が置かれる都道府県への入学状況」	16
【資料 15】「本学の直近 5 年間の外国人留学生における入学者数」	17
【資料 16】「既設学科等の入学定員の充足状況」	18
【資料 17】「各学科の志願倍率の予測値」	27
【資料 18】「既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績」	28
【資料 19】「2022～2024 年度 芸術・デザイン・マンガ系分野を有する近隣大学の志望者動向調査」	29
【資料 20】「2022～2024 年度 メディア表現学科に近い分野を有する近隣大学の志望者動向調査」	30
【資料 21】「2022～2024 年度 人文系分野を有する近隣大学の志望者動向調査」	31
【資料 22】「競合校との学納金比較」	32
【資料 23】「令和 5 年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額」	33

【資料 1】

第 3：文化芸術政策の中長期目標

○中長期目標：「文化芸術基本法」に基づき策定された第 1 期計画の中で掲げられている「目標」を基本的に踏襲

中長期目標① 文化芸術の創造・発展・継承と教育・参加機会の提供

文化芸術の創造・発展、次世代への継承が確実に進められ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていることを目指す。

中長期目標② 創造的で活力ある社会の形成

文化芸術に効果的な投資が行われ、イノベーションが生まれるとともに、文化芸術の国際交流・発信を通じて国家ブランドの形成に貢献し、創造的で活力ある社会が形成されていることを目指す。

中長期目標③ 心豊かで多様性のある社会の形成

あらゆる人々が文化芸術を通して社会に参画し相互理解が広がり、多様な価値観が尊重され、心豊かな社会が形成されていることを目指す。

中長期目標④ 持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティの形成

地域の文化芸術を推進するためのプラットフォームが全国各地に形成され、多様な人材や文化芸術団体・諸機関が連携・協働し、持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティが形成されていることを目指す。

第 4：第 2 期計画における重点取組及び施策群

1. 第 2 期計画における重点取組：心豊かで活力ある社会を形成するため「文化芸術と経済の好循環」を実現すべく 7 つの重点取組を推進

重点取組		主な取組例
1	ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術水準の向上 文化芸術分野の活動基盤強化 文化芸術団体等の自律的・持続的な発展に資する支援の実施 文化芸術創造エコシステムの確立 我が国のアートの持続的発展の推進 映画・マンガ・アニメーション・ゲーム等のメディア芸術の振興 ナショナルセンターとしての国立文化施設の機能強化 文化施設の運営等における PPP/PFI 活用等による官民連携の促進
2	文化資源の保存と活用の一層の促進	<ul style="list-style-type: none"> 「文化財の匠プロジェクト」の着実な推進 文化財の保存に関する集中的な取組 我が国固有の伝統芸能をはじめとする無形の文化財の保存・活用 地域の伝統行事等の振興と次世代への着実な継承 近現代建築の保存・活用の推進等による建築文化の振興
3	文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校における文化芸術教育の充実・改善と我が国の伝統文化の継承 子供たちが、文化芸術・伝統芸能等の本物に触れることができる鑑賞・体験機会の確保 文化部活動の円滑な地域連携・移行の促進
4	多様性を尊重した文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> 性別、年齢、障害の有無や国籍等にかかわらず活動できる環境の整備 共生社会の実現に向けた障害者等による文化芸術活動への参画の促進 外国人に対する日本語教育の水準の維持向上による、日常生活及び社会生活を円滑に営むことができる環境整備 文化芸術活動の推進に当たっての多様な財源の確保方策の促進
5	文化芸術のグローバル展開の加速	<ul style="list-style-type: none"> トップアーティスト等のグローバルな活動の支援を含む戦略的な文化芸術の海外発信 「日本博 2.0」の推進をはじめとする世界中の人々を惹きつける開かれた文化芸術の拠点形成に向けた環境づくり CBX[®]による海外展開の推進 世界の様々な国や地域を対象とした国際的な文化交流の充実 気候変動や持続可能な開発といった地球規模の課題への文化芸術政策としての対応
6	文化芸術を通じた地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全国の博物館・美術館等の機能強化・設備整備の促進 全国の劇場・音楽堂等の機能強化・設備整備の促進 文化観光拠点・地域や「世界遺産」、「日本遺産」等の文化資源を最大限活用した文化観光の推進 地方における文化芸術公演の積極的な展開の支援 食文化をはじめとする生活文化の振興 地域における文化芸術振興を推進する人材の育成と体制の整備・構築 公共空間等のアーティスト等への開放
7	デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 急速に進化するデジタル技術を活用した文化芸術活動の推進 DX 時代に対応し、権利保護と利用の円滑化を踏まえた著作権制度・政策の推進によるコンテンツ創作の好循環の実現 文化芸術のデジタル・アーカイブ化の促進、デジタル技術を用いた文化財の保存・活用 文化芸術と科学技術をつなぐ研究開発の促進

※CBX:日本の文化芸術の国際発信強化とグローバル展開を、ビジネスの考え方を取り入れつつ効果的・戦略的に進める、変革を目指した取組

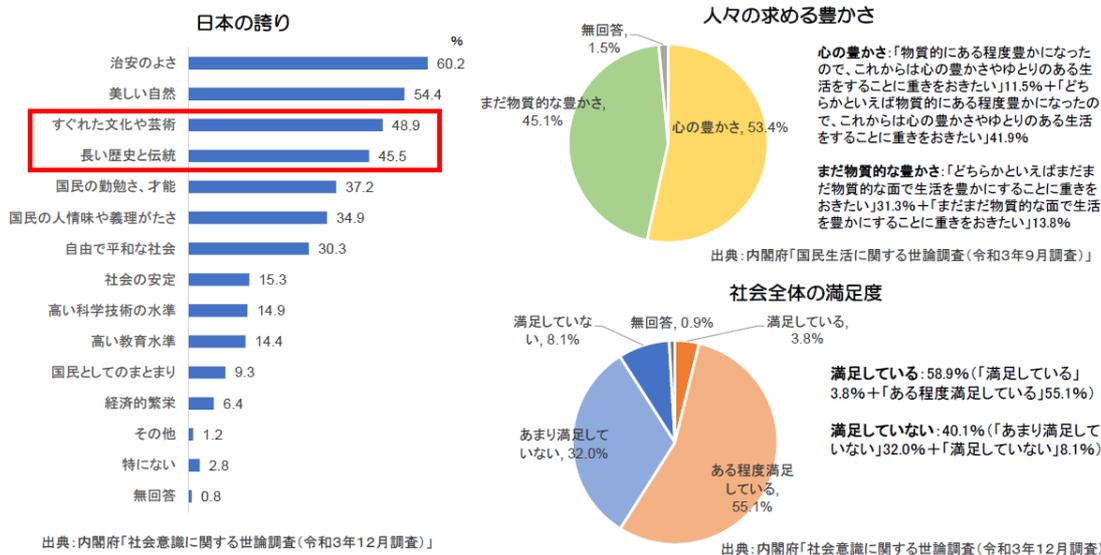
文化芸術推進基本計画（第 2 期）－価値創造と社会・経済の活性化－の概要より引用

【資料 2】

国民の意識



- ✓ 日本の国や国民について誇りに思うこととして、文化芸術に関することとしては、「すぐれた文化や芸術」(48.9%)、「長い歴史と伝統」(45.5%)との回答が上位。
- ✓ 国民の53.4%が「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」としている。
- ✓ 「現在の社会全体への満足度」に「満足している」「やや満足している」と回答する者の割合は令和3年度は58.9%となった。

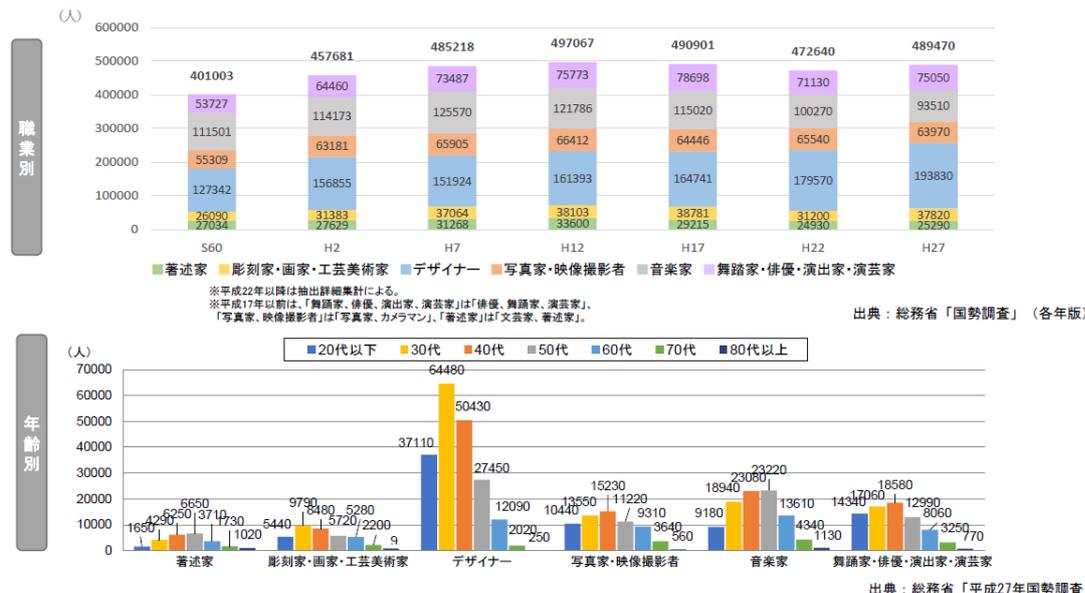


わが国の「芸術家」人口①（職業別、年齢別）



- ✓ 我が国の「芸術家」人口は増加傾向で推移していたが、平成17年調査時に微減に転じ、平成22年にさらに減少したあと、平成27年に約49万人となった。分野毎の年齢別人口をみると、概ね30代に最も多く分布している。

※「芸術家」とは、国勢調査において職業欄に「著述家」「彫刻家・画家・工芸美術家」「デザイナー」「写真家・映像撮影者」「音楽家」「個人教師（音楽）」「舞踏家・俳優・演出家・演芸家」「個人教師（舞踏、俳優、演出、演芸）」のいずれかに該当すると記入した人。個人教師は「音楽家」「舞踏家・俳優・演出家・演芸家」にそれぞれ合算。



文化芸術推進基本計画（第2期）関連データ集より引用

8つのビジョンと基盤整備

7 文化の力で世界に貢献する京都の実現

歴史に裏付けられた、伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様性と寛容性のある京都の文化を土台として京都から文化創造・発信を行い、多彩な交流を図ることで、活力とうるおいのある豊かな社会を築き上げ、世界に貢献する「文化の都・京都」を実現



将来構想

基本計画

地域振興計画

重点分野

文化庁の京都移転や大阪・関西万博開催の機会を捉えたオール京都での「文化の都・京都」の実現に向けた展開

主要な方策

- アニメ・映画・ゲーム等のメディア文化のコンテンツが揃う京都ならではの取組など、これまでの太秦メディアパークにおける取組等を土台として、更に京都発の新たなメディア文化等を世界へ発信することにより、文化の国際交流の舞台となる京都を志向
- 世界各国のコレクターの来京を促して「京都国際アートフェア」の評価を高め、日本を代表する現代アートフェア「Art Collaboration Japan (仮称)」へと進化させることで、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築
- プロやアマの音楽家をはじめ、音楽家を夢見る人々が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「ミュージックフュージョン」京都国際音楽祭(仮称)を開催
- 文化庁の京都移転を契機として、伝統芸能や舞台芸術、美術工芸等の様々な文化芸術を京都中で体験できる取組を集中的に開催
- 文化の活用による地域活性化をめざし、国とともに全国の自治体や関係団体による取組の発表や表彰を行う「全国地域文化活用サミット(仮称)」を開催
- 府内各地でのアーティスト作品の展示やパフォーマンスステージ、府民参加型の音楽祭等の幅広い展開による文化芸術の裾野の拡大
- 企業版ふるさと納税制度なども活用した、子どもがアートに触れられる機会を創出する「子どもアートプロジェクト」の展開

重点分野

京都の伝統文化・生活文化・文化財の次代への継承と活用

主要な方策

- 小学生等による地域の伝統芸能を発表する機会を創出し、伝統芸能を支える次世代の担い手を育成
- 京都府立大学の学科再編で文理融合を強化する「和食文化科学科(仮称)」等と連携した和食文化人材の育成
- 京料理や茶道、華道、その他の生活文化に親しむ機会の創出による、京都に根付く暮らしの文化の継承と国内外への発信
- 京都が培ってきた文化財修理技術を継承・発展させ、文化財を次世代へ継承するため、国が設置する「文化財修理センター(仮称)」と連携した世界に誇る文化財修復拠点を形成
- 産学官連携による最新研究成果の国内外への発信につなげるため、文化財保護に関する総合的な調査研究施設の関西拠点を関西文化学術研究都市に誘致
- 恭仁宮跡の特別史跡化など府内の史跡の魅力掘り起こしと活用整備の促進

主なポイント

1

文化庁の京都移転や世界中が注目する2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)の開催のインパクトを生かし、京都から文化創造・発信を行うとともに、多彩な交流を図ることで、国内外から高い評価を受ける「文化の都・京都」の実現をめざした取組を展開します。

2

文化の維持・保存・継承・定着を進めることで、文化の力で活力とうるおいがあり、豊かさを感じられる社会の実現をめざします。

重点分野

多彩な文化の交流の場の創出による新たな文化の創造

主要な方策

- 劇場等と連携した文化団体等の表現の場の創出による、文化活動への支援と府民が持続的に文化体験できる場の提供
- コンテンツ産業の集積を生かしたクリエイターと伝統産業や医療関係等との交流や、VR・ARやメタバースなどの先端テクノロジーとの融合の促進によるコンテンツイノベーションの創出
- 府立文化芸術会館等、老朽化が進む既存文化施設の機能承継も踏まえ、舞台芸術・視覚芸術拠点施設(シアターコンプレックス)、旧総合資料館跡地、植物園などの整備推進
- 伝統文化や祭り、和菓子など京都の文化を子どもたちにも分かりやすく疑似体験できるデジタル・ミュージアムの構築
- 元京都府議会議員公舎(旧富岡鉄斎邸)の保存活用など、京都の様々な資源の磨き上げと京都文化の発信への活用
- 丹後地域の歴史、文化、観光の拠点施設となる博物館をめざす府立丹後郷土資料館のリニューアル



京都文化体験(北野天満宮)



ふるさとミュージアム丹後外観

将来構想

基本計画

地域振興計画

到達目標

目 標	現 状
「府内のアートフェア等に参加する若手アーティスト(40歳以下)の数」を基準値129人(2021年度)の1.5倍の 200人 に増加させる	京都府による実態把握 129人(2021年度)
「府内のアートフェア等における販売額」を基準値(3億1,485万円(2021年度))の1.5倍の 4億7,200万円 に増加させる	京都府による実態把握 3億1,485万円(2021年度)
「文化・芸術に関わりを持つ(鑑賞・体験含む)人の割合」を 90.0% に上昇させる	文化施策に関する府民意識調査(京都府) 62.0%(2021年度)
「歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合」を 90.0% に上昇させる	京都府民の意識調査(京都府) 84.4%(2022年度)

55

京都府総合計画詳細版より引用

【資料 4】

はじめに

我々は大きな時代の岐路に立っている。科学技術・イノベーション政策は、今後しばらくはどの国においても、二つの大きな方向を常に見据えながら策定されていくことになるだろう。すなわち、科学技術には、20世紀後半から爆発的に拡大した人間活動に由来する地球規模の危機を克服するための知恵が求められている。その一方で、それぞれの国は、グローバルな協調と調和をうたう様々な国際提言やコンセプトを競い合いながら、自国の競争力強化のための国内改革と科学技術への未来投資の拡大を加速していく。

人口の指数関数的な増加、巨大化する都市環境、大量生産と大量消費に支えられたGDP¹の成長神話、国の制約を凌駕しようとするグローバリゼーションの進展など、「グレートアクセラレーション²」とも呼ばれるこれら20世紀の遺産が、大気中のCO₂やメタンガスの増加、更にプラスチック流出等による海洋汚染を生み出し、異常気象や気候変動、海洋生態系への影響といった地球の危機を作り出している。これこそ「人新世」の現出³という仮説が示す世界的な課題の認識でもある。また、今や世界は、米中対立の先鋭化など混迷の度を深め、我が国の安全保障をめぐる環境も一層厳しさを増している。第6期科学技術・イノベーション基本計画（以下「第6期基本計画」という。）で掲げる我が国の科学技術・イノベーション政策は、こうしたグローバル課題解決への政策的貢献を企図するものでなければならない。翻って、科学技術・イノベーション政策には、国民の一人ひとりにかなる恩恵をもたらすのかという国内向けの視座も欠かずことはできない。我が国は、これまでも少子高齢化や過疎化の進展といった課題を抱えてきたが、更に近年、深刻化する自然災害、科学技術の国際競争力低下など新たな社会的課題に直面している。また、若者世代の自己肯定感の低さなど次代を担う人材に関する課題も浮き彫りになっている。それらを解決するためには、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた多様な「知」の創造と、「総合知」による現存の社会全体の再設計、さらには、これらを担う人材育成が避けては通れない。

グローバル課題への貢献と国内の構造改革という両軸を、どのような政策で調和させることができるのか。第6期基本計画に求められているのは、そのための政策的創案である。

その時に我々が目指すべきは、第5期科学技術基本計画（以下「第5期基本計画」という。）で掲げた「サイバー空間⁴とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」である Society 5.0 を現実のものとするのであろう。2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs⁵）の提案に強く共感しながら、そこに「信頼」や「分かち合い」を重んじる我が国独特の価値観を重ね、20世紀の負の遺産を超えた我が国の未来社会像として Society 5.0 を再提示する。社会や自然との共生のための循環型社会の実現、信頼に基づく市民感覚、三方よしの社会通念、分かち合いの共感性、こうした「ソフトパワー」の価値を、信頼性の高い科学研究や技術力、更には極めて質の高い社会データの存在と結びつけ、我が国の未来社会像として Society 5.0 を世界に問いかける。加えて、このコンセプトの提言によって、我が国が、この価値観を共有できる国・地域・国際機関等との連携を強め、国際社会にお

¹ 国内総生産（Gross Domestic Product）

² Steffen, W., Broadgate, W., Deutsch, L., Gaffney, O. & Ludwig, C. The trajectory of the Anthropocene: The Great Acceleration. *The Anthropocene Review* 2: 81-98, doi:10.1177/2053019614564785 (2015)

³ 2000年、ノーベル化学賞受賞者である大気化学者のバウル・クルツェンが、人類が地球環境に及ぼした影響により、地質年代が1万1700年前から現在に至る「完新世」から新たな地質年代である「人新世」に入ったと提唱。2021年2月現在においては、国際的な学術団体による正式な承認には至っていない。

⁴ 多様なサービスのサプライチェーンやコミュニティなどが形成される新たな社会領域

⁵ SDGs: Sustainable Development Goals

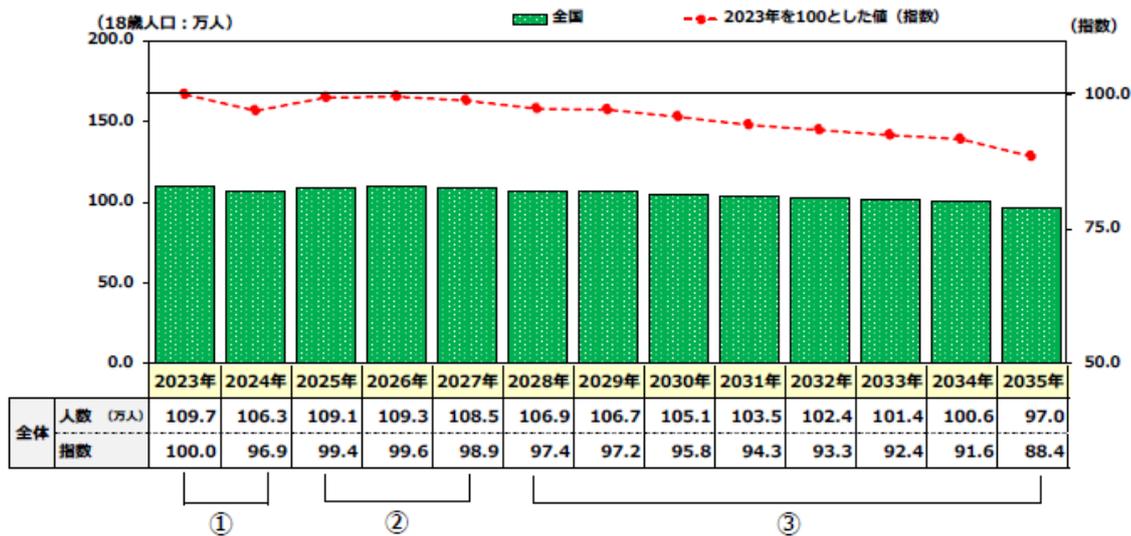
【資料5】

18歳人口予測（全体：全国：2023～2035年）

■2023年109.7万人→2035年97.0万人（12.7万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2023年～2024年：2年連続減少（109.7万人から106.3万人、3.4万人減少）。2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.5万人と微減が続く。
- ③ 2028年～2035年：2028年は106.9万人と2027年108.5万人に対し1.6万人と再び減少し、以降、減少傾向が続く。2035年は97.0万人と2034年100.6万人から3.6万人大きく減少して100万人を割り込む。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

リクルート進学総研マーケットレポート 2023 より引用

【資料6】 全国および各地域別の18歳人口予測と指数

	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2025年-2035年	
全体	人数(人)	1,090,562	1,092,664	1,085,148	1,069,005	1,066,810	1,050,986	1,035,215	1,024,042	1,013,894	1,005,714	970,429	-120,133
	指数(%)	100%	100.2%	99.5%	98.0%	97.8%	96.4%	94.9%	93.9%	93.0%	92.2%	89.0%	11.0%
北海道	人数(人)	41,857	41,168	41,019	40,126	40,032	39,231	38,192	37,974	36,959	36,612	34,669	-7,188
	指数(%)	100%	98.4%	98.0%	95.9%	95.6%	93.7%	91.2%	90.7%	88.3%	87.5%	82.8%	17.2%
東北	人数(人)	73,013	71,988	70,738	68,758	68,222	66,499	65,191	65,404	63,713	63,249	60,112	-12,901
	指数(%)	100%	98.6%	96.9%	94.2%	93.4%	91.1%	89.3%	89.6%	87.3%	86.6%	82.3%	17.7%
北関東	人数(人)	60,700	60,222	59,540	58,616	57,117	55,674	54,933	53,665	53,658	52,346	50,606	-10,094
	指数(%)	100%	99.2%	98.1%	96.6%	94.1%	91.7%	90.5%	88.4%	88.4%	86.2%	83.4%	16.6%
南関東	人数(人)	296,737	299,464	298,329	296,500	295,747	290,613	289,838	288,586	290,405	288,845	279,328	-17,409
	指数(%)	100%	100.9%	100.5%	99.9%	99.7%	97.9%	97.7%	97.3%	97.9%	97.3%	94.1%	5.9%
甲信越	人数(人)	44,788	44,081	43,478	42,024	42,282	41,419	40,280	39,772	39,200	38,598	36,786	-8,002
	指数(%)	100%	98.4%	97.1%	93.8%	94.4%	92.5%	89.9%	88.8%	87.5%	86.2%	82.1%	17.9%
北陸	人数(人)	26,197	26,261	25,767	25,150	24,368	24,499	23,764	23,576	22,959	22,846	22,038	-4,159
	指数(%)	100%	100.2%	98.4%	96.0%	93.0%	93.5%	90.7%	90.0%	87.6%	87.2%	84.1%	15.9%
東海	人数(人)	137,302	137,611	136,273	134,149	134,005	132,377	129,756	126,917	124,190	123,986	119,690	-17,612
	指数(%)	100%	100.2%	99.3%	97.7%	97.6%	96.4%	94.5%	92.4%	90.5%	90.3%	87.2%	12.8%
近畿	人数(人)	179,388	179,292	178,208	174,534	174,104	172,465	169,141	165,893	164,382	162,781	158,282	-21,106
	指数(%)	100%	99.9%	99.3%	97.3%	97.1%	96.1%	94.3%	92.5%	91.6%	90.7%	88.2%	11.8%
中国	人数(人)	64,828	65,050	63,989	63,698	63,827	62,950	61,803	61,042	59,891	59,292	56,744	-8,084
	指数(%)	100%	100.3%	98.7%	98.3%	98.5%	97.1%	95.3%	94.2%	92.4%	91.5%	87.5%	12.5%
四国	人数(人)	32,132	31,612	31,629	31,046	30,845	30,684	29,931	29,373	28,829	28,204	27,462	-4,670
	指数(%)	100%	98.4%	98.4%	96.6%	96.0%	95.5%	93.2%	91.4%	89.7%	87.8%	85.5%	14.5%
九州沖縄	人数(人)	133,620	135,915	136,178	134,404	136,261	134,575	132,386	131,840	129,708	128,955	124,712	-8,908
	指数(%)	100%	101.7%	101.9%	100.6%	102.0%	100.7%	99.1%	98.7%	97.1%	96.5%	93.3%	6.7%

リクルート進学総研マーケットレポート2023より本学作成

【資料7】 近畿地区の18歳人口予測および指数

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2025年-2035年
近畿	人数(人)	179,388	179,292	178,208	174,534	174,104	172,465	169,141	165,893	164,382	162,781	158,282	-21,106
	指数(%)	100%	99.9%	99.3%	97.3%	97.1%	96.1%	94.3%	92.5%	91.6%	90.7%	88.2%	11.8%
滋賀	人数(人)	13,807	13,731	13,824	13,616	13,640	13,528	13,389	13,225	13,011	12,856	12,359	-1,448
	指数(%)	100%	99.4%	100.1%	98.6%	98.8%	98.0%	97.0%	95.8%	94.2%	93.1%	89.5%	10.5%
京都	人数(人)	22,532	22,315	22,004	21,589	21,484	20,684	20,090	20,059	19,774	19,716	19,039	-3,493
	指数(%)	100%	99.0%	97.7%	95.8%	95.3%	91.8%	89.2%	89.0%	87.8%	87.5%	84.5%	15.5%
大阪	人数(人)	74,476	74,579	74,085	72,714	72,545	71,675	70,528	69,056	68,830	68,351	66,574	-7,902
	指数(%)	100%	100.1%	99.5%	97.6%	97.4%	96.2%	94.7%	92.7%	92.4%	91.8%	89.4%	10.6%
兵庫	人数(人)	48,314	48,416	48,429	47,218	47,262	47,787	46,602	45,626	45,248	44,435	43,712	-4,602
	指数(%)	100%	100.2%	100.2%	97.7%	97.8%	98.9%	96.5%	94.4%	93.7%	92.0%	90.5%	9.5%
奈良	人数(人)	12,318	12,286	11,908	11,713	11,606	11,204	11,138	10,873	10,388	10,465	10,016	-2,302
	指数(%)	100%	99.7%	96.7%	95.1%	94.2%	91.0%	90.4%	88.3%	84.3%	85.0%	81.3%	18.7%
和歌山	人数(人)	7,941	7,965	7,958	7,684	7,567	7,587	7,394	7,054	7,131	6,958	6,582	-1,359
	指数(%)	100%	100.3%	100.2%	96.8%	95.3%	95.5%	93.1%	88.8%	89.8%	87.6%	82.9%	17.1%

リクルート進学総研マーケットレポート2023より本学作成

【資料8】 全国および各地域別と近畿地区の大学進学率

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	10年間の平均
全体	48.1%	48.9%	49.3%	49.6%	49.7%	50.0%	51.1%	52.9%	55.3%	56.9%	51.2%
北海道	35.5%	36.8%	37.8%	39.0%	40.1%	41.1%	42.9%	44.0%	46.4%	48.1%	41.2%
東北	38.8%	39.0%	39.9%	40.1%	40.9%	40.5%	41.3%	42.8%	44.7%	45.7%	41.4%
北関東	46.4%	47.0%	47.6%	47.5%	47.6%	47.7%	48.6%	50.2%	52.2%	53.6%	48.8%
南関東	56.7%	57.7%	57.8%	57.8%	57.4%	57.5%	58.6%	31.1%	64.1%	56.9%	55.6%
甲信越	44.8%	45.7%	45.9%	46.9%	47.7%	47.3%	49.5%	50.9%	52.5%	54.4%	48.6%
北陸	42.3%	42.6%	43.0%	42.0%	42.8%	43.0%	44.7%	45.9%	48.3%	50.3%	44.5%
東海	50.1%	50.8%	50.4%	50.6%	50.7%	50.7%	51.9%	52.9%	55.1%	56.6%	52.0%
近畿	52.8%	53.8%	54.4%	54.3%	54.3%	54.8%	56.7%	59.2%	61.6%	63.3%	56.5%
中国	45.2%	45.6%	46.1%	46.7%	47.3%	47.7%	48.2%	49.3%	51.0%	52.8%	48.0%
四国	43.0%	43.7%	44.5%	45.0%	45.5%	46.0%	48.1%	49.1%	51.3%	52.8%	46.9%
九州沖縄	38.3%	39.1%	39.9%	40.3%	40.7%	40.9%	41.3%	42.3%	44.4%	45.6%	41.3%

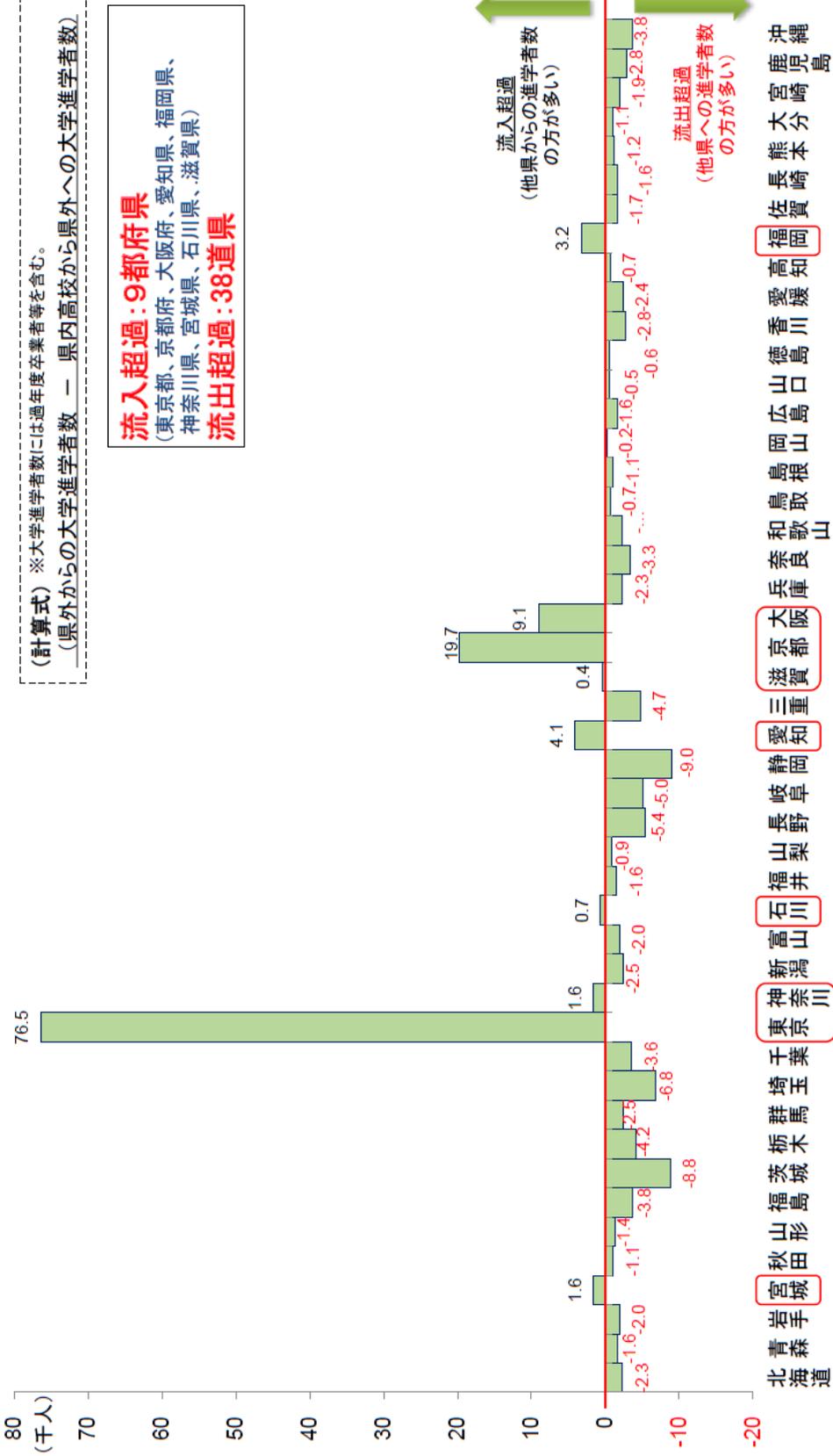
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	10年間の平均
滋賀	49.3%	48.6%	48.7%	49.7%	48.4%	49.3%	51.0%	52.3%	54.7%	57.4%	50.9%
京都	59.2%	60.6%	60.7%	60.7%	60.5%	60.9%	62.8%	65.5%	67.2%	69.6%	62.8%
大阪	51.8%	53.0%	54.4%	53.8%	53.8%	54.2%	56.5%	59.4%	62.1%	63.7%	56.3%
兵庫	54.6%	55.6%	55.5%	55.8%	56.1%	56.5%	57.9%	60.2%	62.5%	63.8%	57.9%
奈良	50.9%	53.7%	53.1%	52.8%	53.1%	54.2%	55.0%	56.6%	58.8%	60.0%	54.8%
和歌山	42.9%	41.0%	43.3%	42.5%	42.1%	43.4%	46.7%	49.5%	51.4%	52.3%	45.5%

リクルート進学総研マーケットレポート 2023 より 本学作成

【資料9】

大学進学時の都道府県別流入・流出者数

- 大学進学時の各都道府県における流入者・流出者数を見ると、流入超過が9都府県、流出超過が38道県となっている。
- 東京都には76,451人、京都府には19,704人、大阪府には9,069人が流入している一方、静岡県からは8,952人、茨城県からは8,779人、埼玉県からは6,804人が流出している。

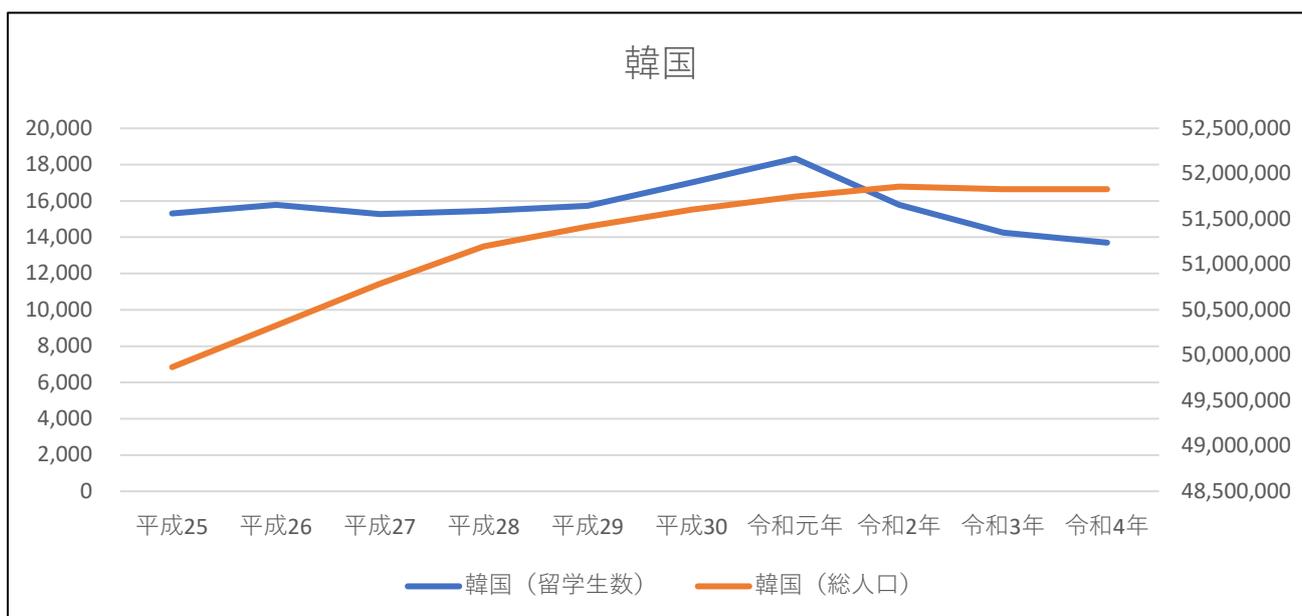
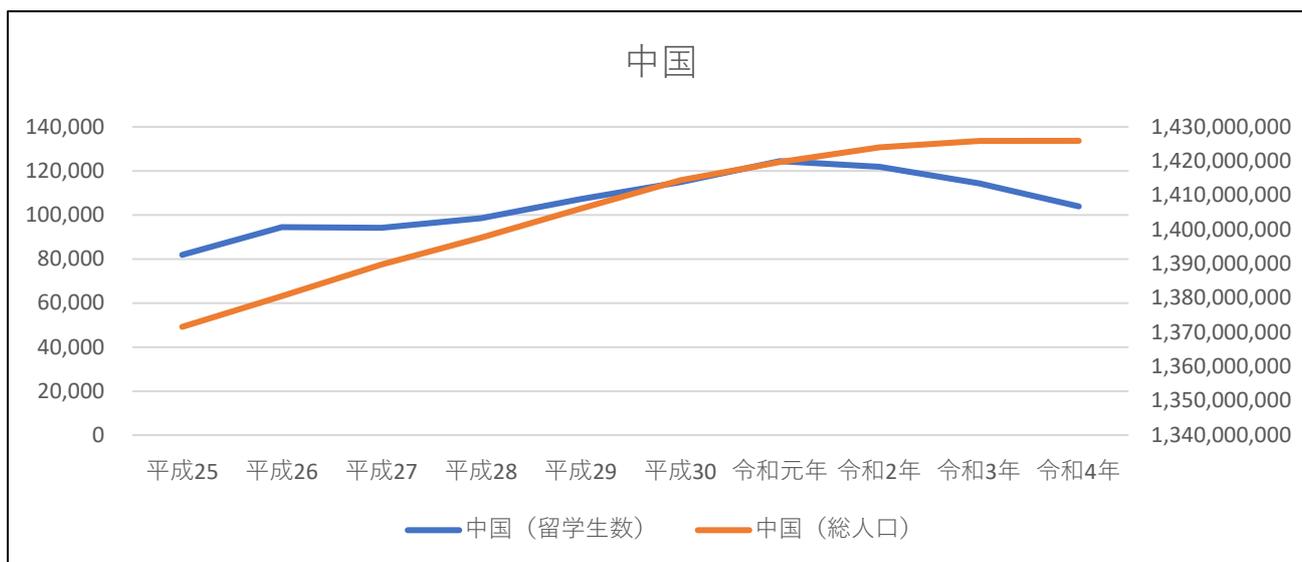


【出典】文部科学省「学校基本統計(令和4年度)」 8

【資料 10】 本学に在籍している外国人留学生の出身地

行ラベル	個数 / 国籍名称
中国	909
韓国	269
台湾	21
中国（香港）	19
インドネシア	12
マレーシア	9
アメリカ	7
タイ	4
ベトナム	3
メキシコ	3
ロシア	3
ミャンマー	2
シンガポール	2
ブラジル	2
マダガスカル	1
アルゼンチン	1
カナダ	1
トルコ	1
スペイン	1
ニュージーランド	1
ノルウェー	1
フィリピン	1
(空白)	
総計	1273

【資料 11】 中国、韓国から日本への留学生数



外国人留学生在籍状況調査結果（平成 25 年～令和 4 年）より本学作成

「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(第二次提言) 案概要

J-MIRAI : Japan-Mobility and Internationalisation: Re-engaging and Accelerating Initiative for future generations

教育未来創造会議 令和 5 年 4 月 27 日

I. コロナ後のグローバル社会を見据えた人への投資の在り方

- 「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現するためには、人への投資を進めることが重要。
- 世界最先端の分野で活躍する高度人材から地域の成長・発展を支える人材まで厚みのある多様な人材を育成・確保し、多様性と包摂性のある持続可能な社会を構築することにより、我が国の更なる成長を促し、国際競争力を高めるとともに、世界の平和と安定に貢献していくことが必要不可欠。
- 留学生交流について量重視するこれまでの視点に加え、日本人学生の海外派遣の拡大や有望な留学生の受入れを進めるために、より質の向上を図る視点も重視。
- 今後、より強力で高等教育段階の人的交流を促進し、質の高い大学や留学生の交流を積極的に進めるとともに、初等中等教育段階から多様性・包摂性に向けた教育を充実。
- 高度外国人材の受入れ制度について、世界に伍する水準への改革を進めるとともに、海外留学した日本人学生の就職の円滑化や日本での活躍を希望する外国人留学生の国内定着を促進。

II. 今後の方向性

1. 留学生の派遣・受入れ

(1) 日本人学生の派遣

- ・ 海外大学・大学院における日本人留学生の中長期留学者の数と割合の向上を図り、特に、大学院生の学位取得を推進。このため、高校段階から大学院までを通じて、短期から、中期、長期留学まで学位取得につながる段階的な取組を促進。

(2) 外国人留学生の受入れ

- ・ 高い志を有する優秀な外国人留学生の戦略的受入れを推進。その際、多様な文化的背景に基づいた価値観を学び理解し合う環境創出のために受入れ地域についてより多様化を図るとともに、大学院段階の受入れに加え、留学生比率の低い学部段階や高校段階における留学生の受入れを促進。

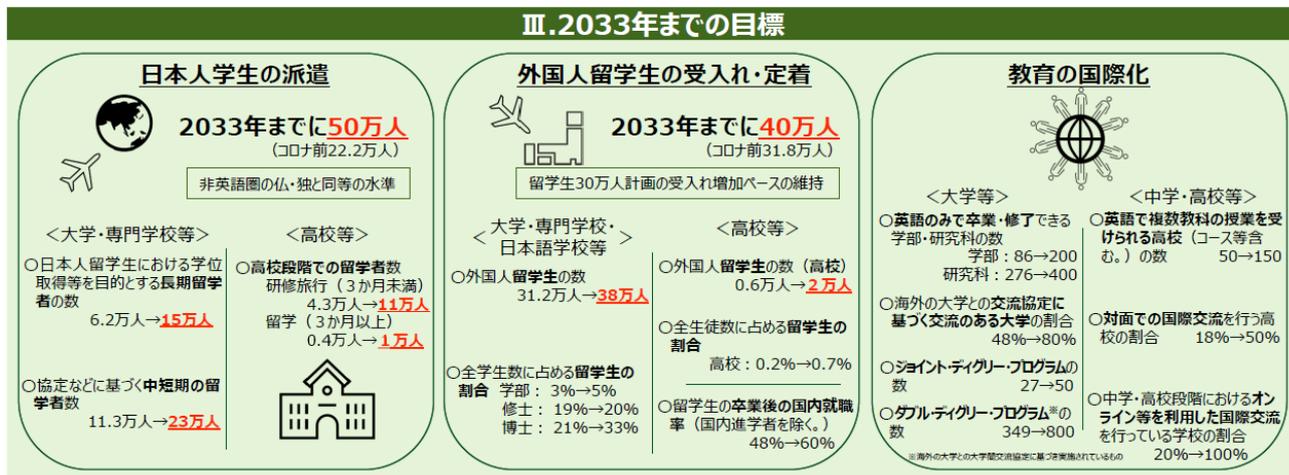
2. 留学生の卒業後の活躍のための環境整備

- ・ 留学生が将来のキャリアパスについて予見可能性をもって、入学前から安心して留学を判断できるようにするため、海外派遣後の日本人留学生の就職円滑化を推進するとともに、外国人留学生の卒業後の定着に向けた企業等での受入れや起業を推進。

3. 教育の国際化

- ・ 多様な文化的背景に基づく価値観を持った者が集い、理解し合う場が創出される教育研究環境や、高度外国人材が安心して来日できる子供の教育環境の実現を通じて教育の国際化を推進。

III. 2033年までの目標



「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(第二次提言) より引用

【資料 13】 本学の出身高校の所在地県別入学者数

都道府県	直近5年合計入学者数 (人)	5年平均 (人)
外国の学校・その他	1364	272.8
京都府	985	197
大阪府	666	133.2
滋賀県	338	67.6
兵庫県	255	51
奈良県	127	25.4
沖縄県	106	21.2
北海道	80	16
愛知県	74	14.8
広島県	73	14.6
長野県	61	12.2
高知県	58	11.6
静岡県	57	11.4
岡山県	55	11
三重県	54	10.8
東京都	50	10
福岡県	43	8.6
香川県	40	8
石川県	39	7.8
福井県	36	7.2
愛媛県	34	6.8
茨城県	33	6.6
山口県	30	6
鹿児島	30	6
千葉県	28	5.6
富山県	28	5.6
山梨県	26	5.2
島根県	26	5.2
徳島県	25	5
和歌山	25	5
岐阜県	21	4.2
埼玉県	19	3.8
熊本県	18	3.6
新潟県	18	3.6
神奈川	15	3
鳥取県	15	3
福島県	14	2.8
長崎県	12	2.4
宮城県	11	2.2
宮崎県	10	2
群馬県	10	2
山形県	9	1.8
岩手県	8	1.6
大分県	7	1.4
栃木県	7	1.4
佐賀県	6	1.2
秋田県	2	0.4
青森県	1	0.2

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

資料14

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	京都府	8,641人	37.9%
2	大阪府	6,849人	30.0%
3	滋賀県	3,106人	13.6%
4	兵庫県	2,690人	11.8%
5	奈良県	1,542人	6.8%
	全 体	22,828人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		2021年度	2022年度	2023年度
1	京都府	98.88%	101.59%	99.93%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		2021年度	2022年度	2023年度
1	芸術系学部（大学）	104.78%	105.50%	105.32%
2	人文科学系学部（大学）	99.30%	98.93%	96.28%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

【資料 15】 本学の直近 5 年間の外国人留学生における入学者数（国籍別）

国籍	直近5年合計入学者数（人）	5年平均（人）
中国	933	186.6
韓国	280	56
台湾	20	4
中国（香港）	18	3.6
インドネシア	15	3
マレーシア	11	2.2
アメリカ	6	1.2
ベトナム	4	0.8
タイ	4	0.8
その他	4	0.8
ロシア	2	0.4
ミャンマー	2	0.4
シンガポール	2	0.4
メキシコ	1	0.2
フィリピン	1	0.2
ノルウェー	1	0.2
ニュージーランド	1	0.2
スペイン	1	0.2
カナダ	1	0.2

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：芸術学部造形学科

資料16-1

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	40人	32人	34人	56人	56人	44人	
	延べ人数	志願者数	95人	104人	84人	136人	173人	118人
		受験者数	92人	97人	72人	115人	148人	105人
		合格者数	90人	81人	71人	77人	98人	83人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	24人	24人	20人	31人	24人
	実人数	志願者数	95人	103人	84人	136人	173人	118人
		受験者数	92人	97人	72人	115人	148人	105人
		合格者数	90人	81人	71人	77人	98人	83人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	23人	24人	24人	20人	31人	24人
	入学者数	67人	57人	47人	57人	67人	59人	
	学校推薦型選抜	募集人数	27人	27人	37人	24人	24人	28人
		延べ人数	志願者数	114人	113人	112人	120人	124人
受験者数			109人	113人	112人	120人	122人	115人
合格者数			54人	68人	64人	43人	50人	56人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			21人	32人	38人	16人	13人	24人
実人数		志願者数	75人	69人	69人	77人	81人	74人
		受験者数	72人	69人	69人	77人	80人	73人
		合格者数	51人	60人	58人	43人	50人	52人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	24人	32人	16人	13人	21人
入学者数		33人	36人	26人	27人	37人	32人	
一般選抜		募集人数	22人	31人	27人	13人	13人	21人
		延べ人数	志願者数	109人	100人	108人	102人	115人
	受験者数		102人	95人	98人	99人	112人	101人
	合格者数		18人	14人	36人	38人	42人	30人
	うち追加合格者数		0人	0人	7人	6人	0人	3人
	辞退者数		10人	8人	14人	17人	21人	14人
	実人数	志願者数	80人	64人	70人	69人	81人	73人
		受験者数	75人	62人	65人	68人	79人	70人
		合格者数	16人	14人	36人	38人	42人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	6人	0人	3人
		辞退者数	8人	8人	14人	17人	21人	14人
	入学者数	8人	6人	22人	21人	21人	16人	
	共通テスト利用入試	募集人数	12人	12人	4人	4人	4人	7人
		延べ人数	志願者数	97人	39人	33人	27人	34人
受験者数			97人	39人	33人	27人	34人	46人
合格者数			8人	12人	9人	5人	7人	8人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	1人	2人	1人
実人数		志願者数	84人	37人	33人	27人	34人	43人
		受験者数	84人	37人	33人	27人	34人	43人
		合格者数	8人	12人	9人	5人	7人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	11人	8人	5人	5人	7人
入学者数		3人	1人	1人	0人	2人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	11人	10人	10人	15人	15人	12人
		延べ人数	志願者数	76人	122人	92人	87人	103人
	受験者数		75人	108人	83人	74人	93人	87人
	合格者数		16人	35人	28人	23人	21人	25人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	12人	4人	5人	1人	4人
	実人数	志願者数	41人	65人	66人	55人	59人	57人
		受験者数	40人	60人	61人	50人	53人	53人
		合格者数	14人	29人	28人	23人	21人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	16人	9人	13人	12人	11人
	入学者数	10人	13人	19人	10人	9人	12人	
	合計	募集人数	112人	112人	112人	112人	112人	112人
		延べ人数	志願者数	491人	478人	429人	472人	549人
受験者数			475人	452人	398人	435人	509人	454人
合格者数			186人	210人	208人	186人	218人	202人
うち追加合格者数			0人	0人	7人	6人	0人	3人
辞退者数			54人	76人	80人	59人	68人	67人
実人数		志願者数	375人	338人	322人	364人	428人	365人
		受験者数	363人	325人	300人	337人	394人	344人
		合格者数	179人	196人	202人	186人	218人	196人
		うち追加合格者数	0人	0人	7人	6人	0人	3人
		辞退者数	58人	83人	87人	71人	82人	76人
入学者数		121人	113人	115人	115人	136人	120人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	112人	112人	112人	112人	112人	112人
入学定員充足率	1.08	1.01	1.03	1.03	1.21	1.07
歩留率	0.65	0.54	0.55	0.62	0.62	0.60

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：デザイン学部イラスト学科

資料16-2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	30人	26人	26人	32人	32人	29人	
	延べ人数	志願者数	125人	153人	129人	126人	189人	144人
		受験者数	123人	146人	119人	106人	164人	132人
		合格者数	59人	52人	62人	57人	52人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	13人	16人	19人	20人	17人
	実人数	志願者数	110人	142人	129人	126人	189人	139人
		受験者数	109人	136人	119人	106人	164人	127人
		合格者数	59人	51人	62人	57人	52人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	17人	12人	16人	19人	20人	17人
	入学者数	42人	39人	46人	38人	32人	39人	
	学校推薦型選抜	募集人数	11人	13人	15人	15人	15人	14人
		延べ人数	志願者数	40人	58人	45人	61人	44人
受験者数			40人	58人	45人	61人	44人	50人
合格者数			16人	18人	10人	22人	22人	18人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	9人	4人	6人	7人	7人
実人数		志願者数	25人	34人	27人	40人	29人	31人
		受験者数	25人	34人	27人	40人	29人	31人
		合格者数	14人	17人	9人	22人	22人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	8人	3人	6人	7人	6人
入学者数		9人	9人	6人	16人	15人	11人	
一般選抜		募集人数	12人	16人	15人	7人	7人	11人
		延べ人数	志願者数	49人	76人	67人	69人	41人
	受験者数		44人	75人	60人	66人	41人	57人
	合格者数		6人	10人	18人	8人	7人	10人
	うち追加合格者数		0人	0人	3人	0人	1人	1人
	辞退者数		2人	3人	10人	7人	4人	5人
	実人数	志願者数	35人	49人	40人	44人	26人	39人
		受験者数	30人	48人	37人	43人	26人	37人
		合格者数	6人	9人	17人	8人	7人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	0人	1人	1人
		辞退者数	2人	2人	9人	7人	4人	5人
	入学者数	4人	7人	8人	1人	3人	5人	
	共通テスト利用入試	募集人数	3人	3人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	25人	24人	20人	22人	11人
受験者数			25人	24人	20人	22人	11人	20人
合格者数			9人	8人	3人	2人	2人	5人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	6人	2人	1人	1人	3人
実人数		志願者数	22人	23人	20人	22人	11人	20人
		受験者数	22人	23人	20人	22人	11人	20人
		合格者数	9人	8人	3人	2人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	6人	2人	1人	1人	3人
入学者数		2人	2人	1人	1人	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	8人	6人	6人	8人	8人	7人
		延べ人数	志願者数	101人	117人	112人	105人	134人
	受験者数		91人	107人	92人	94人	118人	100人
	合格者数		15人	13人	5人	13人	20人	13人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		5人	5人	2人	4人	6人	4人
	実人数	志願者数	51人	58人	61人	57人	67人	59人
		受験者数	47人	54人	57人	52人	63人	55人
		合格者数	13人	12人	5人	13人	20人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	4人	2人	4人	6人	4人
	入学者数	10人	8人	3人	9人	14人	9人	
	合計	募集人数	64人	64人	64人	64人	64人	64人
		延べ人数	志願者数	340人	428人	373人	383人	419人
受験者数			323人	410人	336人	349人	378人	359人
合格者数			105人	101人	98人	102人	103人	102人
うち追加合格者数			0人	0人	3人	0人	1人	1人
辞退者数			38人	36人	34人	37人	38人	37人
実人数		志願者数	243人	306人	277人	289人	322人	287人
		受験者数	233人	295人	260人	263人	293人	269人
		合格者数	101人	97人	96人	102人	103人	100人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	0人	1人	1人
		辞退者数	34人	32人	32人	37人	38人	35人
入学者数		67人	65人	64人	65人	65人	65人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	64人	64人	64人	64人	64人	64人
入学定員充足率	1.05	1.02	1.00	1.02	1.02	1.02
歩留率	0.64	0.64	0.65	0.64	0.63	0.64

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

資料16-3

大学学部学科等名：デザイン学部ビジュアルデザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	24人	22人	20人	32人	32人	26人	
	延べ人数	志願者数	96人	171人	136人	175人	199人	155人
		受験者数	93人	159人	120人	158人	177人	141人
		合格者数	61人	62人	60人	56人	55人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	19人	19人	16人	22人	18人
	実人数	志願者数	88人	160人	136人	175人	199人	152人
		受験者数	86人	152人	120人	158人	177人	139人
		合格者数	61人	62人	60人	56人	55人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	19人	19人	16人	22人	18人
	入学者数	46人	43人	41人	40人	33人	41人	
	学校推薦型選抜	募集人数	14人	16人	20人	14人	14人	16人
		延べ人数	志願者数	78人	89人	128人	105人	123人
受験者数			76人	89人	128人	104人	123人	104人
合格者数			20人	21人	20人	23人	38人	24人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			3人	8人	6人	5人	10人	6人
実人数		志願者数	50人	51人	76人	69人	72人	64人
		受験者数	48人	51人	76人	68人	72人	63人
		合格者数	20人	20人	19人	23人	38人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	7人	5人	5人	10人	6人
入学者数		17人	13人	14人	18人	28人	18人	
一般選抜		募集人数	14人	16人	16人	8人	8人	12人
		延べ人数	志願者数	73人	123人	143人	128人	137人
	受験者数		67人	115人	134人	122人	131人	114人
	合格者数		15人	10人	19人	21人	11人	15人
	うち追加合格者数		0人	0人	3人	2人	0人	1人
	辞退者数		7人	4人	12人	10人	7人	8人
	実人数	志願者数	54人	78人	81人	87人	85人	77人
		受験者数	48人	75人	79人	84人	82人	74人
		合格者数	15人	10人	18人	21人	11人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	2人	0人	1人
		辞退者数	7人	4人	11人	10人	7人	8人
	入学者数	8人	6人	7人	11人	4人	7人	
	共通テスト利用入試	募集人数	6人	6人	4人	2人	2人	4人
		延べ人数	志願者数	34人	39人	48人	41人	44人
受験者数			34人	39人	48人	41人	44人	41人
合格者数			7人	8人	4人	5人	2人	5人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			6人	5人	4人	5人	2人	4人
実人数		志願者数	31人	34人	48人	41人	44人	40人
		受験者数	31人	34人	48人	41人	44人	40人
		合格者数	7人	8人	4人	5人	2人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	5人	4人	5人	2人	4人
入学者数		1人	3人	0人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	6人	4人	4人	8人	8人	6人
		延べ人数	志願者数	73人	105人	59人	99人	96人
	受験者数		68人	92人	56人	84人	85人	77人
	合格者数		5人	11人	7人	13人	15人	10人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		3人	3人	3人	8人	3人	4人
	実人数	志願者数	42人	68人	41人	55人	54人	52人
		受験者数	42人	63人	40人	49人	49人	49人
		合格者数	5人	11人	7人	13人	15人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	3人	8人	3人	4人
	入学者数	2人	8人	4人	5人	12人	6人	
	合計	募集人数	64人	64人	64人	64人	64人	64人
		延べ人数	志願者数	354人	527人	514人	548人	599人
受験者数			338人	494人	486人	509人	560人	477人
合格者数			108人	112人	110人	118人	121人	114人
うち追加合格者数			0人	0人	3人	2人	0人	1人
辞退者数			34人	39人	44人	44人	44人	41人
実人数		志願者数	265人	391人	382人	427人	454人	384人
		受験者数	255人	375人	363人	400人	424人	363人
		合格者数	108人	111人	108人	118人	121人	113人
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	2人	0人	1人
		辞退者数	34人	38人	42人	44人	44人	40人
入学者数		74人	73人	66人	74人	77人	73人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	64人	64人	64人	64人	64人	64人
入学定員充足率	1.16	1.14	1.03	1.16	1.20	1.14
歩留率	0.69	0.65	0.60	0.63	0.64	0.64

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

資料16-4

大学学部学科等名：デザイン学部プロダクトデザイン学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	16人	15人	18人	36人	36人	24人	
	延べ人数	志願者数	49人	120人	82人	86人	83人	84人
		受験者数	47人	111人	75人	72人	72人	75人
		合格者数	43人	64人	68人	58人	65人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	23人	27人	21人	27人	23人
	実人数	志願者数	47人	114人	82人	86人	83人	82人
		受験者数	46人	108人	75人	72人	72人	75人
		合格者数	43人	64人	68人	58人	65人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	15人	23人	27人	21人	27人	23人
	入学者数	28人	41人	41人	37人	38人	37人	
	学校推薦型選抜	募集人数	10人	21人	21人	15人	15人	16人
		延べ人数	志願者数	39人	37人	56人	52人	43人
受験者数			36人	37人	55人	52人	43人	45人
合格者数			17人	18人	17人	29人	28人	22人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			6人	5人	5人	17人	12人	9人
実人数		志願者数	24人	29人	33人	37人	31人	31人
		受験者数	24人	29人	32人	37人	31人	31人
		合格者数	17人	18人	15人	29人	28人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	5人	3人	17人	12人	9人
入学者数		11人	13人	12人	12人	16人	13人	
一般選抜		募集人数	12人	21人	21人	9人	9人	14人
		延べ人数	志願者数	80人	83人	51人	38人	55人
	受験者数		77人	80人	49人	32人	51人	58人
	合格者数		20人	17人	26人	18人	24人	21人
	うち追加合格者数		0人	0人	1人	4人	4人	2人
	辞退者数		15人	10人	17人	13人	15人	14人
	実人数	志願者数	52人	54人	38人	29人	39人	42人
		受験者数	50人	51人	37人	26人	37人	40人
		合格者数	17人	17人	25人	18人	24人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	4人	4人	2人
		辞退者数	12人	10人	16人	13人	15人	13人
	入学者数	5人	7人	9人	5人	9人	7人	
	共通テスト利用入試	募集人数	6人	9人	6人	3人	3人	5人
		延べ人数	志願者数	46人	32人	20人	23人	24人
受験者数			46人	32人	20人	23人	24人	29人
合格者数			11人	11人	7人	14人	12人	11人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	1人	0人
辞退者数			7人	8人	6人	10人	10人	8人
実人数		志願者数	41人	31人	20人	23人	24人	28人
		受験者数	41人	31人	20人	23人	24人	28人
		合格者数	11人	11人	7人	14人	12人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
		辞退者数	7人	8人	6人	10人	10人	8人
入学者数		4人	3人	1人	4人	2人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	6人	6人	6人	9人	9人	7人
		延べ人数	志願者数	59人	112人	34人	53人	78人
	受験者数		59人	105人	33人	50人	69人	63人
	合格者数		12人	10人	13人	23人	26人	17人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		6人	4人	6人	12人	13人	8人
	実人数	志願者数	32人	67人	23人	36人	50人	42人
		受験者数	32人	65人	22人	35人	45人	40人
		合格者数	12人	10人	13人	23人	26人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	4人	6人	12人	13人	8人
	入学者数	6人	6人	7人	11人	13人	9人	
	合計	募集人数	50人	72人	72人	72人	72人	68人
		延べ人数	志願者数	273人	384人	243人	252人	283人
受験者数			265人	365人	232人	229人	259人	270人
合格者数			103人	120人	131人	142人	155人	130人
うち追加合格者数			0人	0人	1人	4人	5人	2人
辞退者数			49人	50人	61人	73人	77人	62人
実人数		志願者数	196人	295人	196人	211人	227人	225人
		受験者数	193人	284人	186人	193人	209人	213人
		合格者数	100人	120人	128人	142人	155人	129人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	4人	5人	2人
		辞退者数	46人	50人	58人	73人	77人	61人
入学者数		54人	70人	70人	69人	78人	68人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	72人	72人	72人	72人	72人	72人
入学定員充足率	0.75	0.97	0.97	0.96	1.08	0.95
歩留率	0.52	0.58	0.53	0.49	0.50	0.53

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：マンガ学部マンガ学科

資料16-5

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	101人	95人	93人	127人	127人	109人	
	延べ人数	志願者数	542人	797人	516人	744人	789人	678人
		受験者数	501人	755人	476人	686人	705人	625人
		合格者数	249人	196人	229人	191人	181人	209人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	66人	59人	68人	54人	55人	60人
	実人数	志願者数	485人	717人	516人	744人	789人	650人
		受験者数	451人	691人	476人	686人	705人	602人
		合格者数	249人	195人	229人	191人	181人	209人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	66人	58人	68人	54人	55人	60人
	入学者数	183人	137人	161人	137人	126人	149人	
	学校推薦型選抜	募集人数	40人	46人	57人	53人	53人	50人
		延べ人数	志願者数	119人	159人	139人	124人	142人
受験者数			117人	157人	138人	123人	139人	135人
合格者数			37人	48人	44人	46人	45人	44人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			8人	9人	6人	6人	11人	8人
実人数		志願者数	79人	98人	92人	88人	89人	89人
		受験者数	78人	96人	91人	88人	86人	88人
		合格者数	35人	46人	43人	46人	44人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	7人	5人	6人	10人	7人
入学者数		29人	39人	38人	40人	34人	36人	
一般選抜		募集人数	44人	54人	52人	17人	17人	37人
		延べ人数	志願者数	144人	166人	195人	167人	180人
	受験者数		137人	162人	184人	162人	176人	164人
	合格者数		16人	23人	23人	26人	29人	23人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	2人	5人	1人
	辞退者数		6人	7人	8人	7人	8人	7人
	実人数	志願者数	89人	87人	118人	111人	116人	104人
		受験者数	84人	87人	116人	108人	114人	102人
		合格者数	16人	23人	20人	26人	29人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	5人	1人
		辞退者数	6人	7人	5人	7人	8人	7人
	入学者数	10人	16人	15人	19人	21人	16人	
	共通テスト利用入試	募集人数	12人	12人	5人	6人	6人	8人
		延べ人数	志願者数	84人	37人	52人	43人	50人
受験者数			84人	37人	52人	43人	49人	53人
合格者数			12人	11人	6人	13人	10人	10人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	1人	1人	0人
辞退者数			8人	8人	4人	6人	10人	7人
実人数		志願者数	62人	32人	52人	43人	50人	48人
		受験者数	62人	32人	52人	43人	49人	48人
		合格者数	12人	11人	6人	13人	10人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
		辞退者数	8人	8人	4人	6人	10人	7人
入学者数		4人	3人	2人	7人	0人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	35人	25人	25人	29人	29人	29人
		延べ人数	志願者数	475人	479人	359人	554人	500人
	受験者数		457人	450人	292人	492人	447人	428人
	合格者数		47人	41人	24人	51人	83人	49人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		17人	4人	5人	11人	23人	12人
	実人数	志願者数	237人	263人	195人	257人	263人	243人
		受験者数	236人	252人	178人	243人	242人	230人
		合格者数	43人	40人	23人	51人	83人	48人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	3人	4人	11人	23人	11人
	入学者数	30人	37人	19人	40人	60人	37人	
	合計	募集人数	232人	232人	232人	232人	232人	232人
		延べ人数	志願者数	1364人	1638人	1261人	1632人	1661人
受験者数			1296人	1561人	1142人	1506人	1516人	1404人
合格者数			361人	319人	326人	327人	348人	336人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	3人	6人	2人
辞退者数			105人	87人	91人	84人	107人	95人
実人数		志願者数	952人	1197人	973人	1243人	1307人	1134人
		受験者数	911人	1158人	913人	1168人	1196人	1069人
		合格者数	355人	315人	321人	327人	347人	333人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	3人	6人	2人
		辞退者数	99人	83人	86人	84人	106人	92人
入学者数		256人	232人	235人	243人	241人	241人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	232人	232人	232人	232人	232人	232人
入学定員充足率	1.10	1.00	1.01	1.05	1.04	1.04
歩留率	0.71	0.73	0.72	0.74	0.69	0.72

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：マンガ学部アニメーション学科

資料16-8

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	30人	34人	32人	44人	44人	37人	
	延べ人数	志願者数	154人	169人	129人	182人	175人	162人
		受験者数	147人	159人	120人	164人	157人	149人
		合格者数	48人	51人	55人	42人	48人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	8人	7人	8人	13人	8人
	実人数	志願者数	136人	155人	129人	182人	175人	155人
		受験者数	130人	147人	120人	164人	157人	144人
		合格者数	48人	51人	55人	42人	48人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	8人	7人	8人	13人	8人
	入学者数	42人	43人	48人	34人	35人	40人	
	学校推薦型選抜	募集人数	11人	17人	21人	17人	17人	17人
		延べ人数	志願者数	42人	44人	52人	48人	61人
受験者数			42人	44人	52人	48人	61人	49人
合格者数			11人	11人	16人	13人	17人	14人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	1人	3人	0人	3人	2人
実人数		志願者数	24人	28人	32人	28人	33人	29人
		受験者数	24人	28人	32人	28人	33人	29人
		合格者数	11人	10人	15人	13人	17人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	3人	1人
入学者数		10人	10人	13人	13人	14人	12人	
一般選抜		募集人数	11人	18人	17人	7人	7人	12人
		延べ人数	志願者数	40人	72人	81人	55人	65人
	受験者数		36人	68人	75人	54人	65人	60人
	合格者数		5人	11人	5人	7人	18人	9人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	1人	1人	0人
	辞退者数		2人	5人	2人	3人	4人	3人
	実人数	志願者数	28人	42人	52人	40人	46人	42人
		受験者数	27人	41人	48人	39人	46人	40人
		合格者数	4人	11人	5人	7人	18人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
		辞退者数	1人	5人	2人	3人	4人	3人
	入学者数	3人	6人	3人	4人	14人	6人	
	共通テスト利用入試	募集人数	3人	3人	2人	2人	2人	2人
		延べ人数	志願者数	27人	29人	23人	14人	23人
受験者数			27人	29人	23人	14人	23人	23人
合格者数			4人	8人	1人	4人	5人	4人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			4人	5人	0人	2人	5人	3人
実人数		志願者数	25人	26人	23人	14人	23人	22人
		受験者数	25人	26人	23人	14人	23人	22人
		合格者数	4人	8人	1人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	5人	0人	2人	5人	3人
入学者数		0人	3人	1人	2人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	25人	8人	8人	10人	10人	12人
		延べ人数	志願者数	201人	154人	111人	206人	180人
	受験者数		191人	142人	93人	190人	165人	156人
	合格者数		19人	14人	10人	17人	25人	17人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		6人	3人	2人	1人	6人	4人
	実人数	志願者数	95人	76人	61人	101人	83人	83人
		受験者数	92人	72人	58人	96人	77人	79人
		合格者数	18人	14人	10人	17人	25人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	3人	2人	1人	6人	3人
	入学者数	13人	11人	8人	16人	19人	13人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	464人	468人	396人	505人	504人
受験者数			443人	442人	363人	470人	471人	438人
合格者数			87人	95人	87人	83人	113人	93人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	1人	1人	0人
辞退者数			19人	22人	14人	14人	31人	20人
実人数		志願者数	308人	327人	297人	365人	360人	331人
		受験者数	298人	314人	281人	341人	336人	314人
		合格者数	85人	94人	86人	83人	113人	92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
		辞退者数	17人	21人	13人	14人	31人	19人
入学者数		68人	73人	73人	69人	82人	73人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
入学定員充足率	0.85	0.91	0.91	0.86	1.03	0.91
歩留率	0.78	0.77	0.84	0.83	0.73	0.79

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

資料16-7

大学学部学科等名：メディア表現学部メディア表現学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数		34人	34人	34人	34人	34人	
	延べ人数	志願者数		195人	167人	127人	125人	154人
		受験者数		186人	150人	117人	114人	142人
		合格者数		109人	83人	74人	89人	89人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		17人	7人	9人	18人	13人
	実人数	志願者数		186人	160人	126人	123人	149人
		受験者数		178人	144人	116人	112人	138人
		合格者数		109人	83人	74人	89人	89人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		17人	7人	9人	18人	13人
	入学者数		92人	76人	65人	71人	76人	
	学校推薦型選抜	募集人数		50人	51人	50人	50人	50人
延べ人数		志願者数		155人	136人	114人	87人	123人
		受験者数		153人	136人	114人	87人	123人
		合格者数		89人	89人	75人	73人	82人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		4人	5人	11人	9人	7人
実人数		志願者数		131人	112人	97人	76人	104人
		受験者数		130人	112人	97人	76人	104人
		合格者数		89人	88人	75人	73人	81人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		4人	4人	11人	9人	7人
入学者数			85人	84人	64人	64人	74人	
一般選抜		募集人数		50人	52人	50人	50人	51人
	延べ人数	志願者数		249人	159人	96人	98人	151人
		受験者数		241人	146人	92人	83人	141人
		合格者数		19人	31人	58人	51人	40人
		うち追加合格者数		0人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数		8人	14人	22人	18人	16人
	実人数	志願者数		129人	87人	72人	64人	88人
		受験者数		128人	82人	69人	58人	84人
		合格者数		19人	26人	58人	51人	39人
		うち追加合格者数		0人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数		8人	9人	22人	18人	14人
	入学者数		11人	17人	36人	33人	24人	
	共通テスト利用入試	募集人数		17人	14人	17人	17人	16人
延べ人数		志願者数		81人	59人	45人	49人	59人
		受験者数		81人	59人	45人	49人	59人
		合格者数		7人	13人	36人	38人	24人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	10人	29人	30人	19人
実人数		志願者数		64人	57人	45人	47人	53人
		受験者数		64人	57人	45人	47人	53人
		合格者数		7人	13人	36人	37人	23人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	10人	29人	29人	18人
入学者数			2人	3人	7人	8人	5人	
その他の特別選抜		募集人数		17人	17人	17人	17人	17人
	延べ人数	志願者数		87人	34人	25人	28人	44人
		受験者数		76人	31人	22人	28人	39人
		合格者数		5人	8人	12人	16人	10人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		1人	3人	2人	8人	4人
	実人数	志願者数		66人	24人	16人	19人	31人
		受験者数		62人	24人	15人	19人	30人
		合格者数		5人	8人	11人	16人	10人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		1人	3人	1人	8人	3人
	入学者数		4人	5人	10人	8人	7人	
	合計	募集人数	0人	168人	168人	168人	168人	134人
延べ人数		志願者数	0人	767人	555人	407人	387人	423人
		受験者数	0人	737人	522人	390人	361人	402人
		合格者数	0人	229人	224人	255人	267人	195人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		辞退者数	0人	35人	39人	73人	83人	46人
実人数		志願者数	0人	576人	440人	356人	329人	340人
		受験者数	0人	562人	419人	342人	312人	327人
		合格者数	0人	229人	218人	254人	266人	193人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	2人	0人	0人
		辞退者数	0人	35人	33人	72人	82人	44人
入学者数		0人	194人	185人	182人	184人	149人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員		168人	168人	168人	168人	168人
入学定員充足率	#DIV/0!	1.15	1.10	1.08	1.10	1.11
歩留率	#DIV/0!	0.85	0.83	0.71	0.69	0.77

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
メディア表現学部メディア表現学科は2021年度開設のため2020年度入学者の欄は記入無し。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：国際文化学部人文学科

資料16-8

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数		32人	32人	32人	32人	32人	
	延べ人数	志願者数		53人	56人	24人	27人	40人
		受験者数		51人	51人	20人	25人	37人
		合格者数		46人	48人	18人	25人	34人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		12人	17人	2人	3人	9人
	実人数	志願者数		52人	55人	24人	27人	40人
		受験者数		50人	50人	20人	25人	36人
		合格者数		46人	47人	18人	25人	34人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		12人	16人	2人	3人	8人
	入学者数		34人	31人	16人	22人	26人	
	学校推薦型選抜	募集人数		48人	48人	48人	48人	48人
		延べ人数	志願者数		82人	81人	57人	35人
受験者数				80人	80人	57人	35人	63人
合格者数				74人	73人	50人	32人	57人
うち追加合格者数				0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数				21人	27人	13人	11人	18人
実人数		志願者数		72人	68人	51人	33人	56人
		受験者数		72人	67人	51人	33人	56人
		合格者数		71人	67人	50人	32人	55人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		18人	21人	13人	11人	16人
入学者数			53人	46人	37人	21人	39人	
一般選抜		募集人数		48人	50人	48人	48人	49人
		延べ人数	志願者数		117人	86人	63人	41人
	受験者数			111人	74人	62人	36人	71人
	合格者数			92人	67人	50人	26人	59人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数			51人	43人	30人	15人	35人
	実人数	志願者数		90人	63人	53人	30人	59人
		受験者数		85人	57人	53人	26人	55人
		合格者数		81人	56人	50人	25人	53人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		40人	32人	30人	14人	29人
	入学者数		41人	24人	20人	11人	24人	
	共通テスト利用入試	募集人数		16人	14人	16人	16人	16人
		延べ人数	志願者数		92人	61人	45人	27人
受験者数				92人	61人	45人	27人	56人
合格者数				88人	56人	39人	27人	53人
うち追加合格者数				0人	0人	3人	0人	1人
辞退者数				73人	47人	34人	22人	44人
実人数		志願者数		90人	61人	45人	27人	56人
		受験者数		90人	61人	45人	27人	56人
		合格者数		87人	56人	39人	27人	52人
		うち追加合格者数		0人	0人	3人	0人	1人
		辞退者数		72人	47人	34人	22人	44人
入学者数			15人	9人	5人	5人	9人	
その他の特別選抜		募集人数		16人	16人	16人	16人	16人
		延べ人数	志願者数		42人	14人	14人	5人
	受験者数			38人	11人	8人	3人	15人
	合格者数			24人	9人	4人	1人	10人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数			9人	2人	1人	0人	3人
	実人数	志願者数		36人	12人	8人	3人	15人
		受験者数		32人	9人	5人	2人	12人
		合格者数		24人	9人	4人	1人	10人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		9人	2人	1人	0人	3人
	入学者数		15人	7人	3人	1人	7人	
	合計	募集人数	0人	160人	160人	160人	160人	128人
		延べ人数	志願者数	0人	386人	298人	203人	135人
受験者数			0人	372人	277人	192人	126人	193人
合格者数			0人	324人	253人	161人	111人	170人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	3人	0人	1人
辞退者数			0人	166人	136人	80人	51人	87人
実人数		志願者数	0人	340人	259人	181人	120人	180人
		受験者数	0人	329人	244人	174人	113人	172人
		合格者数	0人	309人	235人	161人	110人	163人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	3人	0人	1人
		辞退者数	0人	151人	118人	80人	50人	80人
入学者数		0人	158人	117人	81人	60人	83人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員		160人	160人	160人	160人	160人
入学定員充足率	#DIV/0!	0.99	0.73	0.51	0.38	0.65
歩留率	#DIV/0!	0.49	0.46	0.50	0.54	0.50

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 国際文化学部人文学科は2021年度に開設のため2020年度入学者の欄は記入無し。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

資料16-9

大学学部学科等名：国際文化学部グローバルスタディーズ学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数		18人	18人	18人	18人	18人	
	延べ人数	志願者数		22人	29人	13人	9人	18人
		受験者数		21人	28人	13人	8人	18人
		合格者数		18人	26人	12人	7人	16人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	8人	2人	1人	4人
	実人数	志願者数		22人	29人	13人	9人	18人
		受験者数		21人	28人	13人	8人	18人
		合格者数		18人	26人	12人	7人	16人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	8人	2人	1人	4人
	入学者数		13人	18人	10人	6人	12人	
	学校推薦型選抜	募集人数		27人	27人	27人	27人	27人
延べ人数		志願者数		24人	34人	19人	18人	24人
		受験者数		22人	34人	19人	18人	23人
		合格者数		19人	23人	18人	16人	19人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		7人	13人	10人	3人	8人
実人数		志願者数		18人	27人	18人	17人	20人
		受験者数		17人	27人	18人	17人	20人
		合格者数		17人	23人	18人	16人	19人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	13人	10人	3人	8人
入学者数			12人	10人	8人	13人	11人	
一般選抜		募集人数		27人	28人	27人	27人	27人
	延べ人数	志願者数		45人	32人	20人	10人	27人
		受験者数		41人	26人	18人	10人	24人
		合格者数		33人	22人	13人	7人	19人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		21人	14人	11人	6人	13人
	実人数	志願者数		36人	22人	14人	7人	20人
		受験者数		33人	19人	13人	7人	18人
		合格者数		30人	19人	13人	7人	17人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		18人	11人	11人	6人	12人
	入学者数		12人	8人	2人	1人	6人	
	共通テスト利用入試	募集人数		9人	8人	9人	9人	9人
延べ人数		志願者数		36人	23人	12人	9人	20人
		受験者数		36人	23人	12人	9人	20人
		合格者数		35人	16人	10人	9人	18人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		33人	14人	7人	8人	16人
実人数		志願者数		35人	23人	12人	9人	20人
		受験者数		35人	23人	12人	9人	20人
		合格者数		34人	16人	10人	9人	17人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		32人	14人	7人	8人	15人
入学者数			2人	2人	3人	1人	2人	
その他の特別選抜		募集人数		9人	9人	9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数		16人	9人	4人	2人	8人
		受験者数		16人	7人	2人	2人	7人
		合格者数		9人	5人	1人	1人	4人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	3人	1人	0人	2人
	実人数	志願者数		12人	9人	2人	2人	6人
		受験者数		12人	7人	1人	2人	6人
		合格者数		9人	5人	1人	1人	4人
		うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数		5人	3人	1人	0人	2人
	入学者数		4人	2人	0人	1人	2人	
	合計	募集人数	0人	90人	90人	90人	90人	72人
延べ人数		志願者数	0人	143人	127人	68人	48人	77人
		受験者数	0人	136人	118人	64人	47人	73人
		合格者数	0人	114人	92人	54人	40人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	71人	52人	31人	18人	34人
実人数		志願者数	0人	123人	110人	59人	44人	67人
		受験者数	0人	118人	104人	57人	43人	64人
		合格者数	0人	108人	89人	54人	40人	58人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	65人	49人	31人	18人	33人
入学者数		0人	43人	40人	23人	22人	26人	

3. 入学定員充足率

	2020年度入学者	2021年度入学者	2022年度入学者	2023年度入学者	2024年度入学者	平均
入学定員		90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	#DIV/0!	0.48	0.44	0.26	0.24	0.36
歩留率	#DIV/0!	0.38	0.43	0.43	0.55	0.45

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
国際文化学部グローバルスタディーズ学科は2021年度開設のため2020年度入学者の欄は記入無し。

【資料 17】 各学科の志願倍率の予測値

	A	B	C=A/B	D	E=D/C
	変更後の入学定員 (人)	直近5年間の歩留まり 率 (%)	必要な合格者数 (人) ※小数点第1位以下切り上げ	直近5年間の平均実志願者数 (人)	志願倍率の予測値
造形学科	140	60%	233	365	1.56
イラスト学科	67	64%	105	287	2.74
ビジュアルデザイン学科	74	64%	116	384	3.32
プロダクトデザイン学科	77	53%	145	225	1.55
マンガ学科	240	72%	333	1134	3.40
アニメーション学科	84	79%	106	331	3.11
メディア表現学科	177	77%	230	340	1.48
人文学科	138	50%	276	180	0.65
グローバルスタディーズ学科	45	45%	100	67	0.67

資料 16 より 本学作成

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：京都精華大学のオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4883人	4351人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、大学の特色やカリキュラムの紹介、模擬授業、教職員や在学生との懇談、キャンパスツアーを実施した。 R5年度入試対象（R4開催）：計7日開催（4/24.6/5.8/6.8/7.10/2.2/18.2/19） R6年度入試対象（R5開催）：計7日開催（4/23.6/4.8/5.8/6.10/1.2/17.2/18） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R5年度入試からR6年度入試への増加率をR7年度に適用した結果、期待される入学者数は1007人、R6年度と同数であった場合、664人である。
うち受験対象者数(b)	2960人	2773人	
うち受験者数(c)	1253人	1526人	
うち入学者数(d)	438人	664人	
(受験率 c/b)	42.33%	55.03%	
(入学率 d/b)	14.80%	23.95%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：京都精華大学の資料発送数

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	22391人	24054人	①取組概要 進学媒体や大学Webサイトを經由して資料請求をした人に対し、大学パンフレットやDMなどを郵送した。 R5年度入試対象（R4実施）22391件 R6年度入試対象（R5実施）24054件 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R5年度入試からR6年度入試への増加率をR7年度に適用した結果、期待される入学者数は1388人、R6年度と同数であった場合、901人である。
うち受験対象者数(b)	18284人	20086人	
うち受験者数(c)	1319人	1526人	
うち入学者数(d)	585人	901人	
(受験率 c/b)	7.21%	7.60%	
(入学率 d/b)	3.20%	4.49%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：京都精華大学の資料発送数（留学生のみ）

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)		1181人	①取組概要 進学媒体や大学Webサイトを經由して資料請求をした人に対し、大学パンフレットやDMなどを郵送した。（留学生のみ） R5年度入試対象（R4実施）データ無し R6年度入試対象（R5実施）1181件発送 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R5年度データ無し、R7年度入学者数は、R6年度と同数であった場合、84人である。
うち受験対象者数(b)		386人	
うち受験者数(c)		320人	
うち入学者数(d)		84人	
(受験率 c/b)		82.90%	
(入学率 d/b)		21.76%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：ガイダンス・進学説明会

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)		11266人	①取組概要 大学認知拡大や出願促進をはかるため、高校別や会場別を実施されるガイダンス・説明会に参加した。 R5年度入試対象（R4実施）データ無し R6年度入試対象（R5実施）のべ11266人参加 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R5年度データ無し、R7年度入学者数は、R6年度と同数であった場合、722人である。
うち受験対象者数(b)		3914人	
うち受験者数(c)		1818人	
うち入学者数(d)		722人	
(受験率 c/b)		46.45%	
(入学率 d/b)		18.45%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：高校生向け作品コンペ「セイカアワード」

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	960人	974人	①取組概要 高校教員、高校生への本学への認知度を高めるために、作品コンペティションを実施。 R5年度入試対象（R4実施）960名応募 R6年度入試対象（R5実施）974名応募 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 R5年度入試からR6年度入試への増加率をR7年度に適用した結果、期待される入学者数は34人、R6年度と同数であった場合、24人である。
うち受験対象者数(b)	263人	177人	
うち受験者数(c)	20人	30人	
うち入学者数(d)	17人	24人	
(受験率 c/b)	7.60%	16.95%	
(入学率 d/b)	6.46%	13.56%	

【資料 19】

2022～2024年度 芸術・デザイン・マンガ系分層を有する近隣大学の志望者動向調査

2022年度入学試験														
大阪芸術大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	美術 (G)	55	143	-	75	136.4%		美術 (G)	55	158	-	84	152.7%	
	デザイン (VD) (I) (PD)	190	420	-	232	122.1%		デザイン (VD) (I) (PD)	190	544	-	222	116.8%	
	建築 (A)	50	103	-	65	130.0%		建築 (A)	50	125	-	72	144.0%	
	文芸	60	145	-	76	126.7%		文芸	60	176	-	82	136.7%	
	放送	155	239	-	147	94.8%		放送	155	250	-	141	91.0%	
	写真	30	86	-	49	163.3%		写真	30	76	-	44	146.7%	
	工芸	40	70	-	41	102.5%		工芸	40	59	-	29	72.5%	
	映像	80	225	-	102	127.5%		映像	80	313	-	105	131.3%	
	舞台芸術	170	360	-	196	115.3%		舞台芸術	170	405	-	184	108.2%	
	芸術計画	30	95	-	49	163.3%		芸術計画	30	117	-	44	146.7%	
	キャラクター造形 (M)	150	405	-	196	130.7%		キャラクター造形 (M)	150	487	-	197	131.3%	
	音楽	45	88	-	56	124.4%		音楽	45	124	-	58	128.9%	
	演義	80	124	-	88	110.0%		演義	80	156	-	85	106.3%	
	初等教育芸術	30	52	-	36	120.0%		初等教育芸術	30	53	-	31	103.3%	
	アートサイエンス	80	86	-	47	58.8%		アートサイエンス	80	109	-	54	67.5%	
2023年度入学試験														
大阪芸術大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	美術 (G)	170	997	-	195	114.7%		美術工芸 (G)	170	1,479	-	190	111.8%	
	マンガ (M)	45	359	-	49	108.9%		マンガ (M)	45	457	-	54	120.0%	
	キャラクターデザイン (M)	90	1,035	-	91	101.1%		キャラクターデザイン (M)	90	1,225	-	91	101.1%	
	情報デザイン (VD) (I)	180	1,463	-	182	101.1%		情報デザイン (VD) (I)	180	2,040	-	190	105.6%	
	プロダクトデザイン (PD)	45	269	-	49	108.9%		プロダクトデザイン (PD)	45	359	-	50	111.1%	
	空間演出デザイン	60	443	-	56	93.3%		空間演出デザイン	60	438	-	65	108.3%	
	環境デザイン (A)	55	367	-	68	123.6%		環境デザイン (A)	55	374	-	60	109.1%	
	映画	80	542	-	86	107.5%		映画	80	573	-	84	105.0%	
	舞台芸術	60	607	-	62	103.3%		舞台芸術	60	519	-	64	106.7%	
	文芸表現	40	187	-	45	112.5%		文芸表現	40	200	-	46	115.0%	
	アートプロデュース	25	100	-	30	120.0%		アートプロデュース	25	114	-	30	120.0%	
	こども芸術	30	118	-	30	100.0%		こども芸術	30	102	-	28	93.3%	
	歴史遺産	30	177	-	38	126.7%		歴史遺産	30	153	-	36	120.0%	
2024年度入学試験														
大阪芸術大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	美術 (G)	55	205	-	99	180.0%		美術 (G)	55	205	-	99	180.0%	
	デザイン (VD) (I) (PD)	190	576	-	245	128.9%		デザイン (VD) (I) (PD)	190	576	-	245	128.9%	
	建築 (A)	50	103	-	65	130.0%		建築 (A)	50	103	-	65	130.0%	
	文芸	60	159	-	63	105.0%		文芸	60	159	-	63	105.0%	
	放送	155	274	-	162	104.5%		放送	155	274	-	162	104.5%	
	写真	30	99	-	60	200.0%		写真	30	99	-	60	200.0%	
	工芸	40	86	-	44	110.0%		工芸	40	86	-	44	110.0%	
	映像	80	334	-	102	127.5%		映像	80	334	-	102	127.5%	
	舞台芸術	170	402	-	183	107.6%		舞台芸術	170	402	-	183	107.6%	
	芸術計画	30	132	-	42	140.0%		芸術計画	30	132	-	42	140.0%	
	キャラクター造形 (M)	150	619	-	194	128.3%		キャラクター造形 (M)	150	619	-	194	128.3%	
	音楽	45	144	-	65	144.4%		音楽	45	144	-	65	144.4%	
	演義	80	141	-	81	101.3%		演義	80	141	-	81	101.3%	
	初等教育芸術	30	82	-	27	90.0%		初等教育芸術	30	82	-	27	90.0%	
	アートサイエンス	80	84	-	47	58.8%		アートサイエンス	80	84	-	47	58.8%	
2024年度入学試験														
京都精華大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	造形 (G)	112	430	206	116	103.5%		美術工芸 (G)	112	472	472	186	115	102.7%
	ビジュアルデザイン (VD)	64	515	111	67	104.7%		ビジュアルデザイン (VD)	64	548	118	74	115.6%	
	イラスト (I)	64	374	99	65	101.6%		イラスト (I)	64	383	102	65	101.6%	
	プロダクトデザイン (PD)	72	244	129	71	98.6%		プロダクトデザイン (PD)	72	252	142	69	95.8%	
	建築 (A)	56	178	113	52	92.9%		建築 (A)	56	160	132	38	67.9%	
	マンガ (M)	232	1,267	325	241	103.9%		マンガ (M)	232	1,532	327	243	104.7%	
	アニメーション (M)	80	398	88	75	93.8%		アニメーション (M)	80	505	83	69	86.3%	
2024年度入学試験														
京都精華大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	造形 (G)	112	430	206	116	103.5%		造形 (G)	112	472	472	186	115	102.7%
	ビジュアルデザイン (VD)	64	515	111	67	104.7%		ビジュアルデザイン (VD)	64	548	118	74	115.6%	
	イラスト (I)	64	374	99	65	101.6%		イラスト (I)	64	383	102	65	101.6%	
	プロダクトデザイン (PD)	72	244	129	71	98.6%		プロダクトデザイン (PD)	72	252	142	69	95.8%	
	建築 (A)	56	178	113	52	92.9%		建築 (A)	56	160	132	38	67.9%	
	マンガ (M)	232	1,267	325	241	103.9%		マンガ (M)	232	1,532	327	243	104.7%	
	アニメーション (M)	80	398	88	75	93.8%		アニメーション (M)	80	505	83	69	86.3%	
2024年度入学試験														
京都精華大学														
学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	学部名称	学科名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
	造形 (G)	112	430	206	116	103.5%		造形 (G)	112	472	472	186	115	102.7%
	ビジュアルデザイン (VD)	64	515	111	67	104.7%		ビジュアルデザイン (VD)	64	548	118	74	115.6%	
	イラスト (I)	64	374	99	65	101.6%		イラスト (I)	64	383	102	65	101.6%	
	プロダクトデザイン (PD)	72	244	129	71	98.6%		プロダクトデザイン (PD)	72	252	142	69	95.8%	
	建築 (A)	56	178	113	52	92.9%		建築 (A)	56	160	132	38	67.9%	
	マンガ (M)	232	1,267	325	241	103.9%		マンガ (M)	232	1,532	327	243	104.7%	
	アニメーション (M)	80	398	88	75	93.8%		アニメーション (M)	80	505	83	69	86.3%	
2024年度入学試験														
3大学 計														
	造形学科に関連する学科合計 (G)	337	2,067	206	390	115.7%		造形学科に関連する学科合計 (G)	337	2,289	186	396	117.5%	
	ビジュアルデザイン学科に関連する学科合計 (VD)	434	3,099	111	479	110.4%		ビジュアルデザイン学科に関連する学科合計 (VD)	434	3,177	118	512	118.0%	
	イラスト学科に関連する学科合計 (I)	434	2,958	99	477	109.9%		イラスト学科に関連する学科合計 (I)	434	3,012	102	503	115.9%	
	プロダクトデザイン学科に関連する学科合計 (PD)	307	1,147	129	343	111.7%		プロダクトデザイン学科に関連する学科合計 (PD)	307	1,243	142	363	118.2%	
	マンガ (M)	597	3,834	413	658	110.2%		マンガ (M)	597	4,994	410	720	106.8%	
	アニメーション (M)	597	3,834	413	658	110.2%		アニメーション (M)	597	4,994	410	720	106.8%	

【資料 20】

2022～2024年度 メディア表現学科に近い分野を有する近隣大学の志望者動向調査

2022年度入学試験

同志社女子大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア創造学科	メディア創造学科	115	1,046 265	127 110.4%

大阪電気通信大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
ゲーム&メディア	ゲーム&メディア	110	478 86	
デジタルゲーム	デジタルゲーム	140	915 138	396 85.9%
情報	情報	90	818 164	

京都精華大学				
学部名称	学部名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア表現	メディア表現	168	767 229	194 115.5%

3大学計				
メディア表現学科に関連する 学科合計	定員	志願者数	合格者数	入学者 定員充足率
	623	0	0	717 115.1%

2023年度入学試験

同志社女子大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア創造学科	メディア創造学科	115	897 261	129 112.2%

大阪電気通信大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
ゲーム&メディア	ゲーム&メディア	110	1,137 201	
デジタルゲーム	デジタルゲーム	140	605 128	413 82.3%
情報	情報	90	862 197	

京都精華大学				
学部名称	学部名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア表現	メディア表現	168	555 224	185 110.1%

3大学計				
メディア表現学科に関連する 学科合計	定員	志願者数	合格者数	入学者 定員充足率
	623	0	0	727 116.7%

2024年度入学試験

同志社女子大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア創造学科	メディア創造学科	115	869 296	144 125.2%

大阪電気通信大学				
学部名称	学科名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
ゲーム&メディア	ゲーム&メディア	110	908 170	
デジタルゲーム	デジタルゲーム	140	509 129	377 90.2%
情報	情報	90	608 188	

京都精華大学				
学部名称	学部名称	定員	志願者数 合格者数	入学者 定員充足率
メディア表現	メディア表現	168	407 255	182 108.3%

3大学計				
メディア表現学科に関連する 学科合計	定員	志願者数	合格者数	入学者 定員充足率
	623	0	0	703 112.8%

【資料 21】

2022～2024年度 人文系分科を有する近畿大学の志願者動向調査

2022年度入学試験

大谷大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
歴史学 (I)	105	710	400	111	105.7%	
文学 (I)	78	572	328	72	92.3%	
国際文化 (GS)	100	688	426	103	103.0%	

京都橋大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
日本語日本文学 (I)	85	946	290	88	103.5%	
歴史 (I)	100	1,412	545	94	94.0%	
国際英語 (GS)	120	1,183	450	125	104.2%	

京都精華大学						
学部名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
国際文化	160	386	324	157	98.1%	
グローバルスタディーズ (GS)	90	143	114	42	46.7%	

3大学 計	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
人文系分科に関連する学科合計 (I)	528	4,026	1,887	522	98.9%	
グローバルスタディーズ科に関連する学科合計 (GS)	310	2,014	990	270	87.1%	

2023年度入学試験

大谷大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
歴史学 (I)	105	645	445	105	100.0%	
文学 (I)	78	555	422	88	112.8%	
国際文化 (GS)	100	435	384	105	105.0%	

京都橋大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
日本語日本文学 (I)	85	1,063	339	92	108.2%	
歴史 (I)	100	1,444	734	93	93.0%	
国際英語 (GS)	120	1,442	799	124	103.3%	

京都精華大学						
学部名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
国際文化	160	299	254	118	73.8%	
グローバルスタディーズ (GS)	90	128	93	41	45.6%	

3大学 計	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
人文系分科に関連する学科合計 (I)	528	4,006	2,194	496	93.9%	
グローバルスタディーズ科に関連する学科合計 (GS)	310	2,005	1,276	270	87.1%	

2024年度入学試験

大谷大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
歴史学 (I)	105	535	455	134	127.6%	
文学 (I)	78	463	375	90	115.4%	
国際文化 (GS)	100	335	309	91	91.0%	

京都橋大学						
学科名称	定員	志願者数合計	合格者	入学者	定員充足率	
日本語日本文学 (I)	85	1,006	356	96	112.9%	
歴史 (I)	100	1,406	714	122	122.0%	
国際英語 (GS)	120	1,313	749	122	101.7%	

京都精華大学						
学部名称	定員	志願者数	合格者	入学者	定員充足率	
国際文化	160	203	161	81	50.6%	
グローバルスタディーズ (GS)	90	68	54	23	25.6%	

3大学 計	定員	志願者数	合格者 <td>入学者</td> <td>定員充足率</td> <td></td>	入学者	定員充足率	
人文系分科に関連する学科合計 (I)	528	3,613	2,061	523	98.1%	
グローバルスタディーズ科に関連する学科合計 (GS)	310	1,716	1,112	236	76.1%	

【資料 22】

競合校との学納金比較（単位：円）

本学		競合校A		競合校B	
芸術学部		京都芸術大学芸術学部		大阪芸術大学芸術学部	
入学金	学費	入学金	学費	入学金	学費
200,000	1,550,000	250,000	1,620,000～ 1,670,000	280,000	1,580,000
デザイン・マンガ学部					
入学金	学費				
200,000	1,579,000				
メディア表現学部		同志社女子大学 学芸学部		大阪電気通信大学 総合情報学部	
入学金	学費	入学金	学費	入学金	学費
200,000	1,186,000	260,000	1,190,000～ 1,464,000	200,000	1,282,000
国際文化学部		大谷大学 文学部		京都橘大学 文学部	
人文学科					
入学金	学費	入学金	学費	入学金	学費
200,000	1,086,000	250,000	1,140,000	200,000	994,000
グローバルスタディーズ学科		大谷大学 国際学部		京都橘大学 国際英語学部	
入学金	学費	入学金	学費	入学金	学費
200,000	1,086,000	250,000	1,140,000	200,000	1,009,000

令和5年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額(定員1人当たり)

調査校: 600校

(昼間部)

※()内は対前回調査(令和3年度)増減率

(単位:円)

		授業料		入学料		施設設備費		合計	
		令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度
文科系	文・教育	821,813	835,587 (1.7%)	225,770	223,686 (△0.9%)	155,794	151,748 (△2.6%)	1,203,377	1,211,021 (0.6%)
	神・仏教	770,742	768,832 (△0.2%)	221,067	220,745 (△0.1%)	154,743	154,518 (△0.1%)	1,146,551	1,144,095 (△0.2%)
	社会福祉	782,154	792,688 (1.3%)	216,339	218,549 (1.0%)	170,198	171,128 (0.5%)	1,168,691	1,182,365 (1.2%)
	法・商・経	812,758	823,706 (1.3%)	226,215	224,364 (△0.8%)	141,447	136,333 (△3.6%)	1,180,420	1,184,403 (0.3%)
	平均	815,069	827,135 (1.5%)	225,651	223,867 (△0.8%)	148,272	143,838 (△3.0%)	1,188,991	1,194,841 (0.5%)
理科系	理・工	1,111,240	1,148,551 (3.4%)	238,432	223,534 (△6.2%)	154,990	109,005 (△29.7%)	1,504,662	1,481,090 (△1.6%)
	薬	1,427,708	1,433,292 (0.4%)	334,717	332,681 (△0.6%)	311,125	310,097 (△0.3%)	2,073,550	2,076,070 (0.1%)
	農・獣医	1,008,511	1,033,471 (2.5%)	251,393	250,752 (△0.3%)	208,826	199,543 (△4.4%)	1,468,730	1,483,766 (1.0%)
	平均	1,136,074	1,162,738 (2.3%)	251,029	234,756 (△6.5%)	179,159	132,956 (△25.8%)	1,566,262	1,530,451 (△2.3%)
医歯系	医	2,670,071	2,656,053 (△0.5%)	1,340,379	1,360,098 (1.5%)	1,097,202	1,063,284 (△3.1%)	5,107,652	5,079,434 (△0.6%)
	歯	3,267,136	3,218,227 (△1.5%)	599,454	594,849 (△0.8%)	631,960	568,631 (△10.0%)	4,498,551	4,381,708 (△2.6%)
	平均	2,882,894	2,863,713 (△0.7%)	1,076,278	1,077,425 (0.1%)	931,367	880,566 (△5.5%)	4,890,539	4,821,704 (△1.4%)
その他	家政	828,378	833,396 (0.6%)	240,706	240,020 (△0.3%)	186,041	183,698 (△1.3%)	1,255,126	1,257,113 (0.2%)
	芸術	1,130,319	1,131,010 (0.1%)	242,414	239,945 (△1.0%)	273,410	270,491 (△1.1%)	1,646,143	1,641,446 (△0.3%)
	体育	839,357	870,889 (3.8%)	250,277	240,072 (△4.1%)	210,443	194,664 (△7.5%)	1,300,077	1,305,625 (0.4%)
	保健	993,583	996,528 (0.3%)	266,006	262,142 (△1.5%)	246,452	243,128 (△1.3%)	1,506,041	1,501,799 (△0.3%)
	平均	969,074	977,635 (0.9%)	254,836	251,164 (△1.4%)	235,702	231,743 (△1.7%)	1,459,612	1,460,542 (0.1%)
全平均	930,943	959,205 (3.0%)	245,951	240,806 (△2.1%)	180,186	165,271 (△8.3%)	1,357,080	1,365,281 (0.6%)	

※医学部看護学科は「医」区分に含まず、「保健」区分に含める。

		(参考)					
		実験実習料		その他		総計	
		令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度	令和3年度	令和5年度
文科系	文・教育	11,103	9,485 (△14.6%)	89,774	87,385 (△2.7%)	1,304,254	1,307,891 (0.3%)
	神・仏教	2,134	2,101 (△1.5%)	58,027	60,290 (3.9%)	1,206,712	1,206,487 (△0.0%)
	社会福祉	7,206	9,018 (25.1%)	77,160	75,628 (△2.0%)	1,253,057	1,267,011 (1.1%)
	法・商・経	6,461	5,038 (△22.0%)	64,726	64,329 (△0.6%)	1,251,607	1,253,770 (0.2%)
	平均	8,319	6,953 (△16.4%)	75,126	73,955 (△1.6%)	1,272,437	1,275,749 (0.3%)
理科系	理・工	57,433	30,782 (△46.4%)	65,279	39,167 (△40.0%)	1,627,375	1,551,040 (△4.7%)
	薬	30,766	28,254 (△8.2%)	74,125	73,266 (△1.2%)	2,178,441	2,177,590 (△0.0%)
	農・獣医	115,766	108,004 (△6.7%)	34,206	30,606 (△10.5%)	1,618,701	1,622,377 (0.2%)
	平均	61,004	36,835 (△39.6%)	62,758	41,290 (△34.2%)	1,690,024	1,608,576 (△4.8%)
医歯系	医	311,091	290,323 (△6.7%)	1,629,439	1,461,294 (△10.3%)	7,048,182	6,831,051 (△3.1%)
	歯	604	1,121 (85.4%)	986,055	970,255 (△1.6%)	5,485,210	5,353,084 (△2.4%)
	平均	200,419	183,496 (△8.4%)	1,400,106	1,279,911 (△8.6%)	6,491,064	6,285,110 (△3.2%)
その他	家政	46,776	46,046 (△1.6%)	107,771	108,159 (0.4%)	1,409,673	1,411,319 (0.1%)
	芸術	40,273	39,275 (△2.5%)	104,576	105,473 (0.9%)	1,790,991	1,786,195 (△0.3%)
	体育	43,708	38,344 (△12.3%)	97,503	101,036 (3.6%)	1,441,287	1,445,005 (0.3%)
	保健	114,532	110,052 (△3.9%)	83,167	88,278 (6.1%)	1,703,740	1,700,129 (△0.2%)
	平均	78,917	76,033 (△3.7%)	93,619	96,716 (3.3%)	1,632,148	1,633,291 (0.1%)
全平均	34,462	28,864 (△16.2%)	91,423	83,194 (△9.0%)	1,482,964	1,477,339 (△0.4%)	

文部科学省 Web サイト「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果について」

「(資料1) 令和5年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」より
抜粋

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	サワダ マサト 澤田 昌人 <2022年4月>		理学博士		京都精華大学 学長 (2022年4月～2026年3月)